Printia LASER

B5WY-0921-01

Color Printia LASER XLシリーズ

取扱説明書

ページプリンタ　XL-C8360

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。
富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。
Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NT、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Citrix、MetaFrame、MetaFrame XP は、Citrix Systems 社の登録商標、または商標です。
Adobe、Acrobat および Reader は、アドビシステムズ社の商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

● ＶＣＣＩ 適合基準について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。ただし、ページプリンタは突入電源が大きいため、その仕様を満足する交流無停電電源装置等をご使用ください。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●電源高調波について

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

●国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

●本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

●リサイクル部品の使用について

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

●紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律
　刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
　通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条等

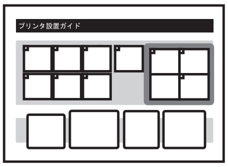
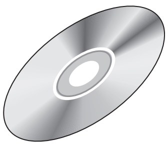
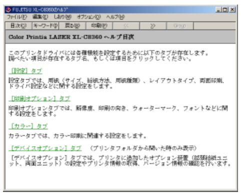
はじめに

このたびは、弊社のページプリンタ XL-C8360 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
XL-C8360 はカラー印刷時最大 36 ページ / 分、モノクロ印刷時最大 40 ページ / 分（共に片面印刷時）の高速印刷が可能なカラーページプリンタです。
本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらについて説明しています。
本書にしたがって正しく取り扱い、本プリンタを有効にご利用ください。
なお、本書で使用する画面表示例では、プリンタ名を XL-XXXX と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名で読み替えてください。機種やソフトウェアのバージョン、OS によっては表示内容が一部異なることがあります。

2005 年 10 月

マニュアルの種類

本プリンタでは、次のマニュアルを用意しています。目的に応じて参照してください。

	**設置ガイド** 同梱品のご案内と箱を開けてから印刷できるまでの手順および取扱説明書での参照先を紹介しています。まず、この設置ガイドを見て同梱品を確認してください。
	**取扱説明書** プリンタの設置と運用について、基本的なことを説明した印刷物です。 同じ内容の PDF ファイルが、添付の CD-ROM に収められています。
	**オンラインマニュアル（PDF）** 添付の CD-ROM 内にソフトウェア編、取扱説明書等、機能ごとにいくつかの PDF ファイルが収められています。 本製品の設置・運用に必要な手順および本プリンタの持つすべての機能について説明しています。
	**オンラインヘルプ** 「オンラインヘルプ」では、プリンタドライバのプロパティ、および添付ソフトウェアの各機能について調べることができます。ヘルプを参照するには、次の 2 つの方法があります。 ・［?］をクリックする ・各画面にある［ヘルプ］ボタンをクリックする
	**クイックガイド** 紙づまりのときの対処方法などが書かれています。クイックガイドを専用袋に入れ、プリンタのそばに置いてください。

マニュアルの構成

本プリンタのマニュアルの構成を以下に説明します。

取扱説明書

●セットアップ編

目次	内容
第 1 章　お使いになる前に	本プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明しています。
第 2 章　プリンタ本体の設置	プリンタ本体の設置方法からプリンタが単体で正しく動作することを確認するまでの手順を説明しています。
第 3 章　オプションの装着	オプションの取り付け方について説明しています。

●運用編

目次	内容
第 4 章　日常の操作	本プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明しています。
第 5 章　オペレータパネルの操作	プリンタの液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明しています。
第 6 章　用紙について	本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかたについて説明しています。
第 7 章　こんなときには	故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明しています。
付録	本プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明しています。

オンラインマニュアル

目次	内容
ソフトウェア編	プリンタ設置後、パソコンから印刷を行えるようにするまでの手順や、プリンタドライバや添付ソフトウェアの使い方などの、ソフトウェアに関することがらについて説明しています。 主な記載内容： ・ プリンタドライバのインストール手順 ・ プリンタを共有するときの設定方法 ・ プリンタドライバの機能と利用方法 ・ Web ブラウザからのプリンタの状態参照や設定方法 ・ プリンタドライバ、添付ソフトウェアに関するトラブルシューティングや留意事項
Printianavi2 編	印刷中の状態を表示したり、Interstage Print Manager と連携を可能にする Printianavi2 のインストール手順や機能について説明しています。

章構成についての詳細は、オンラインマニュアルを参照してください。

オンラインマニュアルの見かた

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されている CD-ROM に、PDF ファイルとして収録されています。
PDF ファイルの内容を参照するには、「Adobe Reader」というソフトウェアが必要です。お使いのパソコンに「Adobe Reader」がインストールされていない場合は、本製品添付の CD-ROM からインストールしてください。

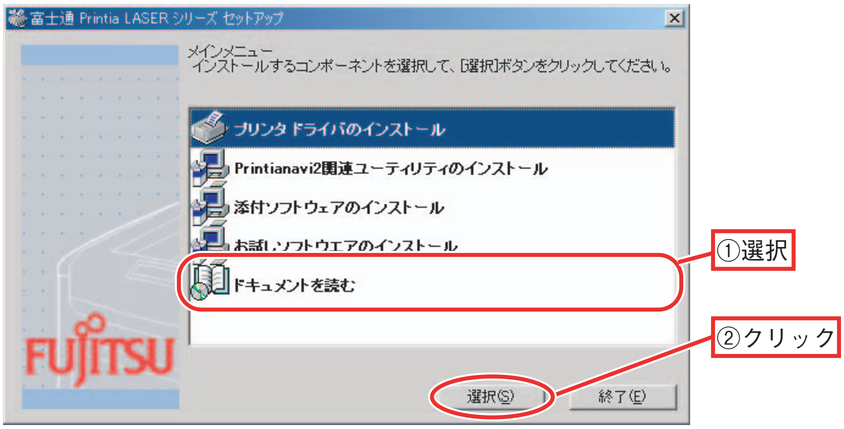
● Adobe Reader のインストール

添付の CD-ROM から次の手順で Adobe Reader をインストールすることができます。

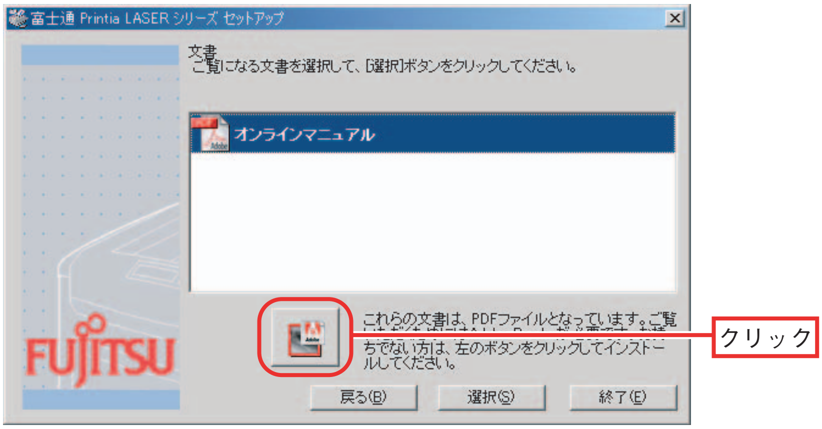
1 添付の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする

・「使用許諾契約について」が表示されたら、内容をよくお読みください。「同意する」をクリックすると、インストーラの「メインメニュー」画面が表示されます。
・インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の「Adreader」フォルダにある「AdbeRdr60_jpn.exe」をダブルクリックし、インストールを行ってください。

2 「メインメニュー」画面で「ドキュメントを読む」を選択し、[選択] をクリックする



3 「Adobe Reader」のアイコンをクリックする



Adobe Reader のインストーラが起動します。
画面の指示に従ってインストールを行ってください。

ガイド

- Adobe Reader は PDF（Portable Document Format）形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。Adobe Reader は、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。
- 最新版の Adobe Reader の入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。
  アドビシステムズ社　URL：http://www.adobe.co.jp
  ※上記 URL は、本書発行時点でのものです。

●オンラインマニュアルの使いかた

オンラインマニュアルは、Adobe Reader がインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

1 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

「使用許諾契約について」が表示されたら、内容をよくお読みください。「同意する」をクリックすると、インストーラの「メインメニュー」画面が表示されます。

ガイド

インストーラが自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックするか、「Manual」フォルダにある「Index.pdf」を開き、3 に進んでください。

2 [ドキュメントを読む]－[オンラインマニュアル] の順で選択する

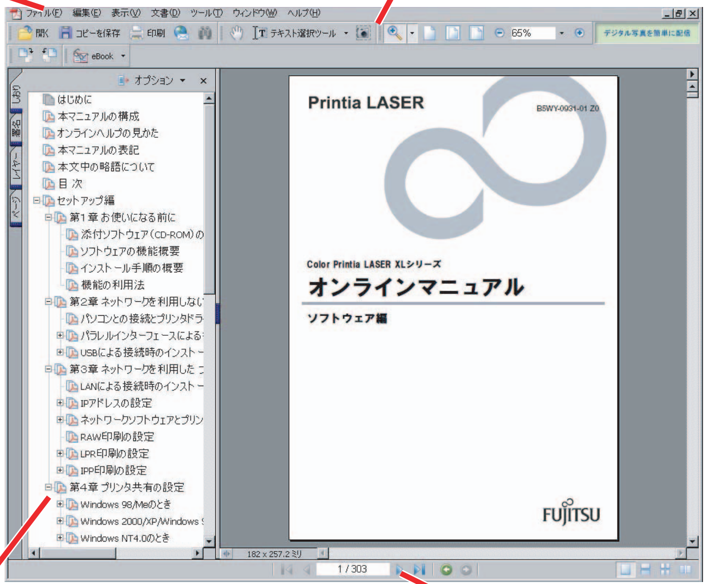
Adobe Reader が起動し、オンラインマニュアルの表紙が表示されます。

③ 参照するマニュアル名をクリックする

マニュアルの本文は、次のような画面となります。

メニューバー
プルダウンメニューから印刷やAdobe Readerのヘルプの表示などを行うことができます。

ツールバー
をクリックすると表示を拡大します。
また、検索などの操作を行うことができます。



しおり
見出しをクリックすると、そのページを表示します。
⊞が表示されている場合、これをクリックすると次のレベルの見出しが表示されます。

ステータスバー
をクリックすると次のページを表示します。

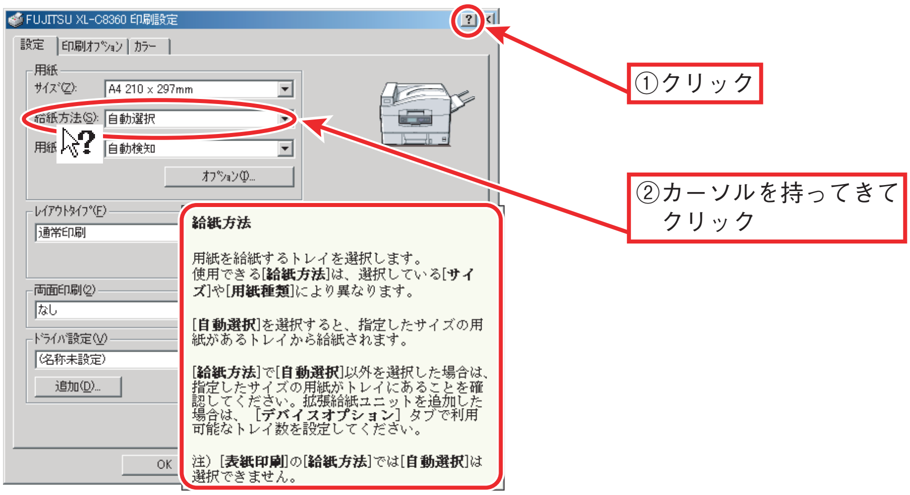
オンラインヘルプの見かた

オンラインヘルプを参照する方法を、以降に示します。

[?] をクリックする

ダイアログの右上にある ? をクリックするとカーソルの形が ? に変わります。その状態のまま、説明が必要な項目をクリックするとダイアログ上にポップアップウィンドウが表示されます。

（例）給紙方法についてのヘルプをみる場合



[ヘルプ] ボタンをクリックする

[ヘルプ] ボタンがあるダイアログで [ヘルプ] ボタンをクリックすると、そのダイアログに関する詳細なヘルプが表示されます。

製品に関する注意事項

ここでは、お客様に特に見ていただきたいことや、注意していただきたい項目について概要を説明します。詳細は、本文をよくお読みになったうえで本プリンタを正しくお使いください。

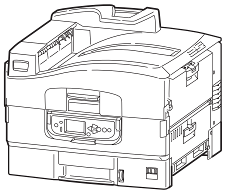
製品寿命（耐用期間）について

本プリンタの耐用期間（寿命）は、以下のいずれか早いほうです。

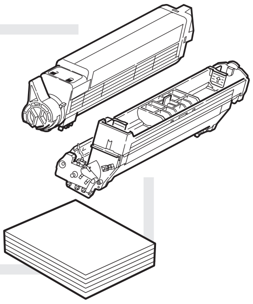
・100万ページ印刷
・5年（8時間/日）

注）耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。

参照「プリンタの基本仕様」（226 ページ）参照



サプライ品（消耗品）について



ドラムカートリッジやトナーカートリッジ、用紙などは、本プリンタ専用の純正サプライ品をお使いください。
非純正サプライ品をお使いになったことによる、製品のトラブル、誤動作については当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

参照「サプライ品一覧」（233 ページ）参照

定期交換部品について

定期交換部品の交換時期の目安は以下になります。

・定着器	約10万ページ印刷
・ベルトユニット	約10万ページ印刷
・ホッピングローラ	約12万ページ印刷

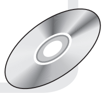
注）用紙の種類や印刷条件によっては、減少します。

参照「定期交換部品一覧」（235 ページ）参照

オンラインマニュアルについて

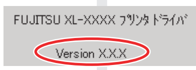
オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されているCD-ROMに、PDFファイルとして収録されています。

参照「オンラインマニュアルの見かた」（3 ページ）参照



プリンタドライバのバージョンを確認する方法

本プリンタに関するお問合せをするときに、お問い合わせの内容によってプリンタドライバのバージョンを聞かれる場合があります。
プリンタドライバのバージョンをご確認のうえ、お問い合わせください。



参照『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

本マニュアルの表記

本マニュアルでは、説明する内容により、以下の用語を使用しています。

お願い	本製品を正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。操作する前に必ずお読みください。
ガイド	本製品を使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。必要に応じてお読みください。
参照	本書内で参照していただきたい参照先を示します。
参照	本プリンタに添付の CD-ROM「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」に収められている『オンラインマニュアル』内の参照先を示します。

本文中の略語について

各製品を以下のように略記しています。

製品名称	本文中の表記
Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard Edition	Windows Server 2003
Microsoft® Windows Server™ 2003, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000
Microsoft® Windows® 2000 Server	
Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me
Microsoft® Windows® 98	Windows 98
Microsoft® Windows® 95	Windows 95
Microsoft® Windows® Version 3.1	Windows 3.1
Adobe® Reader	Adobe Reader
Adobe® Acrobat® Reader	Acrobat Reader

注：Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のように併記する場合があります。

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠ で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

設置および移動に関するご注意

警告

次の場所には設置しないでください。火災や感電の原因になります。
- 火気のある場所
- ストーブやヒーター等の発熱器具に近い場所、高温になる場所
- アルコール、シンナー、ガソリン等の揮発性可燃物やカーテン等の燃えやすい物に近い場所
- 風呂場、シャワー室等の水場、水気のある場所

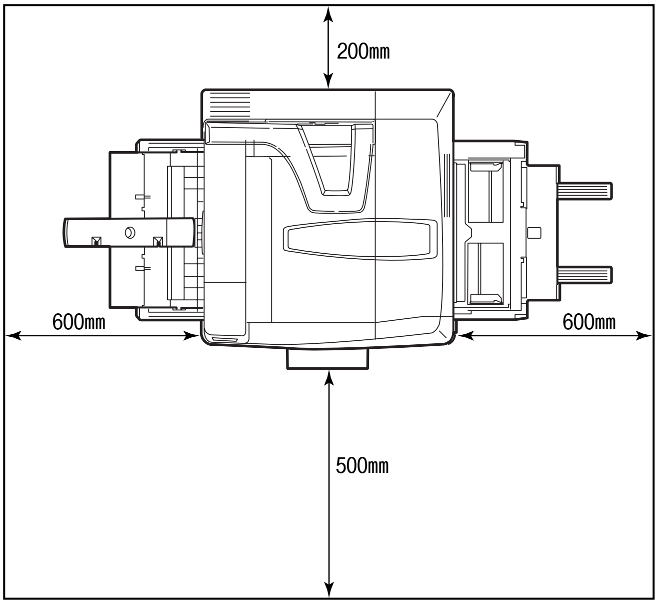
プリンタの上に次のような物を置かないでください。火災や感電の原因になります。
- 花瓶、植木鉢、コップ等の水や液体の入った容器
- クリップ、アクセサリー等の金属物

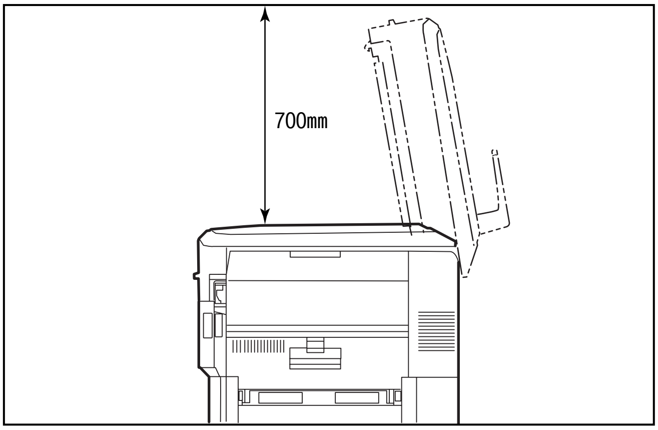
注意

次の場所には設置しないでください。火災や感電、怪我の原因になります。
- 湿気・埃・油煙の多い場所
- 通気性の悪い場所
- 直射日光のあたる場所
- 振動の激しい場所や傾いた場所等の不安定な場所

注意

プリンタの通気口を塞ぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。プリンタの操作および消耗品の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

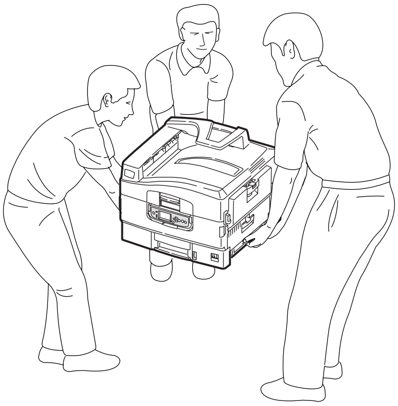




注意

本プリンタは、オプションや消耗品、用紙がない状態で66.5kgあります。プリンタを動かす場合は必ず３人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、左右両側、背面側の下方にあるくぼみをしっかりと持ってください。指定場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

落下により怪我の原因になることがあります。



プリンタの重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

本プリンタは本体のみで66.5kg、最大で約149kg（フルオプション、消耗品含む）の重さがあります。

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下して怪我の原因になることがあります。

プリンタを移動する場合は、10度以上傾けないでください。

転倒などにより怪我の原因になることがあります。

プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブル等も外してください。作業は足元には充分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、火災や感電の原因になったり、本プリンタが倒れたりして怪我の原因になることがあります。

電源に関するご注意

警告

添付されている電源コード以外は使用しないでください。また、添付の電源コードは、他の製品に使用しないでください。

火災や感電の原因になります。

電源プラグは、交流100Ｖ、15Ａ以上のコンセント以外には差し込まないでください。本プリンタの定格電源は100Ｖ、最大電流15Aです。また、タコ足配線はしないでください。

火災や感電の原因になります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また重い物を置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。

火災や感電の原因になります。

延長コードは、定格（125Ｖ、15Ａ）未満の物は使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

火災や感電の原因になります。

電源プラグおよびその周辺に埃が付着しているときは、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると火災の原因になります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

埃が付いたりして、火災や故障の原因になります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。

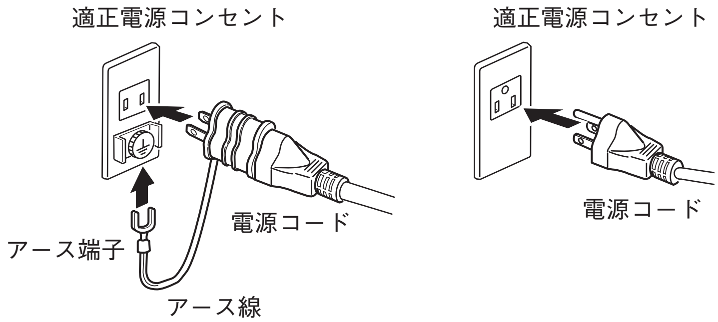
警告

電源プラグから出ているアース線は、必ず次のいずれかに接続してください。

- 電源コンセントのアース線端子
- 銅片等を650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事（第３種）を行っている接地端子

アース接続は必ず電源プラグを電源に差し込む前に行ってください。またアース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。アース接続できない場合は「ハードウェア修理相談センター」（244 ページ）にご連絡ください。

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に火災や感電の原因になります。



次のような箇所には絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチック等になっている場合は、アースの役目を果たしません。）

オプション品の取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因になります。

近くで落雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて雷が治まるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し火災の原因になります。

注意

プリンタの電源スイッチを入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因になることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり断線したりして、火災や感電の原因になることがあります。

1ヶ月に一度はプリンタの電源を切り、次のようなことを点検してください。

- **電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？**
- **電源プラグに異常な発熱および錆、変形などはありませんか？**
- **電源プラグやコンセントに埃が付いていませんか？**
- **電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか？**
- **アース線はアース接続端子に取り付けられていますか？**

なお異常があるときは、「ハードウェア修理相談センター」（244 ページ）にご連絡ください。

長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのままにしておくと、劣化により火災や感電の原因になることがあります。

プリンタの清掃、保守および故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜かずに清掃や保守を行うと、火傷や感電の原因になることがあります。

取り扱いに関するご注意

警告



プリンタに水を掛けたり、濡らしたりしないでください。

火災や感電の原因になります。

通気口等の開口部から内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災や感電の原因になります。

カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源スイッチを入れたりしないでください。

火災や感電の原因になります。

プリンタの近くで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。

火災や故障の原因になります。



次のようなときは、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。

- **発煙や発火、異臭、異常音がするなどの異常が発生したとき**
- **異物（金属片、水などの液体）が内部に入ったとき**
- **プリンタを落としたり、カバーなどを破損したとき**

その後「ハードウェア修理相談センター」（244 ページ）にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



プリンタを分解したり改造したりしないでください。本書で指示している箇所以外のネジやカバーは絶対に外さないでください。

内部には電圧の高い部分があるため感電の原因になったり、レーザ光漏れにより失明する恐れがあります。



トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、廃トナーボックスを火中に投じないでください。

トナー粉が跳ねて火傷の原因になります。使用済みのトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、廃トナーボックスを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。

参照 「使用済みカートリッジの回収サービス」（244ページ）参照

注意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には絶対に触れないでください。

火傷の原因になることがあります。

つまった用紙を取り除くときは次のことをお守りください。

- 本書をよくお読みください。
- ネクタイやネックレス等がプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。
- 鋭利部に触れないよう注意してください。
- プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因になることがあります。
- 定着器やローラー部に用紙が巻き付いているときは、無理に取らないで直ちに電源を切り、「ハードウェア修理相談センター」（244 ページ）にご連絡ください。

使用中のプリンタは布などで覆ったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因になることがあります。

プリンタ内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、怪我の原因になることがあります。

用紙排出部のローラーが作動しているときは作動部には触れないでください。

指を挟み、怪我をする原因になることがあります。

トナーが目や口に入らないように注意してください。手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。

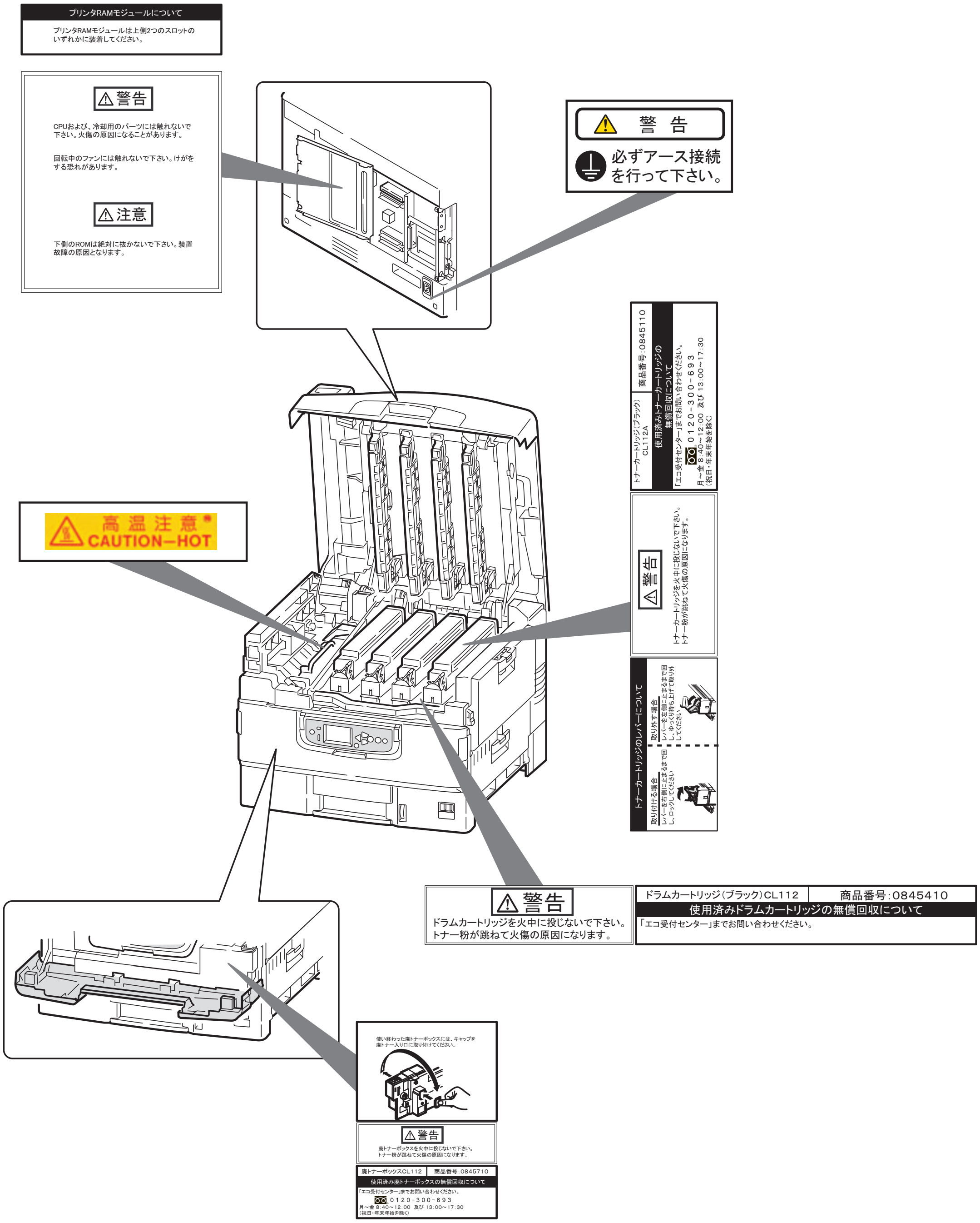
万一、目や口に入った場合は、直ちに医師と相談してください。

トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、廃トナーボックスを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置

本プリンタを安全にお使いいただくために、以下のような警告ラベルおよび注意ラベルがプリンタ内部に貼ってあります。指示内容をよく読み安全にご利用ください。



目 次

セットアップ編

第 3 章　オプションの装着 71

運　用　編

セットアップ編

第1章
お使いになる前に

この章では、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本機の特長

本機の特長を示します。

1 高速で高品位な印刷

XL-C8360 はカラー印刷時最大 36 ページ / 分、モノクロ印刷時最大 40 ページ / 分（共に片面印刷時）の高速印刷が可能です。また、32 階調の高画質で印刷できます。

2 ３つのポートに対応

USB2.0、パラレル、LAN の３つのポートを標準装備しており、各ポートの同時接続による運用が可能です。

3 高性能なプリンタドライバとユーティリティ

・プリンタドライバの設定により、N-up 印刷や拡大縮小印刷など、さまざまな印刷設定や、目的に応じたカラー調整が可能です。
・カラー調整ユーティリティにより、画面に表示される色とプリンタから出力される色を近づけることができます。
・ネットワークエクステンションを使うと、FUJITSU LPR ユーティリティ、FJRAW ポートモニタによりネットワーク接続した XL-C8360 のオプション設定などをパソコン上で確認できます。

参照　詳細は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

4 さまざまな用紙に対応

最大 A3 サイズの用紙への印刷が可能です。また、はがき、往復はがき、ユーザ定義サイズ、1200mm までの長尺紙といったさまざまなサイズや、ラベル紙、OHP フィルム、光沢紙などの媒体への印刷も可能です。

5 優れた拡張性

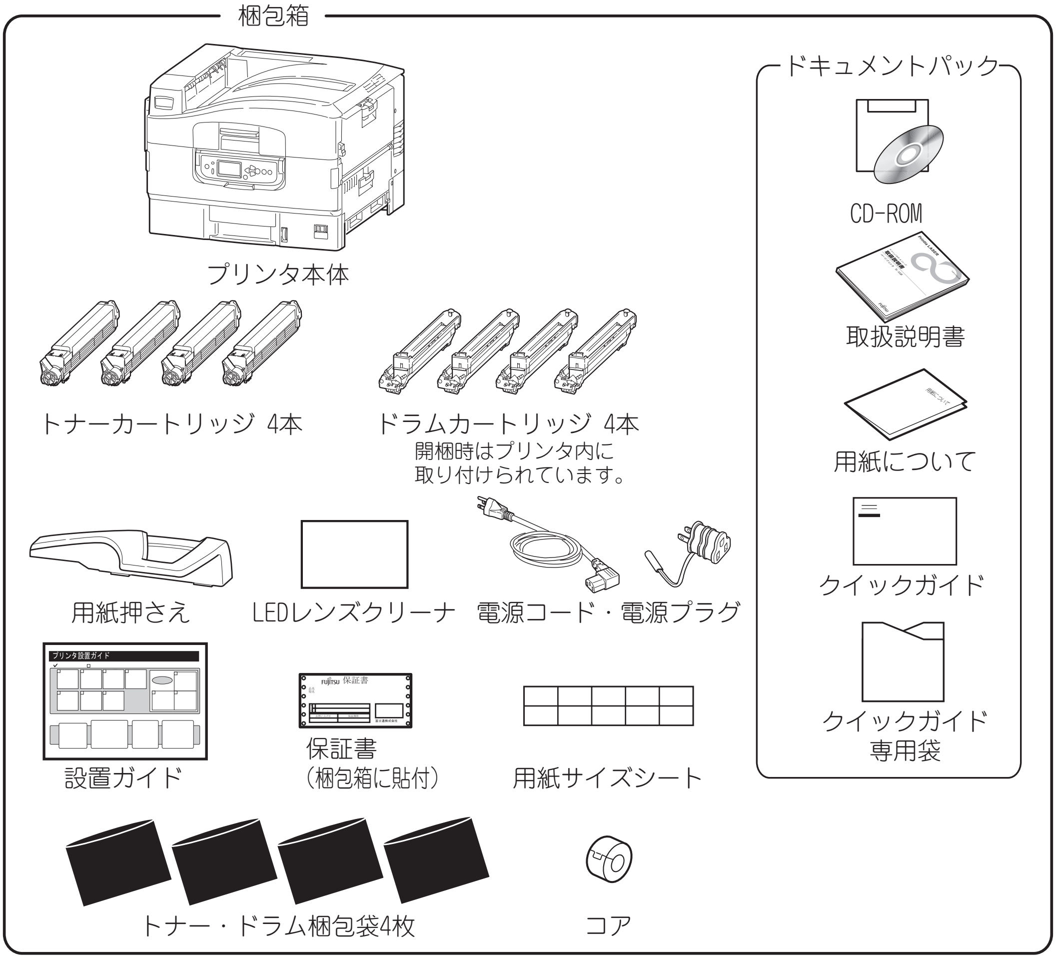
次のオプションを用意しており、使用環境に合わせて機能を拡張することができます。
・両面ユニットを取り付けることにより、両面印刷ができます。
・２種類の拡張給紙ユニットを選べます。プリンタ本体と合わせて最大 3,000 枚の用紙をセットすることができます。（拡張給紙ユニット -A ＋拡張給紙ユニット -B 使用時）

6 セキュリティ機能の充実

ネットワーク経由でプリンタを使用する場合、指定した IP アドレスのホストのみにプリンタへのアクセスを許可したり、管理者以外のユーザがプリンタの設定を勝手に変更したりできないようにするなどセキュリティ面でも優れた機能を持っています。

製品の確認（梱包されている製品）

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。
※プリンタは、必ず３人以上で持ち運んでください。



お願い

クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付ける場合は、通気口を塞がないように注意してください。
本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル（パラレルケーブル、USB ケーブル）は添付されていません。
別売ケーブルをお使いください。

参照　「プリンタケーブル」（75 ページ）参照

ガイド

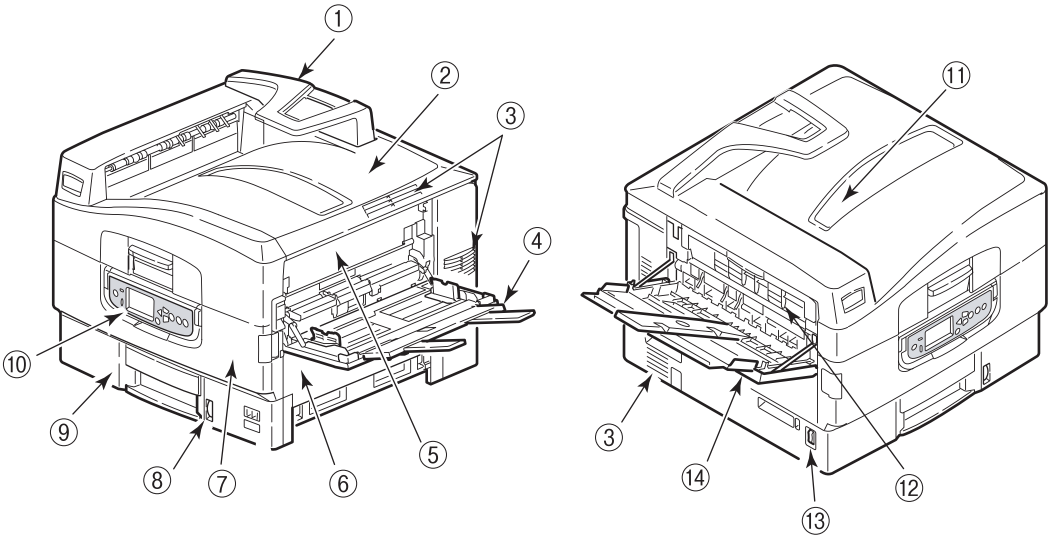
- 移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。
- クイックガイドはクイックガイド専用袋に入れてプリンタのそばに置いておくと、困った時にすぐに参照できて便利です。
- コアは LAN ケーブルの接続時に使用します。

参照 「LAN ケーブルの接続」(67 ページ)参照

各部の名称と機能

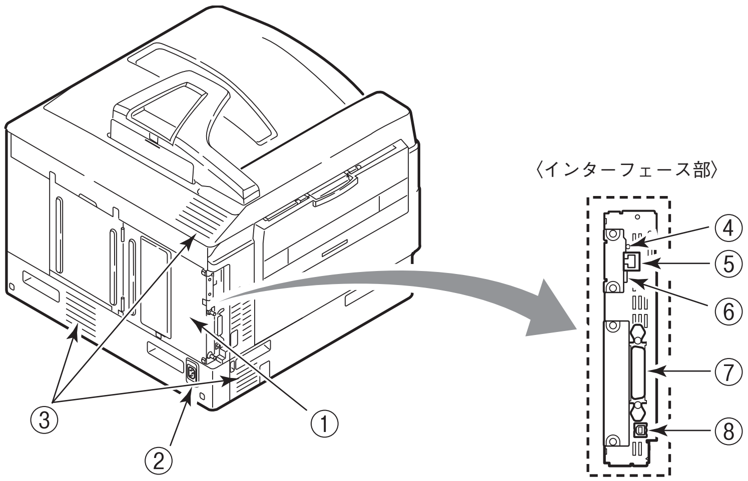
本製品の主要各部の名称と機能について説明します。

●前面



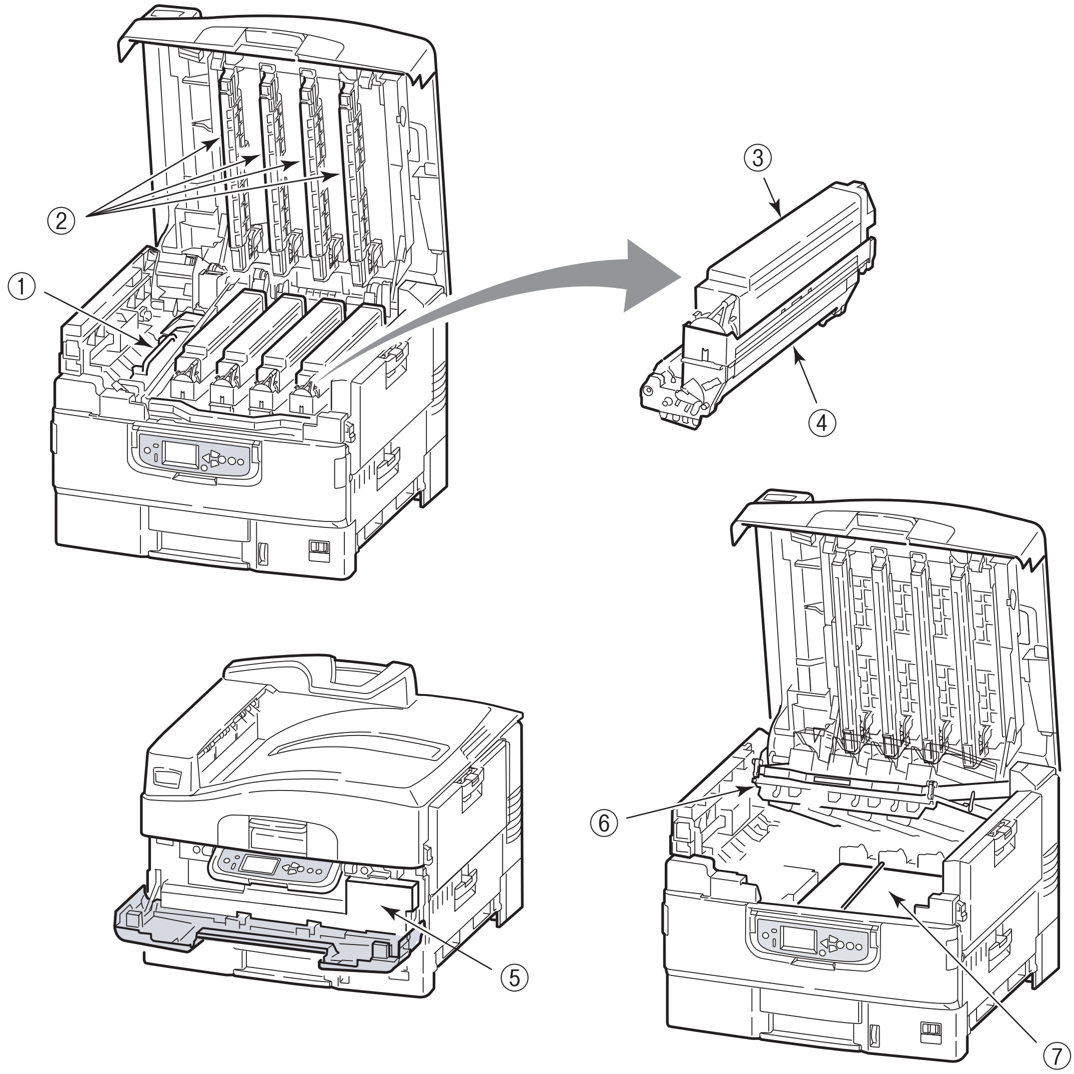
①	用紙押さえ	トップカバーを開いたときに排紙済みの用紙が落下することを防ぎます。
②	トップカバー	トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時、つまった紙を取り除くときに開けます。
③	通気口	プリンタ内部の過熱を防ぐため、熱が放出されます。通気口を塞がないでください。
④	マルチパーパストレイ	A6 ～ A3、ユーザ定義サイズまでの普通紙を 250 枚（64g/m^2 用紙の場合）、OHP フィルム、はがき、往復はがき、ラベル紙、光沢紙、封筒にも対応しています。用紙をセットする際には開けてください。
⑤	サイドカバー	つまった紙を取り除くときに開けます。
⑥	トレイ 1 サイドカバー	つまった紙を取り除くときに開けます。
⑦	フロントカバー	廃トナーボックスの交換時に開けます。
⑧	用紙残量インジケータ	用紙トレイ内の用紙の量を表示します。
⑨	用紙トレイ 1	A6 ～ A3 までの普通紙を 550 枚（64g/m^2 用紙の場合）、OHP フィルム、はがき、往復はがき、光沢紙にも対応しています。
⑩	オペレータパネル	操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。
⑪	フェイスダウンスタッカ	印刷された用紙が、おもて面を下にして排出されます。
⑫	排出部サイドカバー	つまった紙を取り除くときに開けます。
⑬	電源スイッチ	電源を入／切します。電源を切るときは必ずシャットダウン処理を行ってください。 参照 「電源の切断」（60 ページ）参照
⑭	フェイスアップスタッカ	印刷された用紙が、おもて面を上にして排出されます。

●背面



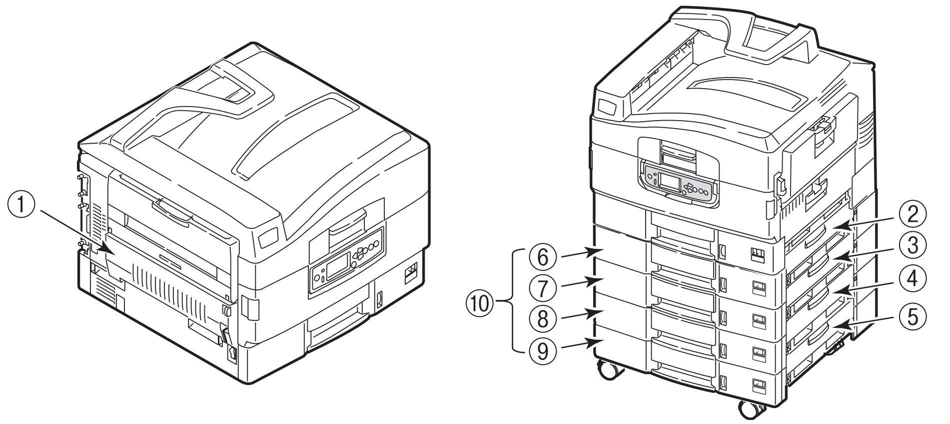
①	リアカバー	プリンタ RAM モジュールを取り付けるときに開けます。
②	電源コードコネクタ	電源コードを差し込むコネクタです。
③	通気口	プリンタ内部の過熱を防ぐため、熱が放出されます。通気口を塞がないでください。
④	TEST スイッチ	ネットワークの初期化、ネットワーク情報の印刷を行います。 スイッチを押しながら電源を入れると、ネットワークの初期化を行います。IP アドレスなどのネットワーク設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。
⑤	LAN ケーブルコネクタ	プリンタとパソコンを LAN 経由で接続するためのコネクタです。
⑥	STATUS ランプ	3 つの LED で構成され、上から 100M、10M、ステータスを示します。 100M：100Base-TX での接続時に点灯します。 10M：10Base-T での接続時に点灯します。 ステータス：データ受信時に点滅します。常に点灯、消灯している場合は、異常が発生しています。プリンタの電源を入れ直しても変わらない場合は、「ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。 参照 「ハードウェア修理相談センター」（244 ページ）参照
⑦	パラレルケーブルコネクタ	プリンタとパソコンをパラレルインターフェースで接続するためのコネクタです。
⑧	USB ケーブルコネクタ	プリンタとパソコンを USB インターフェースで接続するためのコネクタです。

●内部



①	定着器	用紙にトナーを定着させるユニットです。プリンタ使用時や使用直後は、高温になっているので手を触れないように注意してください。
②	LED ヘッド	感光ドラムに印刷する文字などを書き込みます。シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの 4 色分あります。
③	トナーカートリッジ	トナーが入っています。シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの 4 色分あります。
④	ドラムカートリッジ	感光ドラム、現像部などで構成されるユニットです。シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの 4 色分あります。
⑤	廃トナーボックス	使用済みのトナーを回収します。
⑥	ドラムバスケット	つまった紙を取り除くときに持ち上げます。
⑦	ベルトユニット	給紙した用紙を走行させます。

●オプション接続時



①	両面ユニット	オプションの両面ユニットです。両面印刷を行うときに必要です。
②	トレイ 2 サイドカバー	つまった紙を取り除くときに開けます。
③	トレイ 3 サイドカバー	つまった紙を取り除くときに開けます。
④	トレイ 4 サイドカバー	つまった紙を取り除くときに開けます。
⑤	トレイ 5 サイドカバー	つまった紙を取り除くときに開けます。
⑥	用紙トレイ 2	オプションの拡張給紙ユニットを装着したときに使用できます。A6 ～ A3 までの用紙を 550 枚（64g/m^2 用紙の場合）セットできます。
⑦	用紙トレイ 3	オプションの拡張給紙ユニットを装着したときに使用できます。A6 ～ A3 までの用紙を 550 枚（64g/m^2 用紙の場合）セットできます。
⑧	用紙トレイ 4	オプションの拡張給紙ユニットを装着したときに使用できます。A6 ～ A3 までの用紙を 550 枚（64g/m^2 用紙の場合）セットできます。
⑨	用紙トレイ 5	オプションの拡張給紙ユニットを装着したときに使用できます。A6 ～ A3 までの用紙を 550 枚（64g/m^2 用紙の場合）セットできます。
⑩	拡張給紙ユニット	オプションの拡張給紙ユニットです。 拡張給紙ユニット -A と拡張給紙ユニット -B の二種類があります。 ⑥が拡張給紙ユニット -A、⑦～⑨が拡張給紙ユニット -B になります。

添付ソフトウェア（CD-ROM）について

添付 CD-ROM「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」には、パソコンから印刷するために必要なプリンタドライバやネットワークで使用するために必要なソフトウェア、プリンタをより快適に使用するために便利な各種のソフトウェアが収録されています。
これらのソフトウェアは、インストーラからインストールできます。インストーラは、添付 CD-ROM「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットすると自動的に起動します。

ガイド

・インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。
・CD-ROM に収録されているソフトウェアの詳細は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」、および CD-ROM ドライブ直下にある「Readme.txt」を参照してください。

第2章

プリンタ本体の設置

この章では、プリンタ本体の設置方法と、プリンタが単体で正しく動作することを確認するまでの手順を説明します。

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

- 本プリンタをご使用いただける環境範囲は次のとおりです。
  温度 :10 ～ 32 ℃　　湿度 :20 ～ 80%RH
  温度 32 ℃前後のときは湿度 60%RH 以下、湿度が 80%RH 以上のときは温度 27 ℃以下でご使用ください。（ただし、結露しないこと。）
  冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。
- サーバ接続などによりプリンタの夜間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（ 耐震対策、煙感知機、温度センサーなど）が施された場所に設置してください。
  また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。
- プリンタを前後左右に 5 度以上傾けないでください。
  トナーがこぼれるなど故障の原因となります。
- プリンタは凹凸のない、平らな場所に設置してください。
  斜行等により印字ズレが大きくなったり、故障の原因となったりします。
- ラジオの雑音、テレビやディスプレイ（CRT）のチラツキやゆがみなど電波や磁気による障害が発生し、原因が本プリンタであると考えられる場合は、本製品の電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の距離を離してみる。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の位置や向きを変えてみる。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の電源を別系統のものに変えてみる。
  - 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
  - ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。
- 化学薬品や油分を使用または保管している環境では、本プリンタを使用しないでください。故障の原因となります。
- プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。
  電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

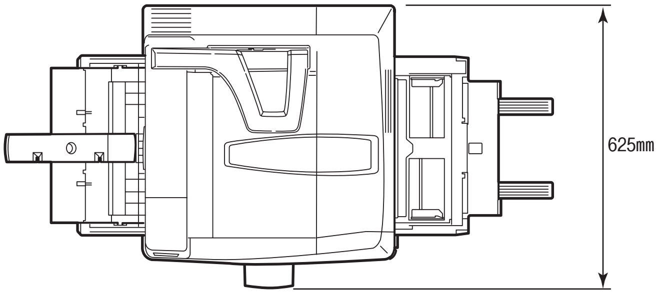
お願い

－超音波加湿器をご使用のお客様へ－
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

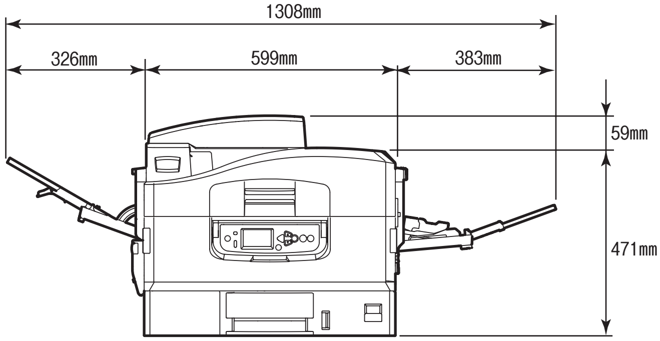
プリンタの寸法

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

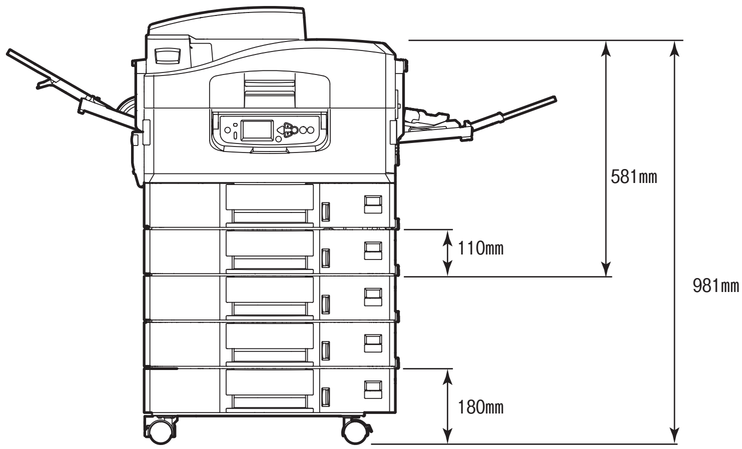
上面図



正面図



オプション装着図

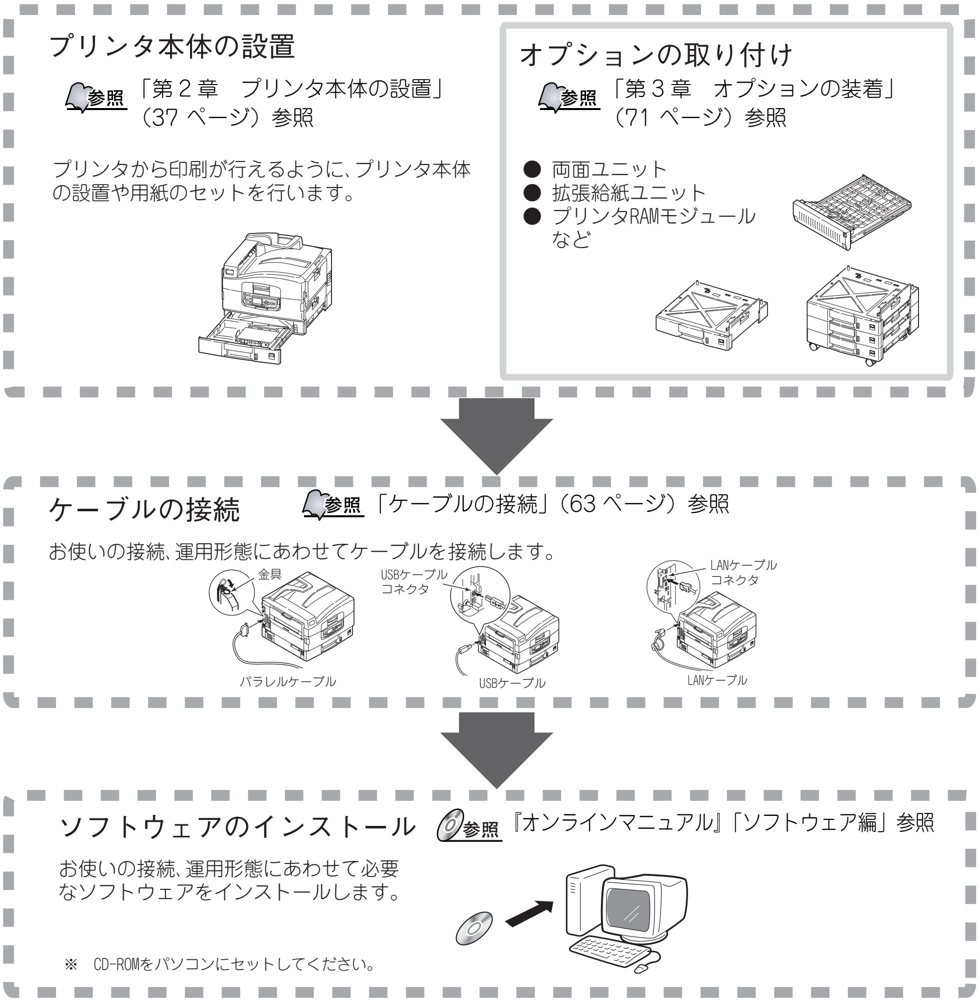


⚠ 注意

火　災	プリンタの背面と側面には通気口があります。プリンタは壁から十分離して設置してください。
参照	「安全上のご注意」（10 ページ）参照
け　が	設置する台は、プリンタの足全体が十分に載る大きさのものを準備してください。

プリンタの設置からインストールまで

プリンタの設置から印刷するために必要な設定までの流れを説明します。
プリンタの接続・運用形態によって手順が異なります。次の図を参照し、必要な設定を行ってください。

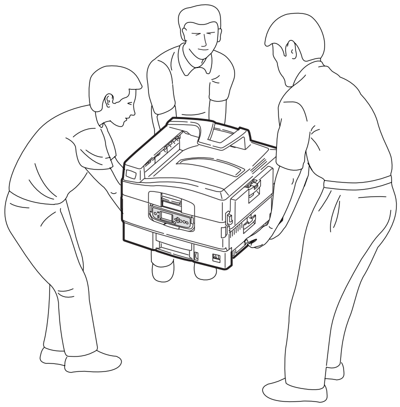


梱包品の確認

製品がすべて揃っていることを確認してください。
梱包されている製品は、「製品の確認（梱包されている製品）」（29 ページ）に記載してあります。

本体の取り出し

1. 梱包箱の四辺にある止め具（白い部品）を外し、梱包箱の上側を外す
2. 緩衝材、同梱品を取り出す
3. ビニールを外し、プリンタの左右、背面の下方にある取っ手部を持ち、水平に保ちながら取り出す



お願い

本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で 66.5kg あります。プリンタを動かす場合は必ず３人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、左右両側、背面側の下方にあるくぼみをしっかりと持ってください。指定場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

4. 水平でしっかりした机などの上に静かに置く

固定テープ、保護シートの取り外し

プリンタ各部に貼られている固定テープおよび保護シートを取り外し、給紙カセット内部の保護具を取り除きます。

ガイド

固定テープはフロントカバー内の廃トナーボックスにも貼られています。トップカバー、フロントカバーを開いて、固定テープを取り外してください。

オプション品の取り付け

お願い

以下のオプション品は、ドラムカートリッジや用紙を取り付ける前に、プリンタ本体に取り付けてください。
- 両面ユニット
- 拡張給紙ユニット－ A
- 拡張給紙ユニット－ B
- プリンタ拡張 RAM モジュール -256MB

各オプション品の取り付けは、第 3 章の目的の項目を参照してください。

参照 「両面ユニットの取り付けかた」(85 ページ)参照

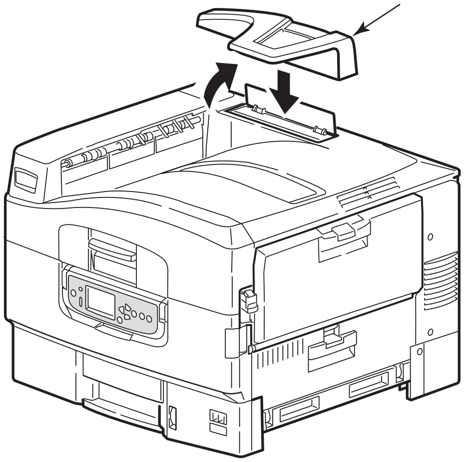
参照 「拡張給紙ユニットの取り付けかた」(81 ページ)参照

参照 「プリンタ RAM モジュールの取り付けかた」(77 ページ)参照

用紙押さえの取り付け

用紙押さえを取り付ける

1 用紙押さえ取り付けカバーを開く



2 2 か所の爪の位置を確認し、用紙押さえを取り付ける

ガイド

- 用紙押さえを取り付けると、トップカバーを開いたときにフェイスダウンスタッカに排紙済みの用紙の落下を防ぐことができます。
- 排出後の用紙の反りが大きく、用紙押さえにあたることがあります。その場合、通常よりも早くフェイスダウンスタッカフルとなることがあります。そのような場合は、用紙押さえを取り外して運用してください。

3 取り付けカバーを用紙押さえの背面にセットする

トナーカートリッジとドラムカートリッジの取り付け

ドラムカートリッジまたはトナーカートリッジを取り扱う場合は、次の点に注意してください。

⚠ 警告	故　障　ドラムカートリッジまたはトナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

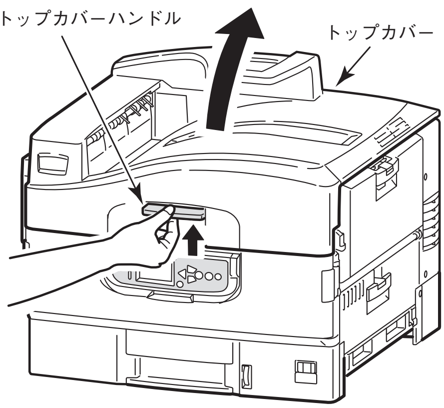
お 願 い

- 直射日光や強い光に当てないでください。
- ドラムカートリッジまたはトナーカートリッジの取り付け作業は、強い光の当たる場所を避け、できるだけ5 分以内に終了してください。
- ドラム表面には手を触れないでください。また、ドラムカートリッジを立てたり、裏返して置いたりしないでください。ドラムを傷つけることがあります。
- ドラムシャッターは、中の感光体（ドラム）に光が当たらないように保護しています。ドラムシャッターをむやみに開けないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。
- トナーカートリッジは、開封後、1 年以内で使い切ることをお勧めします。

1 トップカバーを開ける

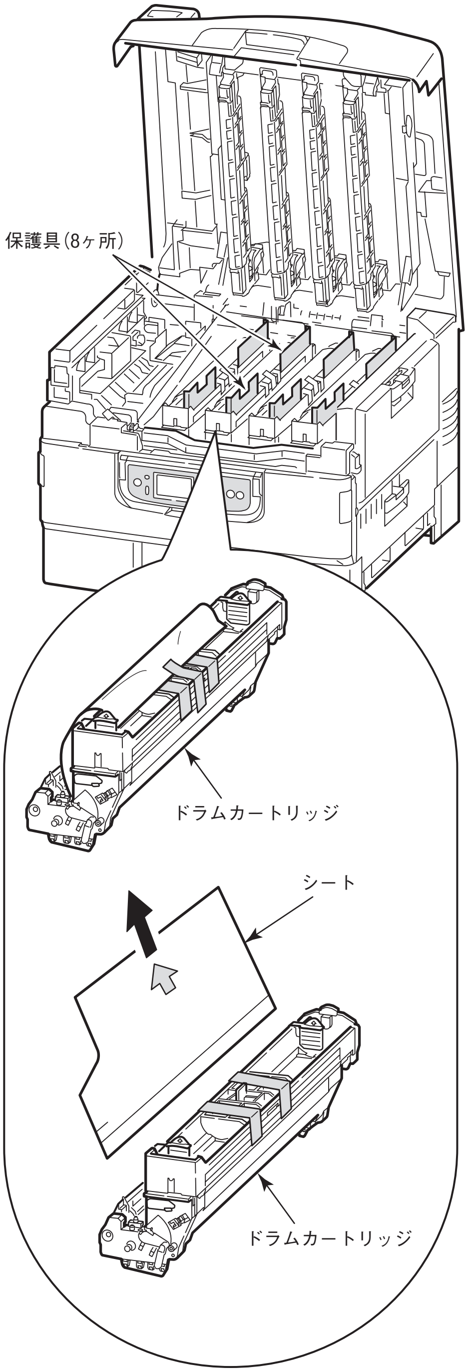
お 願 い

プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。



2 ドラムカートリッジの保護具についた固定テープを取り、保護具を取り外す

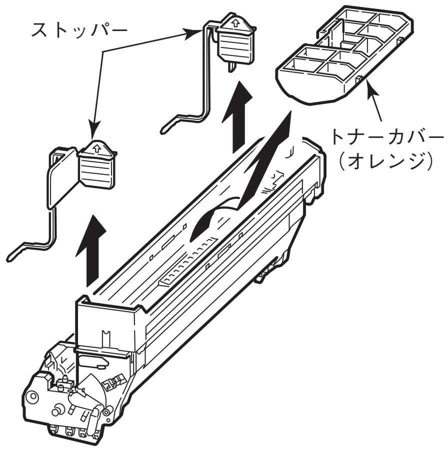
3 シートを止めているテープをはがし、ドラムカートリッジを軽く押さえながら矢印の方向に引き抜く



4 保護具を取り外す

お願い

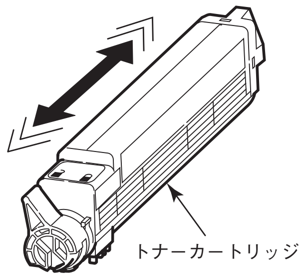
取り外した保護具は、プラスチックごみとして廃棄してください。



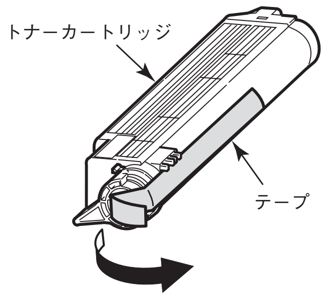
5 トナーカートリッジを包装袋から取り出し、左右に数回振る

お願い

レバー（青色）は回さないでください。トナーがこぼれます。

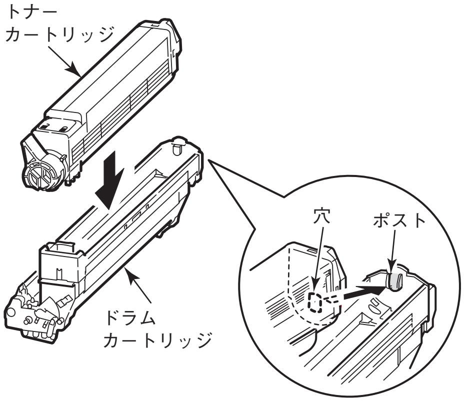


6 トナーカートリッジを水平にして、テープをはがす



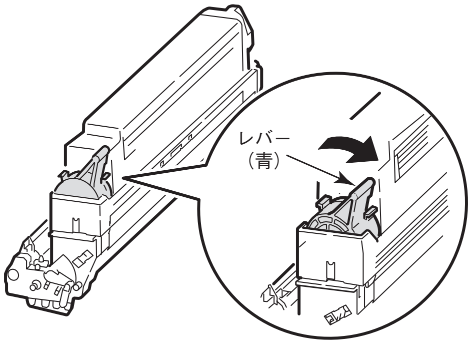
7 トナーカートリッジをドラムカートリッジに取り付ける

テープをはがした面を下にして持ち、ドラムカートリッジのポストにトナーカートリッジの穴を合わせ、ドラムカートリッジの上に静かに下ろします。
左からシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの順に取り付けます。



8 トナーカートリッジのレバー（青）を矢印の方向へ止まるまで回し、ロックする

手順②〜⑧を繰り返し、4 色すべてを取り付けます。



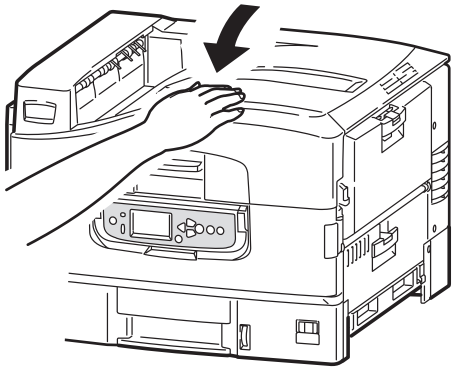
ガイド

レバーが回しづらい場合は、トナーカートリッジの手前側をドラムカートリッジの方向へ軽く押しながら操作してください。

お願い

- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らずレバーが回らないときは、トナーカートリッジとドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。ラベルの色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジとドラムカートリッジは、左からシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの順で取り付けます。取り付け位置を間違うと、正しく動作できず、故障の原因になります。

9 トップカバーを閉める



ガイド

トップカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、プリンタが作動しません。

ガイド

製品購入時に添付されているトナーカートリッジの印刷可能枚数は、A4 サイズに 印字率 5% 原稿を印刷した場合、約 5,000 ページ印刷できます。

電源の投入

電源コードを接続し、プリンタの電源が入るかどうか確認します。

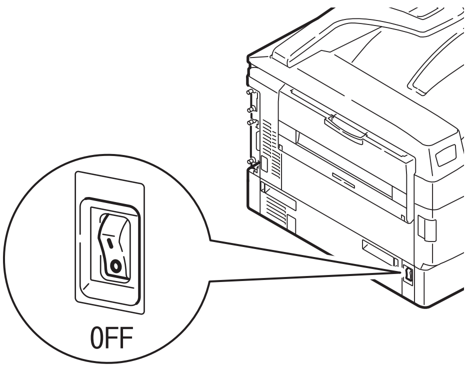
電源コードを接続する

次の手順で、電源コードを接続します。
本プリンタの電圧定格値は、AC100V です。
上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。

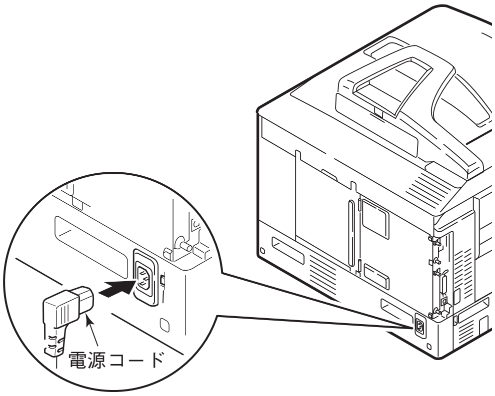
⚠ 警告

感　電	電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチをオフ（「○」側）にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。
火　災	電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。
感　電	危険ですので次の箇所にアース線を接続しないでください。 ・ガス管（火災や爆発の危険があります。） ・電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。） ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）
感　電	プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタを載せないでください。電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

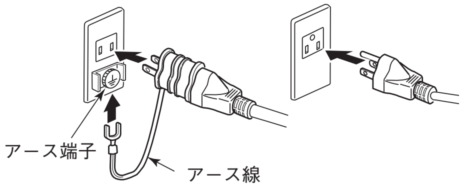
1 スイッチがオフ（「○」側）であることを確認する



2 電源コードをプリンタ背面にある電源コードコネクタに差し込む



3 電源コードのもう一方を電源コンセントに差し込む

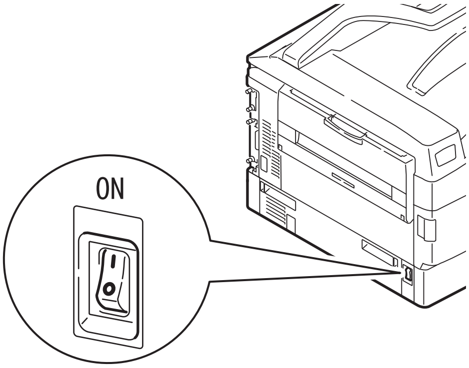


お願い

- アース接続は必ず行ってください。
- アース接続を行ってから、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。

電源スイッチをオンにする

電源スイッチを「｜」側に倒して電源を入れる

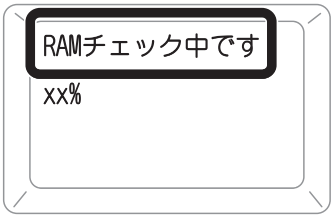


プリンタの動作とオペレータパネルの表示の確認

電源を入れると、オペレータパネルの液晶ディスプレイの表示が次のように切り替わります。



コントローラの初期化処理を行っています。



搭載しているメモリに異常がないかチェックしています。



ファームウェアのロードなど、最終処理を行っています。



オンライン状態です。

※カセットが未装着の場合、2 行目に「トレイ X にカセットがありません」と表示されます。

参照　オペレータパネルが上記の表示にならないときは、
「オペレータパネルのエラーメッセージ」（202 ページ）参照

用紙のセット

ここでは、用紙トレイやマルチパーパストレイに用紙をセットする手順について説明します。

ガイド

異なるサイズの用紙を、同時に１つのトレイにセットすることはできません。

用紙トレイに用紙をセットする

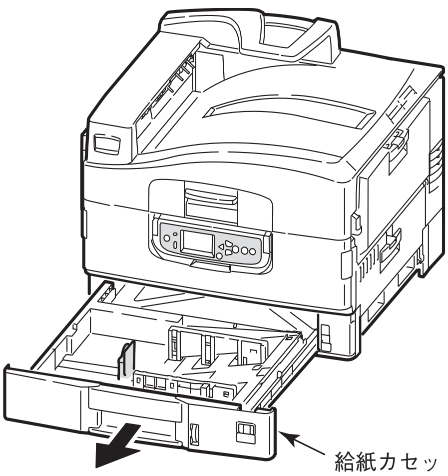
ここでは、用紙トレイに用紙をセットする手順について説明します。

ガイド

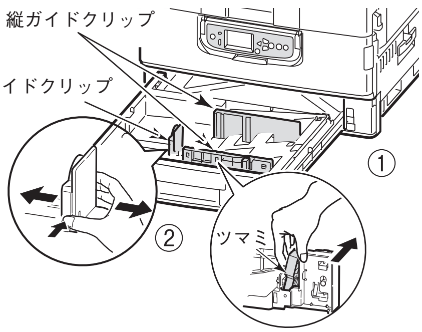
・拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする場合も用紙トレイと同じ手順でセットできます。
・用紙トレイ１にはがき、往復はがきをセットする場合、オペレータパネルで設定を変更することをお勧めします。

参照　「第５章　オペレータパネルの操作」（129 ページ）参照

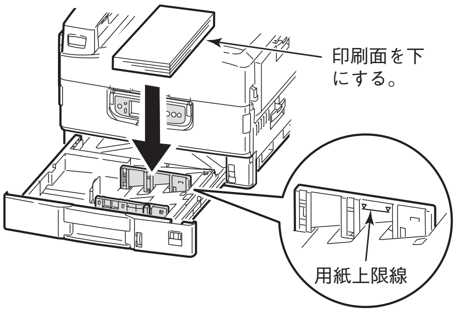
1 給紙カセットを引き出す



2 縦ガイドクリップのツマミを指でつまみ、用紙サイズに合わせる①
左側の横ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせる②



3 紙の四隅をそろえ、印刷したい面を下にしてセットする



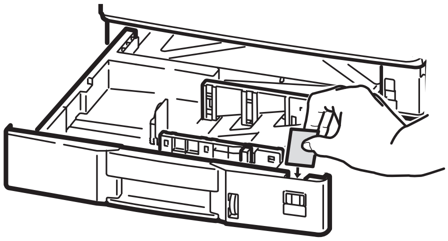
お願い

- 反り、しわ、折り目の入った用紙は使用しないでください。
- 最大積載可能枚数または用紙上限線を超える枚数の用紙は、セットしないでください。
- ガイドは、用紙に正しく合わせてください。ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因になったり、印刷位置がずれたりすることがあります。また、定着の温度制御が正しく行われず、装置の故障の原因になります。

ガイド

給紙カセットに収容できる枚数は、約550枚（64g/m^2用紙の場合）です。

4 セットした用紙に合わせて、用紙サイズシートを取り付ける



5 プリンタの奥に突き当たるまで、給紙カセットをしっかりと押し込む

お願い

給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。

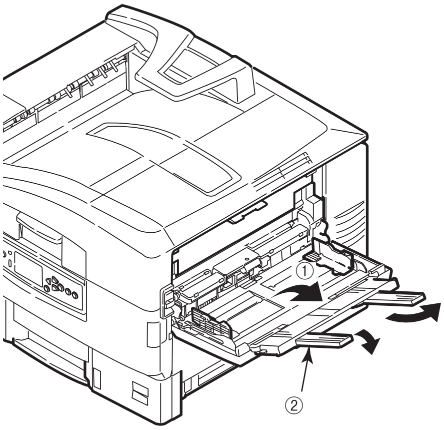
ガイド

給紙カセットをセットしても、警告、エラーの表示が消えるまでに時間がかかることがあります。

マルチパーパストレイに用紙をセットする

ここでは、マルチパーパストレイに用紙をセットする手順について説明します。

1. マルチパーパストレイを開く①
長い用紙をセットするときは、延長トレイを引き出す②



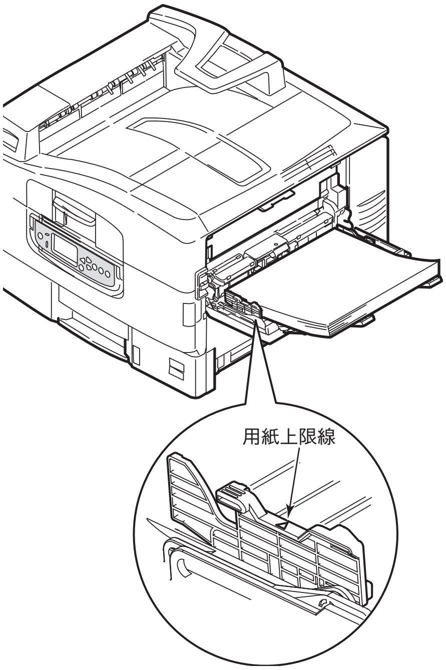
2. 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にし、差し込み口に突き当たらないようにセットする

お願い

- 反り、しわ、折り目の入った用紙は使用しないでください。
- 最大積載可能枚数または用紙上限線を超える枚数の用紙は、セットしないでください。

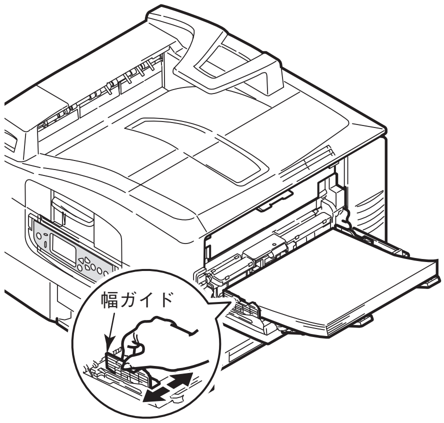
ガイド

差し込み口に用紙を突き当てると、トレイがリフトアップするため、幅を合わせることができなくなります。



3 幅ガイドを用紙サイズに合わせ、用紙を差し込み口に軽く突き当たるまで入れる

用紙がリフトアップします。



お願い

ガイドは、用紙に正しく合わせてください。ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因になったり、印刷位置がずれたりすることがあります。また、定着の温度制御が正しく行われず、装置の故障の原因になります。

ガイド

- マルチパーパストレイを閉じるときは、リフトが下がった状態で操作してください。リフトが上がっている場合は、指でリフトを押さえながら閉じてください。
- 用紙はリフトアップした状態で抜くことができます。

設定一覧の印刷

次の操作で設定の一覧を印刷し、プリンタが正しく動作することを確認します。

1. **印刷可能状態であることを確認する**

   次のいずれかの状態であることを確認します。
   - オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンラインです」と表示されている
   - オペレータパネルに「オフラインです」と表示されている
   - オペレータパネルに「パワーセーブ中です」と表示されている

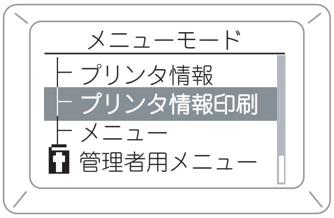
2. **オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、「オンライン」スイッチを押す**

   オペレータパネルに「オフラインです」と表示されていることを確認します。

3. **「メニュー▲」または「メニュー▼」スイッチを押し、メニューモードにする**

4. **「プリンタ情報印刷」を選択し、「設定」スイッチを押す**

   プリンタ情報印刷にレベルが移動します。



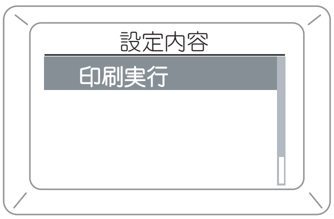
5. **「設定内容」が選択されていることを確認し、「設定」スイッチを押す**

   設定内容にレベルが移動します。



6. **「設定」スイッチを押す**

   設定の一覧の印刷が開始されます。



7 印刷状態を確認する

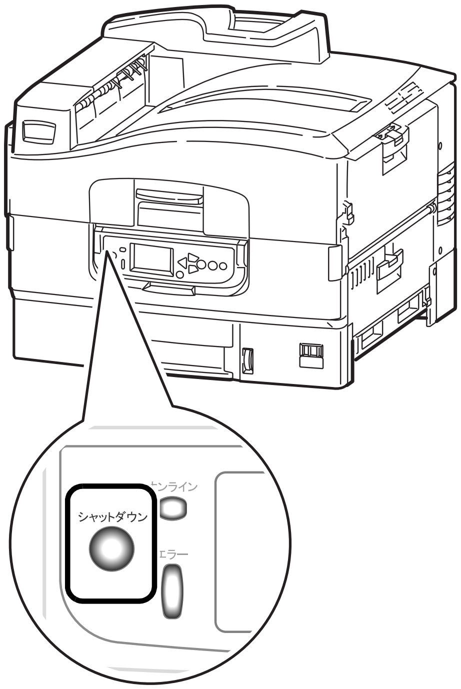
参照　正常に印刷されないときは、「第 7 章　こんなときには」（171 ページ）参照

参照　オペレータパネルの詳細は、「第 5 章　オペレータパネルの操作」（129 ページ）参照

電源の切断

1 **「シャットダウン」スイッチを 4 秒以上押す**

「シャットダウン中です」と表示されることを確認します。

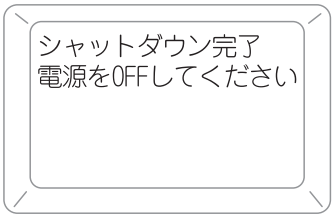


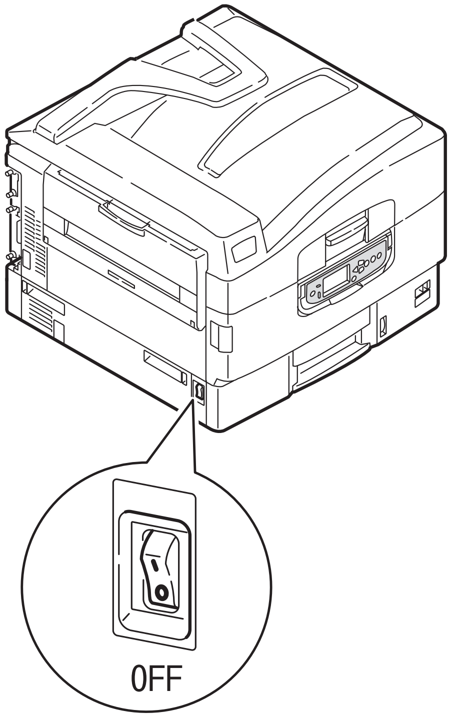
お願い

「シャットダウン中です」表示のとき、印刷データを送信しないでください。データを受信した場合、シャットダウンにより印刷動作が中断します。

参照　オペレータパネルの詳細は、「第 5 章　オペレータパネルの操作」（129 ページ）参照

2 **液晶ディスプレイに「シャットダウン完了」と表示されたら、電源スイッチをオフ（「O」側）に倒す**





電源が切断されると、オペレータパネルのすべてのランプおよび液晶ディスプレイが消灯します。

お願い

- プリンタの電源を切断するときは、必ず上記の手順の操作を行ってください。シャットダウン処理を行わずに電源を切ると、印刷枚数などの情報がプリンタに正しく保存されない場合があります。
- 印刷中は電源を切らないでください。もし電源を切ってしまったときは、プリンタ内に残っている用紙を取り除いてください。

参照 「紙づまりになったとき」（172 ページ）参照

- 電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで 10 秒ほどお待ちください。

ガイド

「シャットダウン完了」表示になると、印刷データを受信できなくなります。印刷を行う場合は、電源を再投入してください。

以上でプリンタ本体の設置は完了です。目的に合わせて次の設定に進んでください。

参照　パソコンとパラレルケーブルで接続するには
「パラレルインターフェースによる接続」（64 ページ）参照

参照　パソコンと USB ケーブルで接続するには
「USB インターフェースによる接続」（66 ページ）参照

参照　LAN ケーブルで接続するには
「LAN ケーブルの接続」（67 ページ）参照

ケーブルの接続

お使いの環境、運用形態にあわせ、プリンタにケーブルを接続します。

ガイド

- 接続方法は、お使いの環境、運用形態に合わせて以下を目安に選択してください。
  - パラレルケーブル /USB ケーブルで接続
    １台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用に IP アドレスを使いたくない場合に選択します。
    より速く印刷したい場合は、USB ケーブルによる接続をお勧めします。
  - LAN ケーブルで接続
    プリンタの設置場所を自由に動かしたい場合や、インターネットを利用して印刷する場合に選択します。
    LAN ケーブルを利用するとデータの転送速度が高速になります。
- サーバ経由で印刷すると、クライアント側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。
- 本プリンタは、パラレル／ＵＳＢ／ＬＡＮのケーブルを同時に接続することができます。

参照 「複数のポートに同時接続するときの注意事項」(69 ページ) 参照

パラレルインターフェースによる接続

IEEE1284 準拠のパラレルインターフェースにパソコンを接続するときの注意事項と手順について説明します。

環境

・パソコン
双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機
・OS
Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 日本語版

警告	
感　電	パラレルケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。

注意	
故　障	ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因になることがあります。

お願い

パソコンとプリンタの接続に使用するパラレルケーブルは、1.5m 以下のシールドケーブルをお使いください。

ガイド

本プリンタには、パラレルケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。

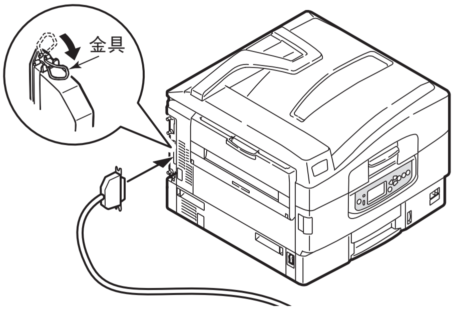
参照 「プリンタケーブル」（75 ページ）参照

1. **スイッチがオフ（「○」側）であることを確認する**

パソコンの電源も切断してください。

2 パラレルケーブルをプリンタ背面にあるパラレルケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定する

パソコン側の接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。



3 電源スイッチを「｜」側に倒し、プリンタの電源を入れる

4 パソコンの電源を入れ、Windows を起動する

この後は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」で、パラレル接続時のプリンタドライバのインストール方法の説明を参照してください。

USB インターフェースによる接続

USB インターフェースにパソコンを接続するときの注意事項と手順について説明します。

環境

・パソコン
USB インターフェースを内蔵する PC/AT 互換機
・OS
Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003 日本語版

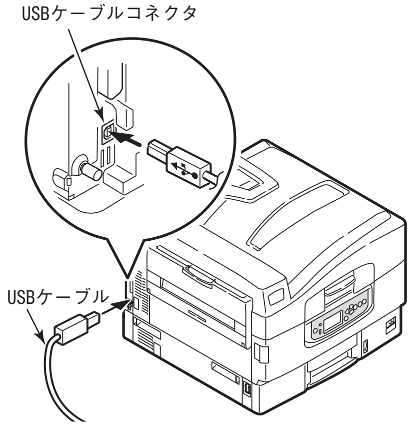
お願い

・Windows 3.1/95 から Windows 98/Me へアップグレードインストールした環境での動作は保証できません。
・Windows 95/NT4.0 では動作しません。
・パソコンとプリンタの接続に使用する USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
・印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
・USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
・本プリンタと接続した USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
・USB2.0 に準拠した USB ケーブルを用意してください。

ガイド

・USB2.0 でお使いになるにはパソコンが USB2.0 に対応している必要があります。
・USB ケーブルは本製品には添付されていません。お使いのパソコンに合わせて、別途購入してください。
参照 「プリンタケーブル」（75 ページ）参照

1 USB ケーブルをプリンタ背面にある USB ケーブルコネクタに差し込む



2 パソコンに USB ケーブルを接続する

パソコン側の接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
この後は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」で、USB 接続時のプリンタドライバのインストール方法の説明を参照してください。

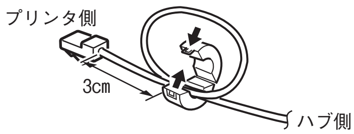
LAN ケーブルの接続

プリンタをネットワークに接続する手順について説明します。
プリンタをネットワーク経由で接続するときは、ハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリー 5 のツイストペアケーブルをご使用ください。
また、次ページの「LAN に接続するときの注意事項」もあわせてお読みください。

1 スイッチがオフ（「○」側）であることを確認する

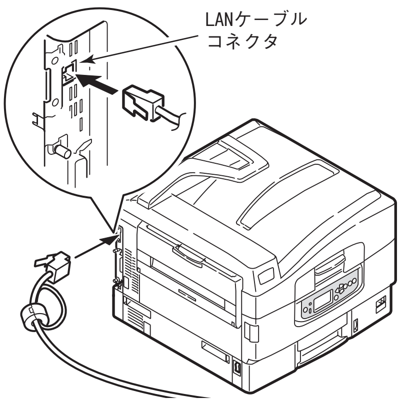
2 LAN ケーブルにコアを付ける

コネクタから約 3cm のところに 1 重の輪を作り、コアを付けます。



3 プリンタ背面にある LAN ケーブルコネクタに LAN ケーブルを接続し、電源を入れる

この後は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」で、ネットワーク接続時の設定方法の説明を参照してください。



ガイド

LAN ケーブルで接続した場合は、プリンタに IP アドレスを設定する必要があります。
IP アドレスは、オペレータパネルから設定することができます。

参照 オペレータパネルで IP アドレスを設定する方法は、「ＩＰアドレスの設定」（153 ページ）参照

LANに接続するときの注意事項

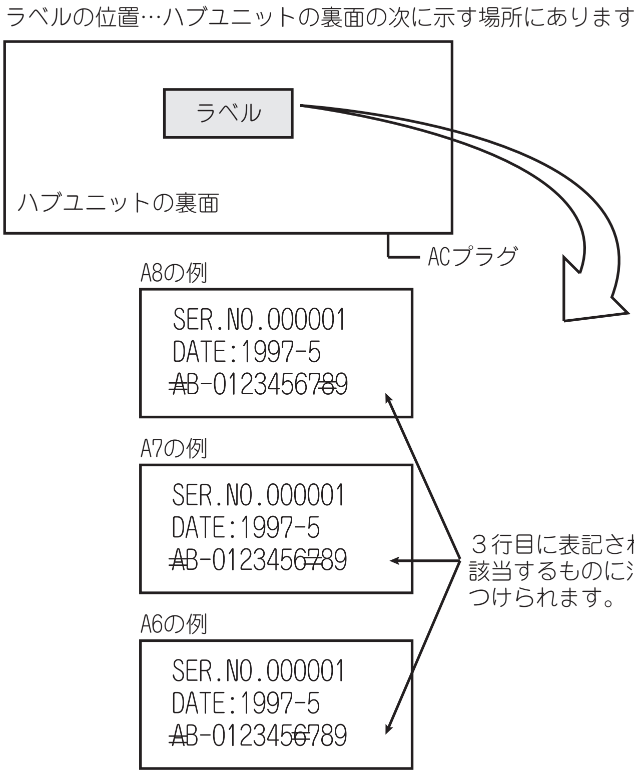
・LAN ケーブルをハブユニットに接続した場合に、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方の Ethernet タイプを同じ規格に設定してください。
本プリンタの Ethernet タイプは、「Auto Negotiate」「100Base-TX Full」「100Base-TX Half」「10Base-T Full」「10Base-T Half」の中から選ぶことができます。プリンタの Ethernet タイプは、メニューモードの「管理者用メニュー」−「Network Setup」−「Hub Link Setting」で変更します。

参照 メニューモードについては、
「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」(137 ページ)参照

ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。

・ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
- ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
- ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、「ハードウェア修理相談センター」(244 ページ)にご相談ください。

ラベルの見かたを次の図に示します。



複数のポートに同時接続するときの注意事項

本プリンタは、LAN 経由でサーバプリンタとして動作するとともに、他のパソコンをパラレルポートや USB ポートにそれぞれ接続することができます。
複数のポートにプリンタを接続したときは、次の点にご注意ください。

・ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
・パラレルポート、USB ポートでの印刷時は、最後のデータを受信してからポート切り替え時間が経過するまで他のポートからの印刷は行えません。
・使用中のポートがある場合、他のポートは使用できません。複数のポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、印刷中のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
・使用中のポートで未印刷データがある場合、他のポートには切り替わりません。

お願い

印刷中は、プリンタから他のケーブルを抜き差ししないでください。

参照　ポートの切り替え時間については、「第 5 章　オペレータパネルの操作」の「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」の「メニュー」－「システム設定」－「タイム アウト印刷」（146 ページ）参照

第3章

オプションの装着

本プリンタのオプションには、プリンタ RAM モジュール、両面ユニット、および拡張給紙ユニットがあります。これらの取り付けかたについて説明します。

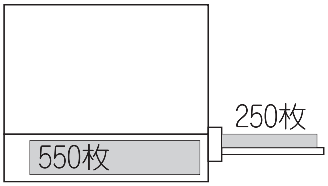
オプション品のご紹介

本プリンタは、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。

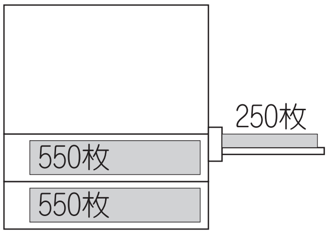
拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット -A	XL-EF55CB	2段目､3段目として使用できる給紙ユニットです。 550 枚(64g/m^2 用紙の場合)積載可能な給紙カセット 1 段の構成です。
拡張給紙ユニット -B	XL-EF165CB	2 ～ 4 段目、または 3 ～ 5 段目として使用できる給紙ユニットです。 550 枚（64g/m^2 用紙の場合）積載可能な給紙カセット 3 段から構成されています。

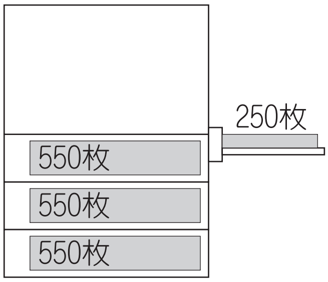
●形態



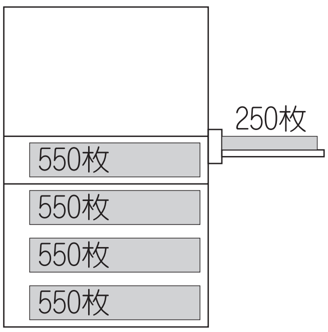
プリンタ本体のみ



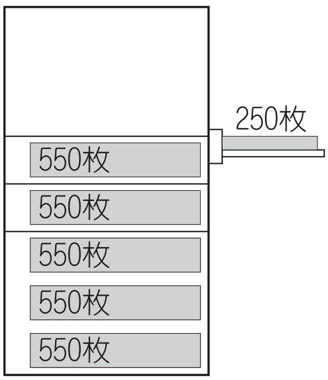
プリンタ本体
＋
拡張給紙ユニット-A



プリンタ本体
＋
拡張給紙ユニット-A
＋
拡張給紙ユニット-A



プリンタ本体
＋
拡張給紙ユニット-B



プリンタ本体
＋
拡張給紙ユニット-A
＋
拡張給紙ユニット-B

ガイド

・異なるサイズの用紙を、同時に 1 つの給紙カセットにセットすることはできません。
・印刷中でも、用紙が走行していない給紙カセットであれば、印刷を停止することなく用紙をセットすることができます。
・拡張給紙ユニット -B 増設時は、拡張給紙ユニット -A は 1 段のみ増設可能です。

両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPCB	両面印刷用のユニットです。

オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、A3、A4 横、A5、B4、B5 横、リーガル、レター横サイズ、ユーザ定義サイズ（幅：148 ～ 328mm、長さ：210 ～ 458mm）の用紙を両面印刷できるようになります。

プリンタ RAM モジュール

本プリンタには、次のプリンタ RAM モジュールを最大 2 枚まで搭載することができます。

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール -256MB	XL-EM256CB	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

●用途

プリンタ RAM モジュールの容量を増やすことにより、印刷可能範囲や部単位印刷の可能枚数が増えます。

参照　印刷保証範囲については、「プリンタ RAM モジュールによる印刷可能範囲の目安」（74 ページ）参照

●プリンタ RAM モジュールによる印刷可能範囲の目安

搭載されている RAM の容量が少ないと、印刷するデータサイズによってはメモリ不足となり印刷できない場合があります。次の表は、各設定での推奨のメモリサイズを示します。
○となっているところでも印刷するデータによってはメモリ不足が発生する場合があります。その場合はプリンタ RAM モジュールを追加するか、印刷品位を下げて印刷を行ってください。

	128MB （プリンタ RAM モジュールなし）						384MB 以上 （プリンタ RAM モジュールあり）					
用紙 サイズ／ 印刷品位	片面			両面			片面			両面		
	600 dpi 以下	600 x1200 dpi	高精細	600 dpi 以下	600 x1200 dpi	高精細	600 dpi 以下	600 x1200 dpi	高精細	600 dpi 以下	600 x1200 dpi	高精細
A3	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○
B4	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○
Legal	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○
Letter	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
A4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
B5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
A5 ／往復 はがき	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
A6 ／ はがき	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ユーザ 定義 サイズ	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○

×： データによっては印刷できますが、プリンタ RAM モジュールの追加を推奨する組み合わせです。

用紙サイズ、印刷品位はプリンタドライバで設定します。

参照　プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

プリンタケーブル

ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

ガイド

本製品にはプリンタケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。

お願い

以下の長さのシールドケーブルをお使いください。
パラレルインターフェースケーブル：1.5m 以下
USB ケーブル：5m 以下

別売ケーブルは以下のものが用意されています。

●パラレルインターフェースケーブル

品名	型名	内容
プリンタケーブル	FMV-CBL712	FMV シリーズ、各社 AT 互換機に接続できます。
プリンタケーブル	FMS-CBL711	PRIMERGY/GRANPOWER 5000 シリーズに接続できます。

● USB ケーブル

品名	型名	内容
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2	Windows 98/Me/2000/XP/ Windows Server 2003 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています。

オプション取り付け上のご注意

オプションを取り付けるときは、次のことがらを守ってください。

警告	感　電	オプションを接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。 当社推奨品以外を接続すると、感電・火災・故障の原因になります。

注意	け　が	オプション類の取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、ケガや故障の原因になることがあります。

お 願 い

オプション品の取り付け、取り外しを行う際は、必ず電源を切った状態で作業してください。

プリンタ RAM モジュールの取り付けかた

メモリを増設するためのプリンタ RAM モジュールの取り付け、取り外しについて説明します。

⚠ 警告

感　電	プリンタ RAM モジュールの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

お願い

静電気によってプリンタ RAM モジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。

- 本製品に取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。
- モジュールに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
- モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。

プリンタ RAM モジュールを取り付ける

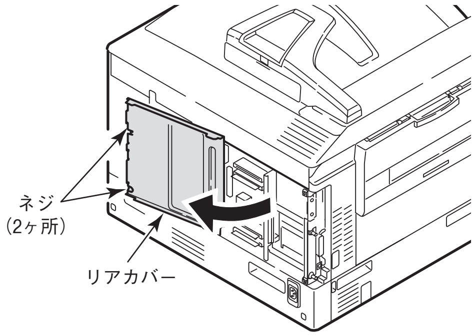
プリンタ RAM モジュールは、次の手順で取り付けます。

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。電源コードを電源コンセントから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 リアカバーを開ける

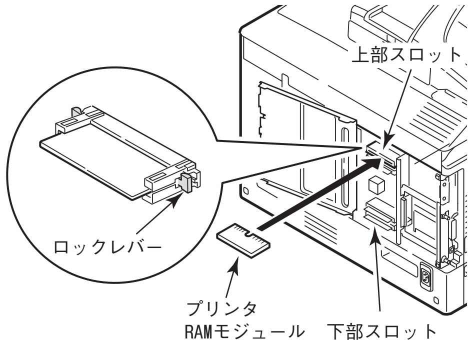
背面のつまみネジを緩め、右図の矢印のようにリアカバーを開ける。



3 プリンタ RAM モジュールを上部スロットの空いている側に、カチッと音がするまで差し込む

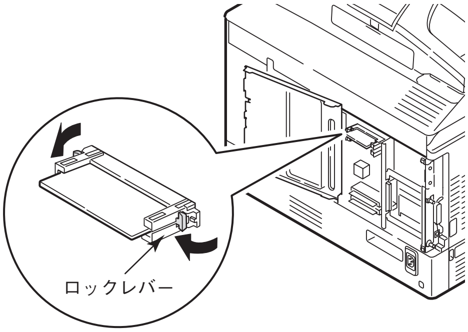
お願い

プリンタ RAM モジュールの基板は、壊れやすいので、取り扱いには十分注意してください。

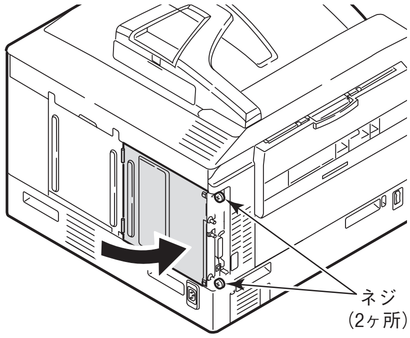


⚠ 注意	故　障	下部スロットにプリンタRAMモジュールを取り付けることはできません。また、下部スロットにすでに取り付けられているモジュールは取り外さないでください。

5 左右のロックレバー（青色２か所）が固定されていることを確認する



6 リアカバーを閉め、ネジを締める



ガイド

プリンタ RAM モジュールを増設したときは、メニューモードの「プリンタ情報」－「システム情報」－「メモリ容量」でメモリの総容量を確認します。

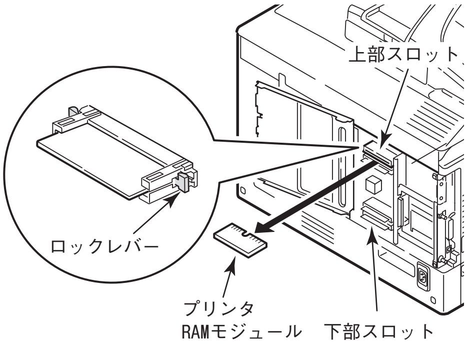
プリンタ RAM モジュールを取り外す

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。電源コードを電源コンセントから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 左右のレバーを指で開き、手前に引き抜く

参照　リアカバーの開閉のしかたは、「プリンタRAMモジュールを取り付ける」（78 ページ）参照



注意	故　障　下部スロットにすでに取り付けられているモジュールは、取り外さないでください。

拡張給紙ユニットの取り付けかた

本プリンタに取り付けることができる拡張給紙ユニットには、拡張給紙ユニット -A と拡張給紙ユニット -B があります。プリンタへの取り付け / 取り外しかたは、どちらの拡張給紙ユニットの場合も同様です。

参照　拡張給紙ユニットの取り付け形態については、「オプション品のご紹介」（72 ページ）参照

警告

感　電	拡張給紙ユニットの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

注意

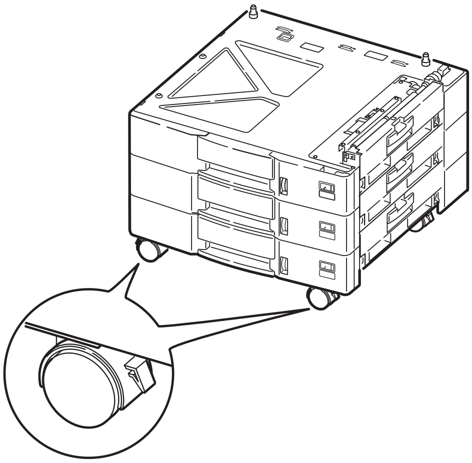
け　が	・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つける恐れがあります。 ・プリンタと拡張給紙ユニットの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因になることがあります。 ・本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で 66.5kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 3 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、左右両側、背面側の下方にあるくぼみをしっかり持ってください。指定場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。

拡張給紙ユニットを取り付ける

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り付けます。

1 拡張給紙ユニットを平らな床に置く

拡張給紙ユニット -B を取り付ける場合は、ユニットが動かないように、拡張給紙ユニット前面にある 2 か所のストッパーを下に押してロックします。



警告		
	け　が	拡張給紙ユニット -B のキャスターについているキャスターストッパーを必ずロックしてください。 ストッパーをロックしないと、地震などが発生したときにプリンタが動いたり、ケガの原因となることがあります。

2 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。電源コードを電源コンセントから抜きます。

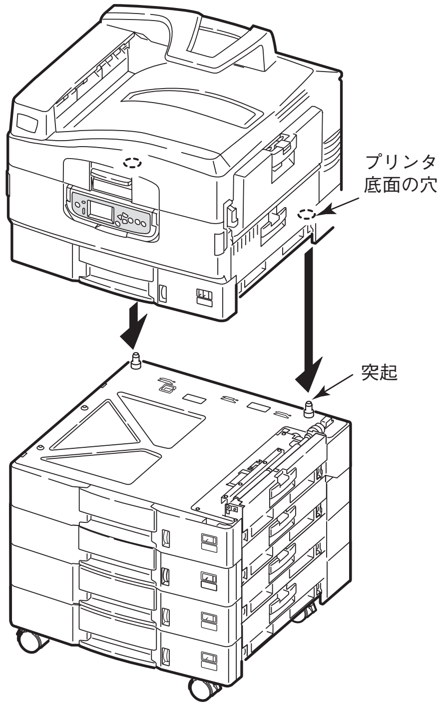
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

3 拡張給紙ユニットの突起とプリンタ底面の穴を合わせて重ねる

給紙カセット内部の保護具を取り除きます。

お願い

- プリンタ本体の給紙カセットは取り出さないで作業をしてください。手を挟んだり、傷つけたりするおそれがあります。
- 拡張給紙ユニットのサイドカバーやローラなどにぶつからないようにしてください。拡張給紙ユニットが故障するおそれがあります。



4 手順❷で取り外した電源コードを元に戻す

5 プリンタの電源スイッチの「❙」側に倒し、電源を入れる

これで、拡張給紙ユニットの取り付けは完了です。

お願い

- 拡張給紙ユニットを増設した場合は、必ずプリンタドライバでデバイスオプションの設定を行ってください。

  参照 プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照
- 拡張給紙ユニット -B を取り付けたあと、プリンタを移動するときは、キャスターストッパーのロックを解除し、キャスターで移動してください。

  ただし、10 度以上の傾きがある場所や段差のある場所を移動する際は、拡張給紙ユニットをプリンタ本体から取り外し、持ち上げて移動してください。

拡張給紙ユニットを取り外す

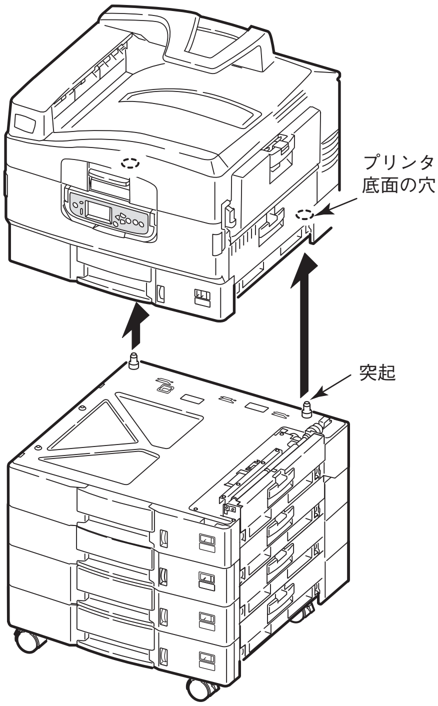
拡張給紙ユニットは、次の手順で取り外します。

1 **プリンタの電源を切り、ケーブルを外す**

プリンタの電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。電源コードを電源コンセントから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 **プリンタの両サイド下側を 3 人以上で持ち、拡張給紙ユニットから取り外す**

持ち上げ方に関しては、「安全上のご注意」の（12 ページ）をご参照ください。



ガイド

取り外し前に、あらかじめプリンタを置くスペースを確保しておいてください。

両面ユニットの取り付けかた

オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、次のサイズの用紙を両面印刷できるようになります。
A3、A4 横、A5、B4、B5 横、リーガル、レター横、ユーザ定義サイズ（幅：148 ～ 328mm、長さ：210 ～ 458mm）

警告	
	感　電　両面ユニットの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

両面ユニットを取り付ける

両面ユニットは、次の手順で取り付けます。

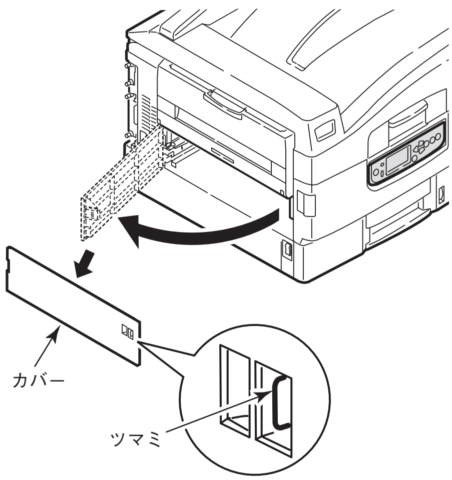
1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。
電源コードをコンセントから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 プリンタの左側面のカバーのツマミをつまみ、カバーを開くように取り外す

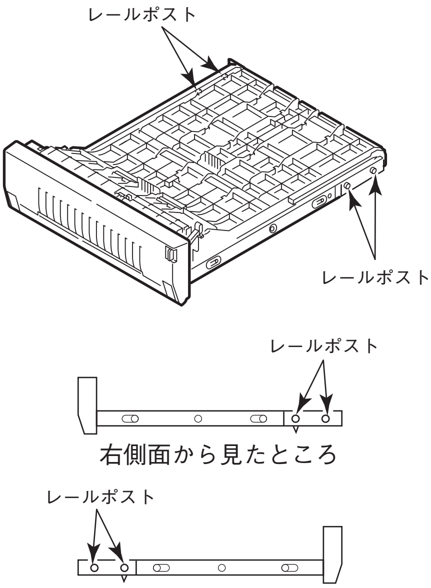
ガイド

外したカバーは大切に保管してください。



第3章　オプションの装着

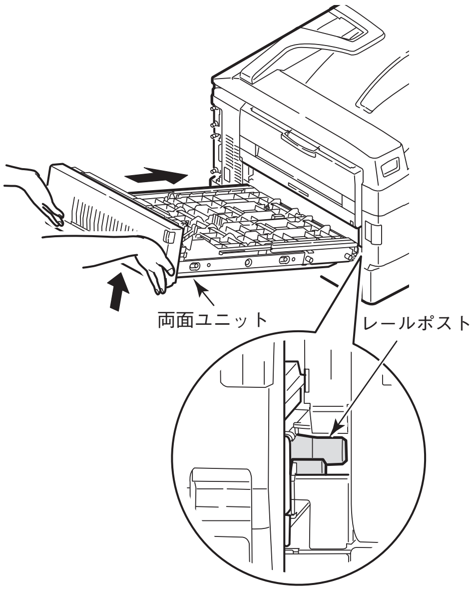
3 両面ユニットの両側面のレールポストが、図の位置でロックされていることを確認する



右側面から見たところ

左側面から見たところ

4 プリンタの左側面から両面ユニットを奥までしっかり差し込む



両面印刷ユニット側から
レールポストを見たところ

5 手順1で取り外した電源コードを元に戻す

6 プリンタの電源スイッチの「|」側に倒し、電源を入れる

これで、両面ユニットの取り付けは完了です。

お願い

両面ユニットを増設した場合は、必ずプリンタドライバでデバイスオプションの設定を行ってください。

参照 プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

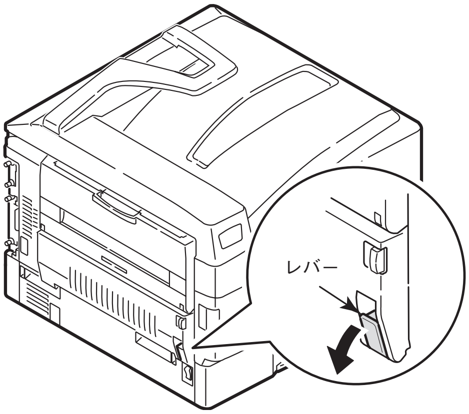
両面ユニットを取り外す

両面ユニットは、次の手順で取り外します。

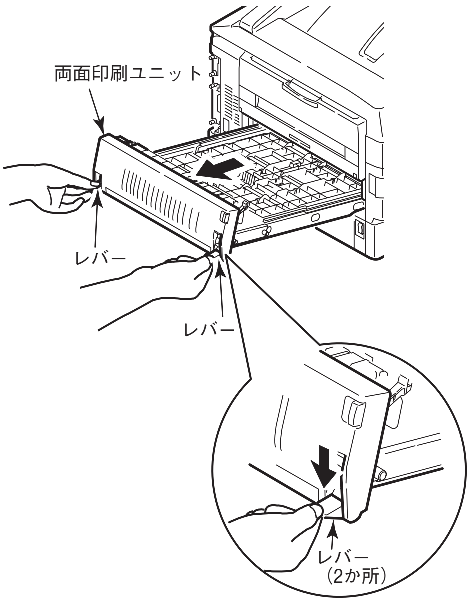
1 **プリンタの電源を切り、ケーブルを外す**

プリンタの電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。電源コードを電源コンセントから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 **両面ユニットの右側のレバーを手前に倒す**



3 **レバー（２か所）を持ち止まるまで引き出し、上に持ち上げながら外す**



4 **プリンタ左側面のカバーを取り付ける**

運　用　編

第４章
日常の操作

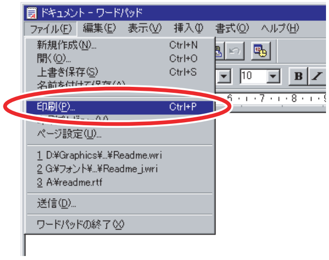
この章では、本プリンタで印刷するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

印刷手順

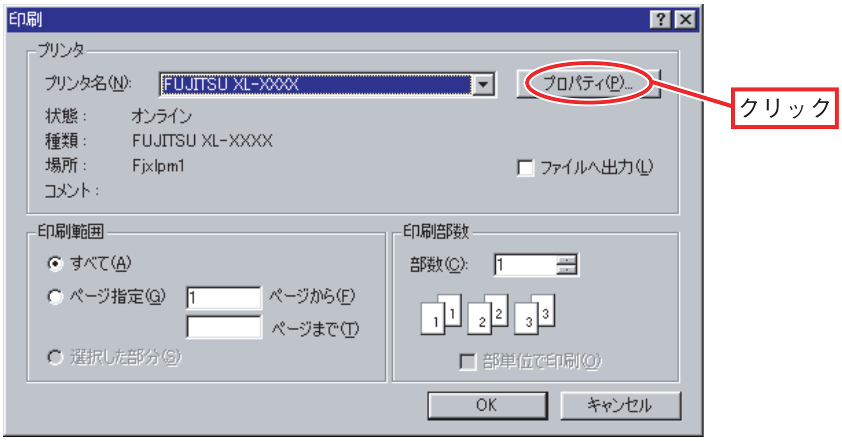
アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作について説明します。印刷手順はアプリケーションによって異なります。
ここでは、ワードパッドを例に説明します。

1. ワードパッドでデータを作成する

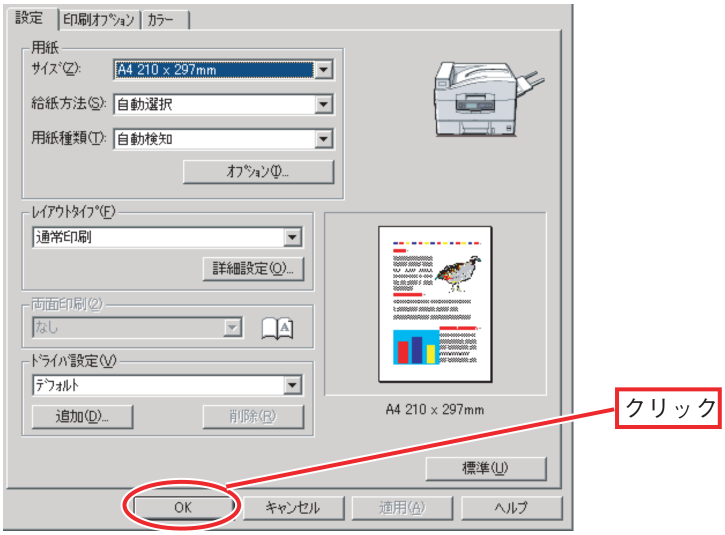
2. ［ファイル］メニューから［印刷］を選択する



3. プリンタが正しく選択されていることを確認し、［プロパティ］をクリックする



4 各項目を設定し、[OK] をクリックする



参照 各設定項目の詳細については、プリンタドライバの「ヘルプ」または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

参照 用紙をセットする方法については、「第 6 章　用紙について」(159 ページ) 参照

手順 3 の画面に戻ります。

5 [OK] をクリックする

印刷が開始されます。

参照 うまく印刷できないときは、「第 7 章　こんなときには」(171 ページ) 参照

ガイド

用紙の種類によっては、排出直後の用紙が熱くなっている場合がありますので、ご注意ください。

印刷の中止

印刷開始後（オンラインランプ点滅後）、印刷を中止する 2 つの方法を説明します。

パソコンの画面から中止する

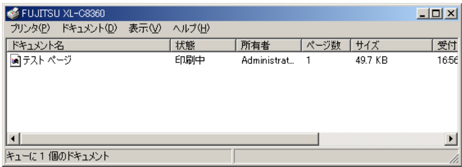
Windowsから中止する

Windows で印刷の指示を取り消す手順について説明します。

1. **［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする**
   Windows XP/Windows Server 2003 では、［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2. **［XL-C8360］のアイコンをダブルクリックする**

3. **表示されたウィンドウから、任意のドキュメント名をクリックし、削除（「Delete」キーを押す）する**



Internet Serviceから中止する

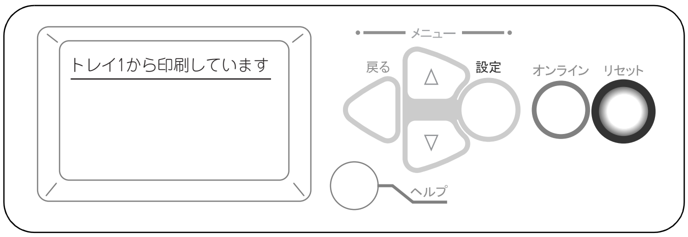
Internet Service を使用して、プリンタに指示した印刷を中止することもできます。

参照 Internet Service の詳細については、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

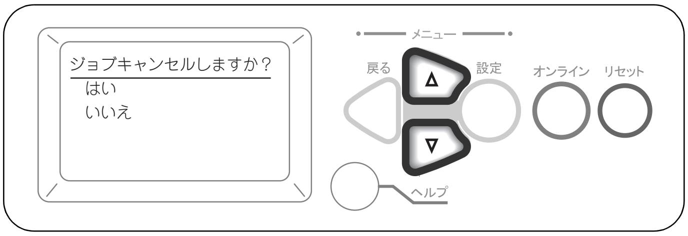
オペレータパネルから中止する

オペレータパネルでプリンタのリセット操作をします。
プリンタをリセットすると、プリンタ内の未印刷データを消去し、パソコンから残りデータを受信しながら、印刷ジョブを削除します。

1. **印刷中に「リセット」スイッチを押す**

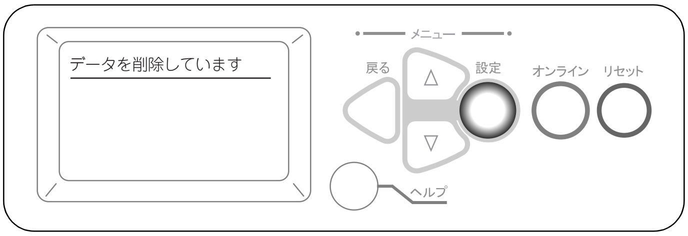


2 **「メニュー▲」または「メニュー▼」スイッチを押し、「はい」を選択する**



3 **「設定」スイッチを押す**

プリンタを初期化します。
初期化が終了すると、オンライン状態に戻ります。



参照　オペレータパネルの詳細は、「第 5 章　オペレータパネルの操作」（129 ページ）参照

用紙の排出面を切り替える

用紙の排出面を切り替える方法について説明します。

印刷面を下にして用紙を排出する

排出先をフェイスダウンに設定すると、印刷面を下にしてフェイスダウンスタッカに排出します。

ガイド

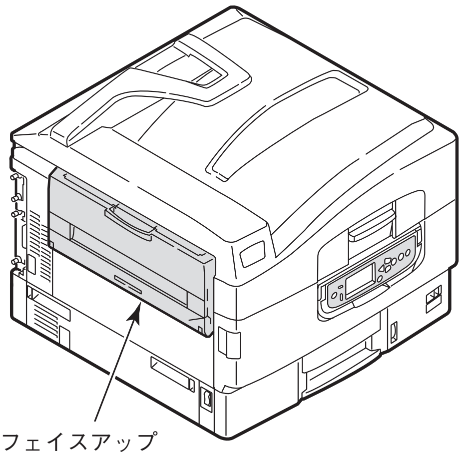
- フェイスアップスタッカを開けたままフェイスダウンスタッカに排出することができます。
- フェイスアップスタッカが用紙で一杯になると、フェイスダウンスタッカへの排出も行えなくなります。

印刷面を上にして用紙を排出する

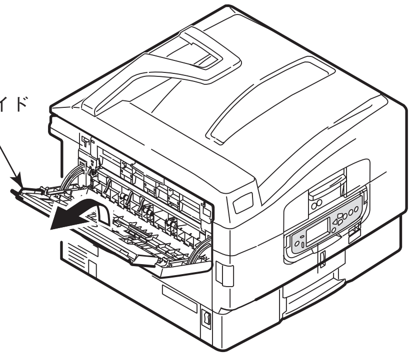
排出先をフェイスアップに設定すると、印刷面を上にしてフェイスアップスタッカに排出します。OHP フィルム、ラベル紙、光沢紙など厚手の用紙、はがき、往復はがき、長尺紙に印刷するときは、フェイスアップを指定します。

フェイスアップスタッカに排出するときは、次の手順でフェイスアップスタッカを開きます。

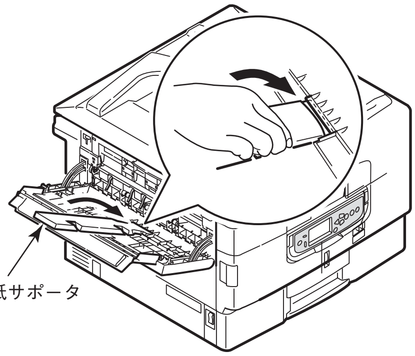
1. **プリンタ左側面のフェイスアップスタッカを開ける**



2 用紙ガイドを開ける



3 用紙サポータを所定の位置にセットする



ガイド

- フェイスアップスタッカを開かずにフェイスアップ設定で印刷すると、エラーとなります。フェイスアップスタッカを開くと印刷が開始されます。
- フェイスダウンスタッカが用紙で一杯になると、フェイスアップスタッカへの排出も行えなくなります。

消耗品の交換と使用上のご注意

消耗品の交換のしかたと使用するときの注意事項について説明します。

お願い

他のプリンタで使用している消耗品を取り付けないでください。消耗品の残量を正しくカウントできなくなります。

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジ 1 本あたりの目安として、A4 サイズ、印字率 5% 原稿を一回の印刷が 3 ページのジョブの印刷を繰り返した場合、約 5,000 ページ、または約 15,000 ページの印刷ができます。トナーの残りが少なくなると、トナーカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。トナーがなくなると継続して印刷ができなくなります。この場合は、直ちに新しいトナーカートリッジに交換してください。

ガイド

- トナーカートリッジの交換を促すメッセージには、該当の色が C、M、Y、K の形式で合わせて表示されます。C はシアン、M はマゼンタ、Y はイエロー、K はブラックを表します。
- プリンタ添付のトナーカートリッジの印刷枚数は、A4 サイズ、印字率 5% 原稿の印刷で約 5,000 ページです。

参照 「トナーカートリッジとドラムカートリッジの取り付け」（44 ページ）参照

参照 「トナーカートリッジの交換方法」（100 ページ）参照

参照 トナーカートリッジに関する詳細は、「サプライ品一覧」（233 ページ）参照

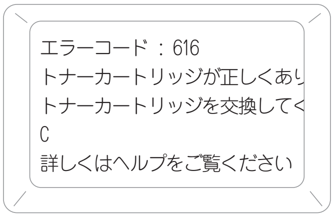
警告

破　裂	トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナー粉が跳ねて火傷の原因になります。 使用済みのトナーカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。 参照 「使用済みカートリッジの回収サービス」（244 ページ）参照
誤　飲	・トナーが目や口に入らないように注意してください。トナーカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。 万一、目や口に入った場合は、直ちに医師と相談してください。 ・トナーカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

注意	故 障	トナーカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のトナーカートリッジを取り付けると、トナーカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因になる恐れがあります。

トナーカートリッジ交換時のお願い

・立てたり、裏返しにして置かないでください。
・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。
・常に、予備のトナーカートリッジを用意しておいてください。
・装置の故障を防ぐため、本プリンタ専用品以外のトナーカートリッジをセットすると、次のようなエラーメッセージが表示される場合があります。本プリンタ用のトナーカートリッジに交換してください。以下のメッセージはシアントナーカートリッジが正しくない場合のエラー表示です。



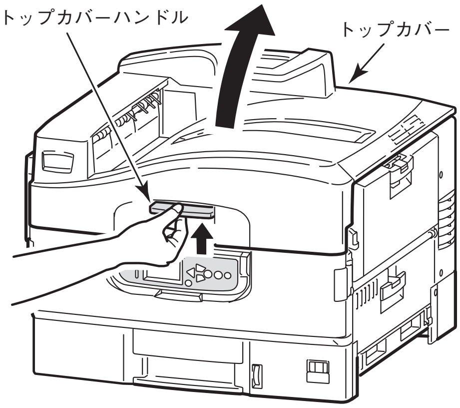
トナーカートリッジの交換に関する留意事項

・トナーカートリッジの保管期限は約 1 年間です。お買い上げ後は 1 年以内に使い切ってください。
・トナーカートリッジの交換を促すメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはトナーカートリッジの交換が必要です。
- 全体的にカスレがある場合
- 不鮮明な印刷状態が発生した場合
  適切な用紙に替えて印刷しても改善されないとき

トナーカートリッジの交換方法

次の手順にしたがって、トナーカートリッジを交換します。

1 プリンタ本体のトップカバーハンドルを握り、トップカバーを開ける

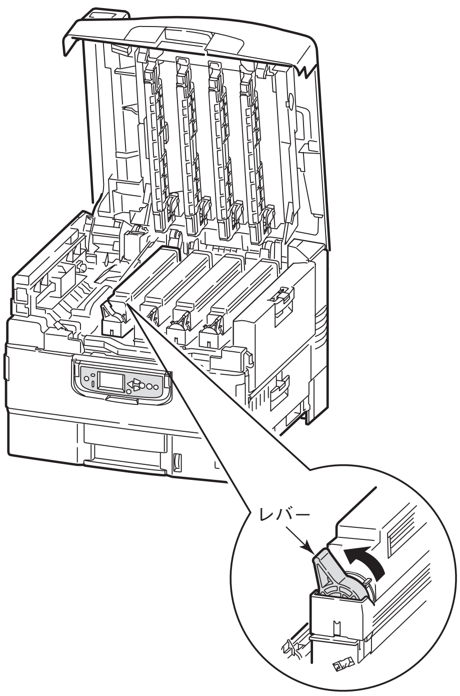


⚠ 注意	定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

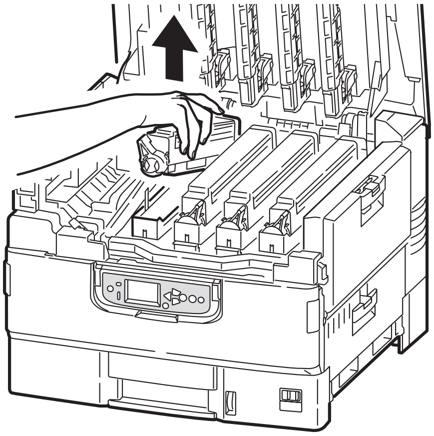
2 交換するトナーカートリッジの色を確認し、レバー（青色）を矢印の方向に止まるまで回す

ガイド

レバーが回しにくい場合は、トナーカートリッジの手前側をドラムカートリッジの方向へ軽く押しながら操作してください。



3 トナーカートリッジをゆっくり持ち上げて、取り出す



ガイド

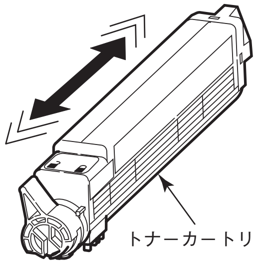
・トナーで床などを汚さないように、取り出したトナーカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いて置いてください。
・トナーカートリッジはゆっくり引き出してください。トナーが飛び散ることがあります。

お願い

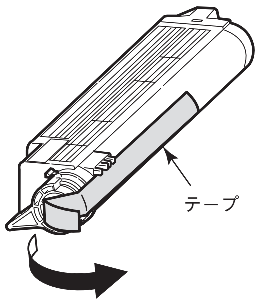
プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。

4 新しいトナーカートリッジの色を確認し、包装袋から取り出す

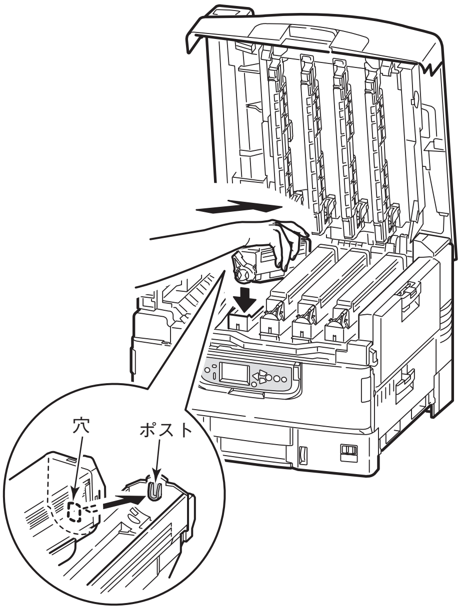
5 トナーカートリッジ左右に数回振る



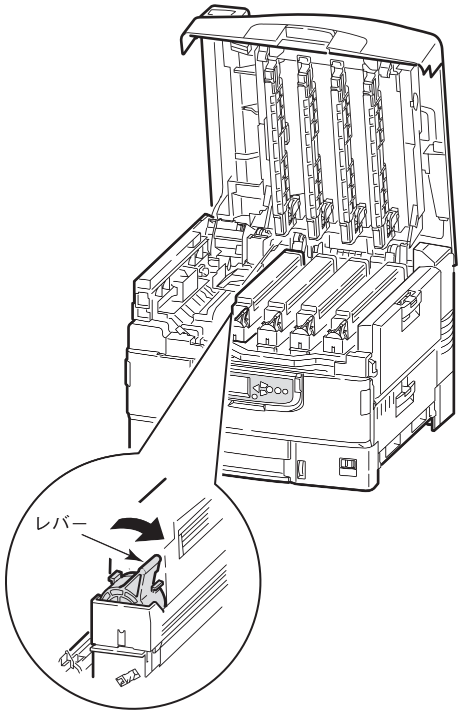
6 トナーカートリッジを水平な場所に置き、テープをはがす



7 テープをはがした面を下にして、ドラムカートリッジのポストにトナーカートリッジの穴を合わせ、ドラムカートリッジ上に静かに下ろす



8 トナーカートリッジのレバー（青色）を矢印の方向へ止まるまで回し、ロックする



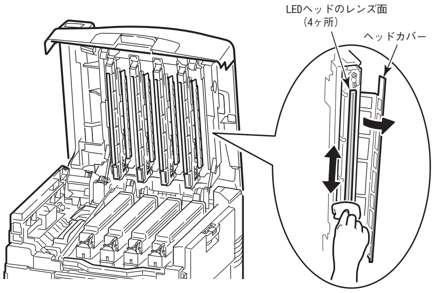
ガイド

レバーが回しにくい場合は、トナーカートリッジの手前側をドラムカートリッジの方向へ軽く押しながら操作してください。

お願い

トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らずレバーが回らないときは、トナーカートリッジとドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。ラベルの色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。

9 LED ヘッドカバーを開き、LED レンズクリーナまたはやわらかいティッシュペーパーで LED ヘッド（4 か所）を軽く拭く



10 プリンタのトップカバーを閉じる

これでトナーカートリッジの交換は完了です。

●使用済みカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みカートリッジを無償で回収しております。下記の『エコ受付センター』にご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

フリーダイヤル：0120-300-693

月曜～金曜 8:40 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30

（祝日・年末年始を除く）

トナーカートリッジの取り扱いと保管

トナーカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

取り扱い上のご注意

トナーカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

- 寒いところから暖かいところに移動した場合は、 1 時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- 立てたり、裏返しにして置かないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
- トナーカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えないでください。トナーがこぼれることがあります。

保管上のご注意

トナーカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

- 使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていた袋に入れ、保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲　0 ～ 35 ℃、湿度範囲　15 ～ 80％RH（ただし、結露のないこと）
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 立てたり、裏返しにして置かないでください。
- CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

ドラムカートリッジの交換

ドラムカートリッジ 1 本あたりの目安として、A4 サイズ、印字率 5% 原稿を一回の印刷が 3 ページのジョブの印刷を繰り返した場合、約 30,000 ページの印刷ができます。交換時期が近づくと、ドラムカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されますので、新しいドラムカートリッジを準備してください。ドラムカートリッジが寿命になると継続して印刷ができなくなります。この場合は、直ちに新しいドラムカートリッジに交換してください。

> **ガイド**
> ドラムカートリッジの交換を促すメッセージには、該当の色が C、M、Y、K の形式で合わせて表示されます。C はシアン、M はマゼンタ、Y はイエロー、K はブラックを表します。

参照　「トナーカートリッジとドラムカートリッジの取り付け」（44 ページ）参照

参照　「ドラムカートリッジの交換方法」（106 ページ）参照

参照　ドラムカートリッジに関する詳細は、「サプライ品一覧」（233 ページ）参照

警告		
	破　裂	ドラムカートリッジを火中に投じないでください。トナー粉が跳ねて火傷の原因になります。 使用済みのドラムカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。 参照 「使用済みカートリッジの回収サービス」(244 ページ)参照
	誤　飲	・トナーが目や口に入らないように注意してください。ドラムカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。 万一、目や口に入った場合は、直ちに医師と相談してください。 ・ドラムカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

注意		
	故　障	ドラムカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のドラムカートリッジを取り付けると、ドラムカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因になる恐れがあります。

ドラムカートリッジ交換時のお願い

ドラムカートリッジは、光に対して非常に敏感です。トナーを均一にするときや交換に際しては、次の点に注意してください。

・直射日光や強い光(約 1,500 ルクス以上)に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも 5 分以上は放置しないでください。
・感光体(ドラム)表面には絶対に手を触れないでください。
・立てたり、裏返しにして置かないでください。
・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。
・常に、予備のドラムカートリッジを用意しておいてください。
・装置の故障を防ぐため、本プリンタ専用品以外のドラムカートリッジをセットしないでください。

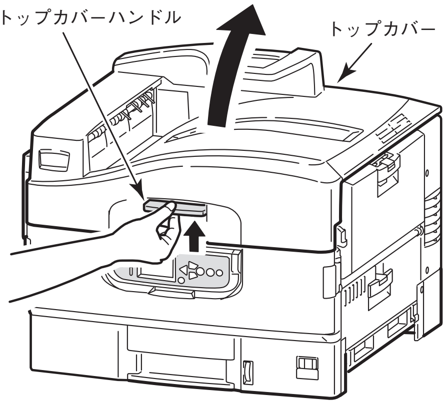
ドラムカートリッジの交換に関する留意事項

・ドラムカートリッジの保管期限は約 1 年間です。お買い上げ後は 1 年以内に使い切ってください。
・ドラムカートリッジの交換を促すメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはドラムカートリッジの交換が必要です。
  - 縦のカスレや部分的なカスレがある場合
  - 不鮮明な印刷状態が発生した場合
    適切な用紙に替えて印刷しても改善されないとき

ドラムカートリッジの交換方法

次の手順にしたがって、ドラムカートリッジを交換します。

1 **プリンタ本体のトップカバーハンドルを握り、トップカバーを開ける**



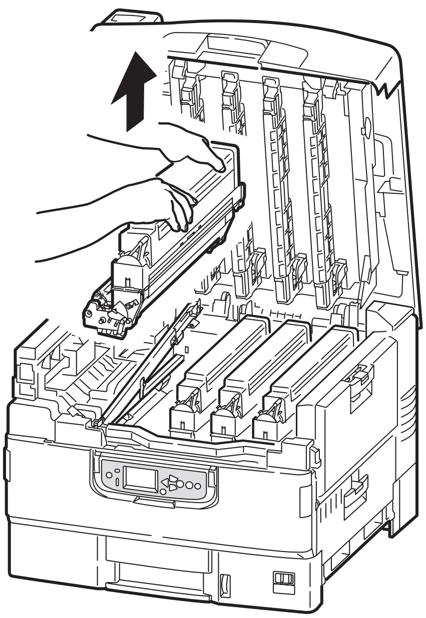
注意	定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 **交換するドラムカートリッジの色を確認し、上に持ち上げながら取り出す**

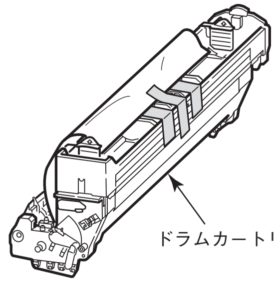
トナーカートリッジも一緒に取り出されます。

お願い

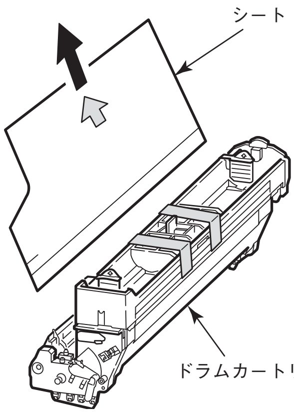
プリンタの内部には、手を触れないでください。



3 新しいドラムカートリッジを包装袋から出し、平らなテーブルの上に置く



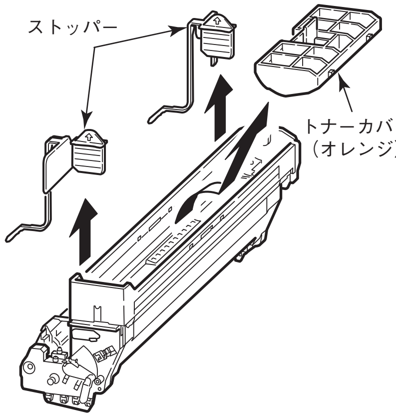
4 シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜く



5 保護具と乾燥剤を取り外す

お願い

取り外した保護具は、プラスチックごみとして廃棄してください。

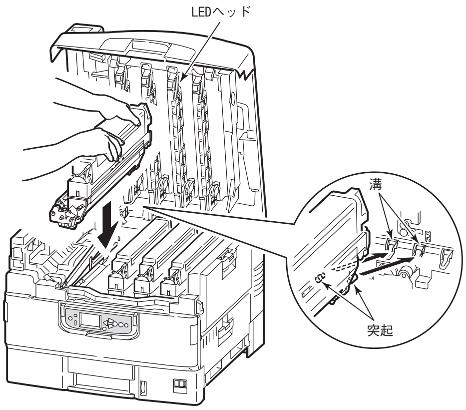


6 取り出したドラムカートリッジからトナーカートリッジを取り外し、新しいドラムカートリッジに取り付ける

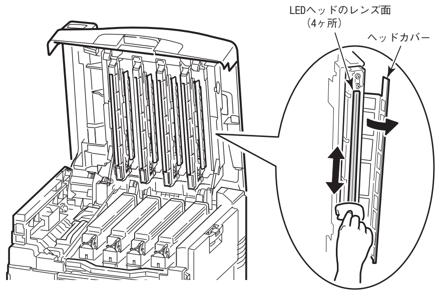
参照 「トナーカートリッジとドラムカートリッジの取り付け」手順 7、8 （47ページ）参照

参照 トナーカートリッジも新しくする場合は、「トナーカートリッジとドラムカートリッジの取り付け」手順 5～8 （46 ページ）参照

7 ドラムカートリッジとトナーカートリッジをプリンタにセットする



8 LED ヘッドカバーを開き、LED レンズクリーナまたはやわらかいティッシュペーパーで LED ヘッド（4 か所）を軽く拭く



9 トップカバーを閉じる

これでドラムカートリッジの交換は完了です。

●使用済みカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みカートリッジを無償で回収しております。下記の『エコ受付センター』にご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

フリーダイヤル：0120-300-693

月曜～金曜 8:40 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30

（祝日・年末年始を除く）

ドラムカートリッジの取り扱いと保管

ドラムカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

取り扱い上のご注意

ドラムカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

・直射日光や強い光 (約 1,500 ルクス以上) に当てないでください。
・室内の明かりの下でも、ドラムカートリッジを 5 分以上放置しないでください。
・ドラムカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないよう梱包されていた袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
・寒いところから暖かいところに移動した場合は、 1 時間以上室温に慣らしてから使用してください。
・立てたり、裏返しにして置かないでください。
・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。

保管上のご注意

ドラムカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

・使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
・直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
　温度範囲　0 ～ 35 ℃、湿度範囲　15 ～ 80％RH（ただし、結露のないこと）
・高温多湿になる場所には置かないでください。
・立てたり、裏返しにして置かないでください。
・CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
・幼児の手の届かないところに保管してください。

廃トナーボックスの交換

廃トナーボックス 1 本あたりの目安として、A4 サイズ、印字率 5% 原稿を一回の印刷が 3 ページのジョブを繰り返した場合、約 30,000 ページの印刷ができます。廃トナーボックスの寿命が近づくと、廃トナーボックスの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されますので、新しい廃トナーボックスを準備してください。廃トナーボックスがいっぱいになると継続して印刷ができなくなります。この場合は、直ちに新しい廃トナーボックスに交換してください。

参照 「廃トナーボックスの交換方法」(111 ページ)参照

参照 廃トナーボックスに関する詳細は、「サプライ品一覧」(233 ページ)参照

⚠ 警告

破　裂	廃トナーボックスを火中に投じないでください。トナー粉が跳ねて火傷の原因になります。 使用済みの廃トナーボックスを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。 参照 「使用済みカートリッジの回収サービス」(244 ページ)参照
誤　飲	・トナーが目や口に入らないように注意してください。廃トナーボックスの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。 万一、目や口に入った場合は、直ちに医師と相談してください。 ・廃トナーボックスを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

⚠ 警告

故　障	廃トナーボックスは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外の廃トナーボックスを取り付けると、廃トナーボックスおよびプリンタ本体の故障の原因になる恐れがあります。

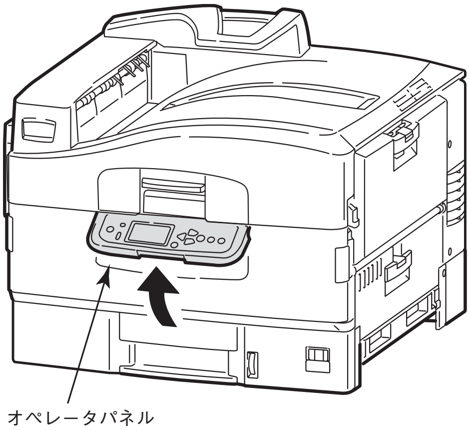
廃トナーボックス交換時のお願い

・立てたり、裏返しにして置かないでください。
・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。
・常に、予備の廃トナーボックスを用意しておいてください。
・装置の故障を防ぐため、本プリンタ専用品以外の廃トナーボックスをセットしないでください。

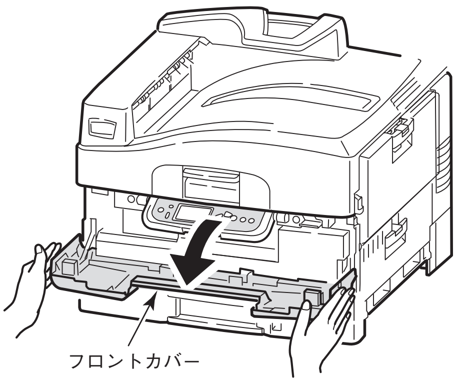
廃トナーボックスの交換方法

次の手順にしたがって、廃トナーボックスを交換します。

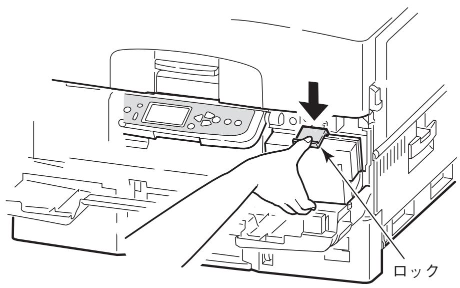
1 オペレータパネルを完全に起こす



2 フロントカバーの両端を持ち、手前に倒しながら開ける



3 廃トナーボックスのロック（青色）を押し、解除する



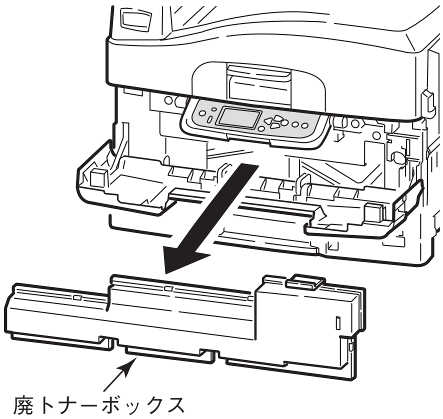
4 廃トナーボックスを取り出す

ガイド

- トナーで床などを汚さないように、取り出した廃トナーボックスを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いて置いてください。
- 廃トナーボックスはゆっくり引き出してください。トナーが飛び散ることがあります。

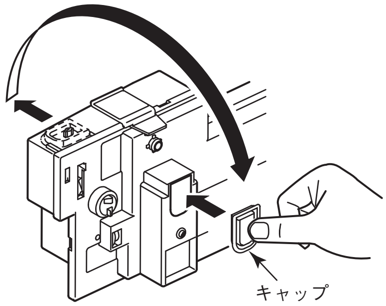
お願い

プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。



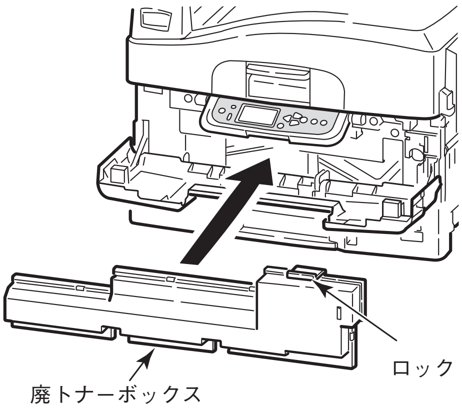
5 取り出した廃トナーボックスに蓋を付ける

ロック横にあるキャップを、廃トナー入り口に取り付け、トナーがこぼれないようにします。



〈廃トナーボックス背面〉

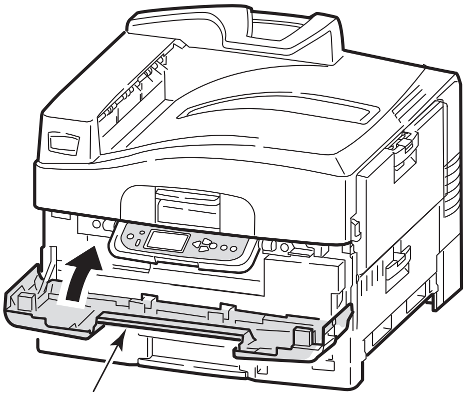
6 新しい廃トナーボックスを取り付ける



7 フロントカバーを閉じる

ガイド

オペレータパネルの裏にあるケーブルとフロントカバーが当たる場合は、オペレータパネルを少し下げてください。



これで廃トナーボックスの交換は完了です。

●使用済み廃トナーボックスの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みカートリッジを無償で回収しております。下記の『エコ受付センター』にご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

フリーダイヤル：0120-300-693

月曜～金曜 8:40 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30

（祝日・年末年始を除く）

廃トナーボックスの取り扱い上の注意

廃トナーボックスを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

- 寒いところから暖かいところに移動した場合は、１時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- 立てたり、裏返しにして置かないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
- 廃トナーボックスを強く振ったり、衝撃を与えないでください。トナーがこぼれることがあります。

画質を調整する

本製品は一定の枚数印刷後など定期的に画質に関する調整を行うよう設定されています。色ズレおよび濃度については、必要に応じてオペレータパネルから調整を行うことができます。

参照　オペレータパネルの詳細は、「第 5 章　オペレータパネルの操作」（129 ページ）参照

色ズレを調整する

本製品は、電源投入時、トップカバー開閉時、400 ページ印刷後、および 2 時間以上放置した後の印刷時に、自動的に色ズレ調整を行います。特に色ズレが気になる場合は、プリンタのオペレータパネルから調整を行ってください。

ガイド

連続印刷中は実行のタイミングになっても色ズレ調整は実行されません。印刷終了、または用紙トレイの切替えなど印刷が停止すると調整を行います。

1 印刷可能状態であることを確認する

次のいずれかの状態であることを確認します。

・オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンラインです」と表示されている
・オペレータパネルに「オフラインです」と表示されている
・オペレータパネルに「パワーセーブ中です」と表示されている

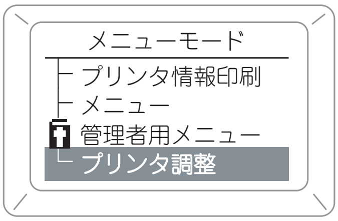
2 オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、「オンライン」スイッチを押す

オペレータパネルに「オフラインです」と表示されていることを確認します。

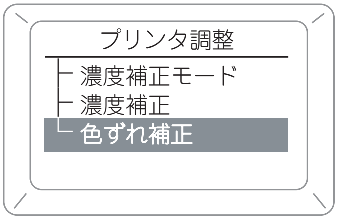
3 「メニュー▲」または「メニュー▼」スイッチを押し、メニューモードにする

4 「プリンタ調整」を選択し、「設定」スイッチを押す

プリンタ調整にレベルが移動します。

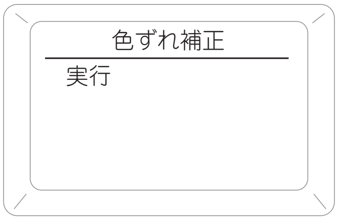


5 「色ずれ補正」が選択されていることを確認し、「設定」スイッチを押す



6 「設定」スイッチを押す

色ズレ補正が行われ、［カラー調整中です］のメッセージが表示されます。補正がおわると、メッセージは消えます。



濃度を補正する

本製品は、電源投入時、新しいドラムカートリッジ取り付け時、新しいトナーカートリッジ取り付け時、100 ページ、300 ページ、500 ページ印刷後（以後は 500 ページ印刷後）、および 6 時間以上放置した後の印刷時に、自動的に濃度補正を行います。特に印刷濃度が気になる場合は、プリンタのオペレータパネルから調整を行ってください。

ガイド

- 連続印刷中は実行のタイミングになっても濃度補正は実行されません。印刷終了、または用紙トレイの切替えなど印刷が停止すると調整を行います。
- メニューモード「プリンタ調整」－「濃度補正モード」を「手動」に設定すると、濃度補正は自動で行われなくなります。濃度補正により印刷が停止することを避けたい場合は、「手動」に設定してください。

参照 「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（137 ページ）参照

1 印刷可能状態であることを確認する

次のいずれかの状態であることを確認します。

- オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンラインです」と表示されている
- オペレータパネルに「オフラインです」と表示されている
- オペレータパネルに「パワーセーブ中です」と表示されている

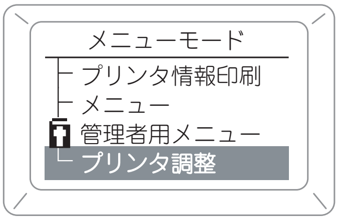
2 オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、「オンライン」スイッチを押す

オペレータパネルに「オフラインです」と表示されていることを確認します。

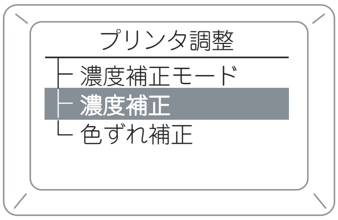
3 「メニュー▲」または「メニュー▼」スイッチを押し、メニューモードにする

4 「プリンタ調整」を選択し、「設定」スイッチを押す

プリンタ情報印刷にレベルが移動します。

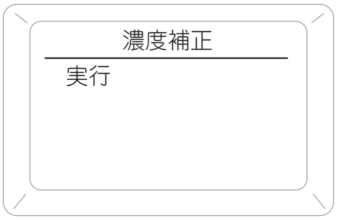


5 「濃度補正」が選択されていることを確認し、「設定」スイッチを押す



6 設定スイッチを押す

濃度補正が行われ、［濃度調整中です］のメッセージが表示されます。補正がおわると、メッセージは消えます。



プリンタの清掃

ここでは、プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるようにするため、プリンタの清掃の方法について説明します。

注意	感　電	プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

プリンタ外部の清掃

約 1 か月に 1 回、プリンタの外部を清掃してください。プリンタの外側を、水でぬらし固く絞った柔らかい布でふきます。そのあと、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて軽くふいてください。

お願い

洗剤を直接プリンタに向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因になることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

プリンタ内部の清掃

紙づまりの処置やドラムカートリッジ / トナーカートリッジの交換のあとは、トップカバーを閉める前に、内部の点検を行ってください。

注意	け　が やけど	「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。 なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社ハードウェア修理相談センターまたは販売店にご連絡ください。

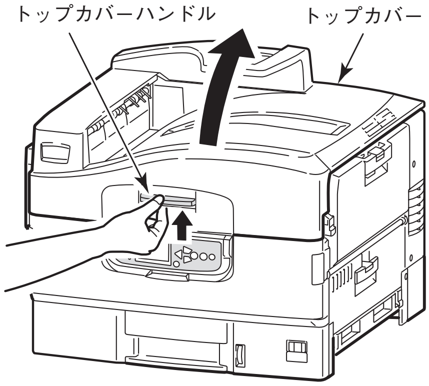
・紙片が残っている場合は、取り除きます。
・ホコリや汚れなどがある場合は、乾いた清潔な布などでふき取ります。

LED ヘッドの清掃

印刷結果にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじむ場合に行ってください。

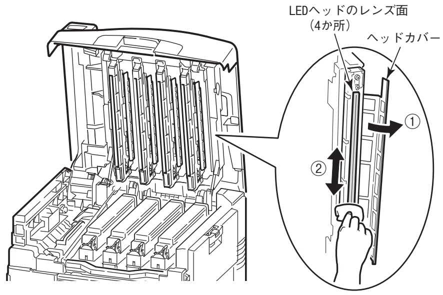
ガイド
LED ヘッドの清掃は、プリンタの電源を入れたまま行うことができます。

1. トップカバーハンドルを握り、トップカバーを開ける

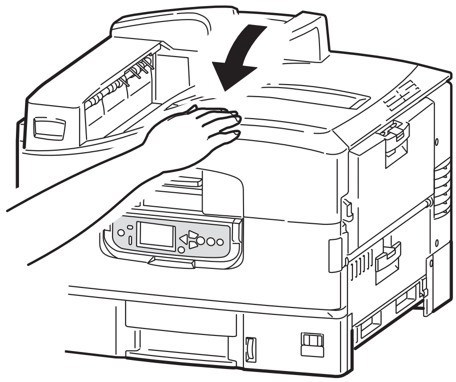


⚠ 注意	定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2. LED ヘッドカバーを開け、LED レンズクリーナまたはやわらかいティッシュペーパーで LED ヘッドのレンズ面（4 か所）を軽く拭く



3. トップカバーを閉じる

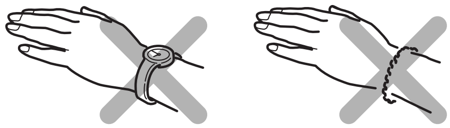


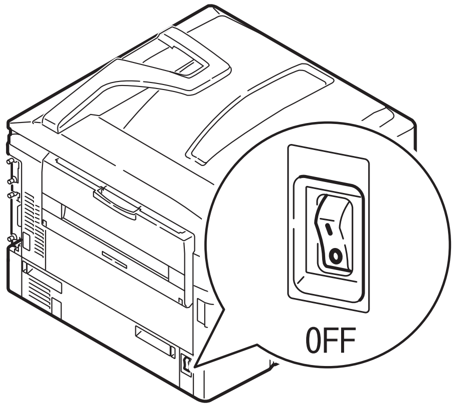
これで LED の清掃は完了です。

給紙ローラの清掃

紙づまりがよく起こる場合に行ってください。

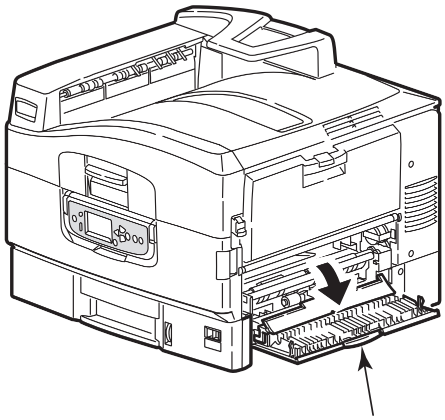
1. 腕時計やブレスレットなどを外す



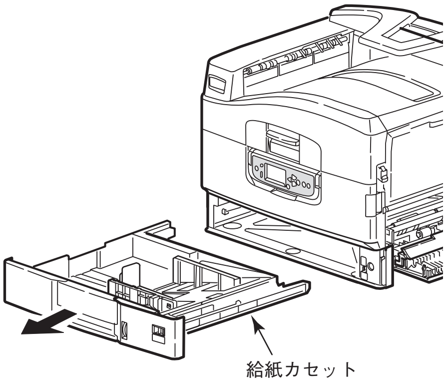


2. プリンタの電源を切る

3. トレイ１サイドカバーを開ける

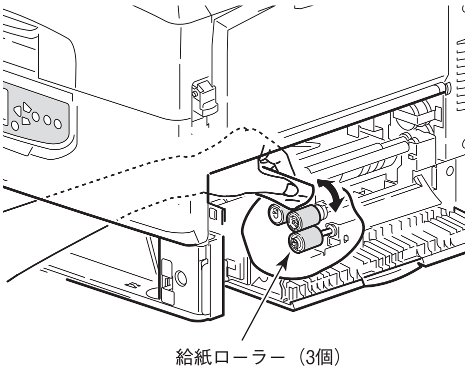


4 給紙カセット を完全に引き抜く

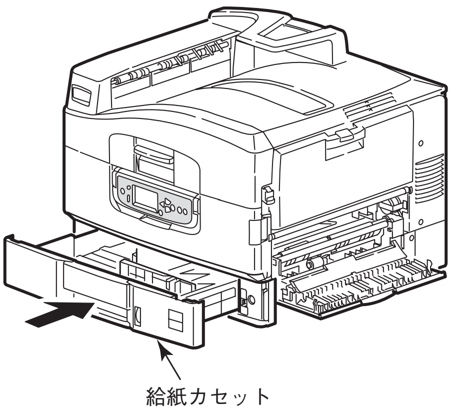


5 給紙カセットを引き抜いたところから手を入れ、水でしめらせた柔らかい布で給紙ローラ（3 か所）の汚れを拭き取る

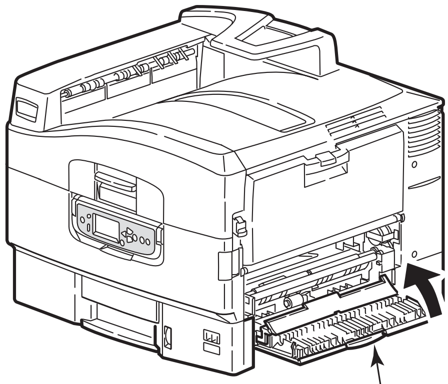
拭きにくい場合は、トレイ 1 サイドカバー側から行ってください。



6 給紙カセット を元に戻す



7 トレイ１ サイドカバーを閉じる



これで給紙ローラの清掃は完了です。

プリンタを長時間使用しないとき

１週間以上プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておきます。また、用紙を用紙トレイやマルチパーパストレイから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

警告

感 電	電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電の原因となる恐れがあります。
感 電 火 災	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因になることがあります。

1 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

お願い

エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから電源を切ってください。

参照 「オペレータパネルのエラーメッセージ」（202 ページ）参照

2 用紙を取り出す

用紙トレイやマルチパーパストレイから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。

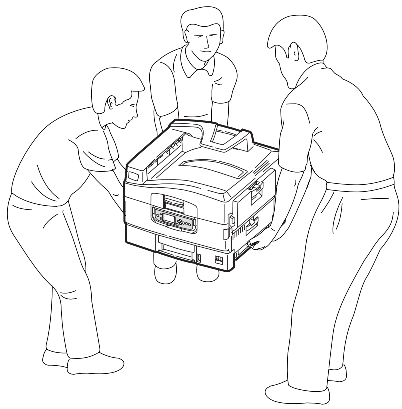
参照 用紙の保管については、「第 6 章　用紙について」（159 ページ）参照

プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

注意

けが　本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で 66.5kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 3 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、左右両側、背面側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。指定場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。



ガイド

拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているプリンタを移動する場合には、プリンタ本体から拡張給紙ユニットを取り外します。プリンタ本体や拡張給紙ユニットは傷がつかないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくと便利です。

お願い

拡張給紙ユニット -B の下部に付いているキャスターは、平らな場所を移動するときのみ利用可能です。段差や 10 度を超える傾斜のある場所を移動する場合は、必ずプリンタ本体から拡張給紙ユニット -B を取り外し、持ち上げて移動してください。

近くに移動する

プリンタを設置していた机を変えたり、隣の部屋に移動させたりする場合は、以下の手順に従ってください。

1 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

お願い

エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから、電源を切ってください。

参照 「オペレータパネルのエラーメッセージ」（202 ページ）参照

2 ケーブルを抜く

パラレルケーブルまたは USB ケーブルを外します。また、LAN ケーブルが接続されている場合、LAN ケーブルを外します。

3 排紙トレイの用紙を取り除く

排紙トレイに用紙がある場合は、用紙を取り除きます。

4 給紙カセット、マルチパーパストレイの用紙を取り除く

用紙トレイ、マルチパーパストレイから用紙を取り除きます。

参照 用紙の保管については、「第 6 章　用紙について」（159 ページ）参照

5 適切な場所に、プリンタを設置し直す

参照 設置し直すときの手順については、
「第 2 章　プリンタ本体の設置」（37 ページ）参照

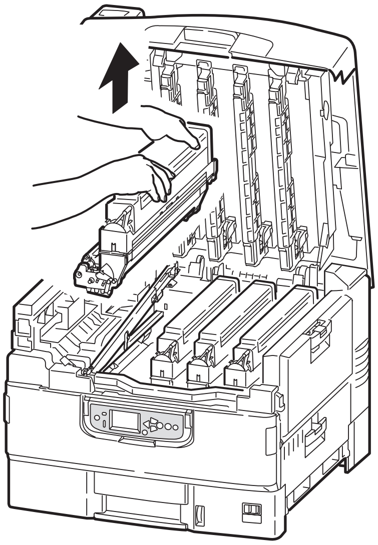
梱包して運搬する

プリンタを運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。以下の手順に従ってください。

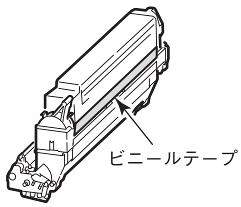
1 付属品を取り外す

参照 「近くに移動する」の 1 ～ 4（124 ページ）参照

2 ドラムカートリッジを取り外す



3 ドラムカートリッジとトナーカートリッジの接合部をビニールテープで止める

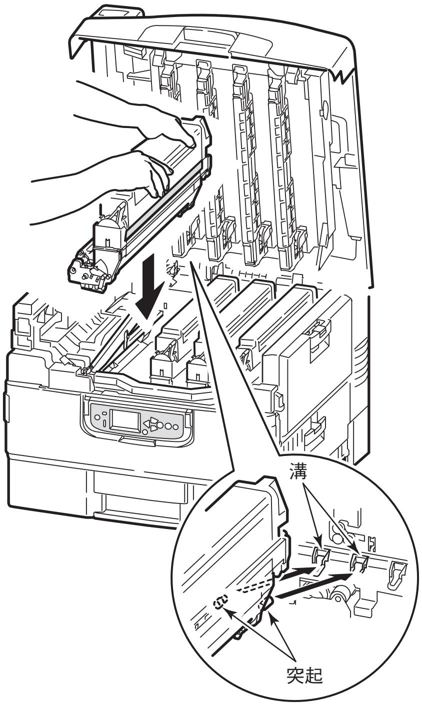


ガイド

ビニールテープは本製品には添付されていません。お客様ご自身でご用意ください。ビニールテープは一般の市販品のものが使用できます。

4 ドラムカートリッジをプリンタに戻す

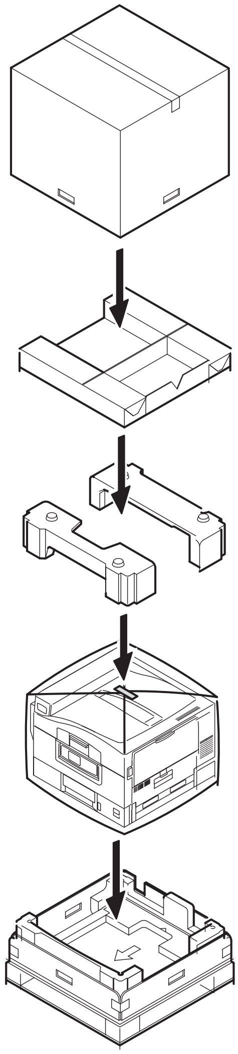
手順 2 ～ 4 を繰り返し、4 色すべてをテープで止めます。



5 梱包し直す

下図のように梱包して、運搬してください。
精密機械ですから、運搬するときは以下の点に注意して、ていねいに取り扱ってください。

・梱包時は、製品購入時に使用していた梱包材で梱包してください。

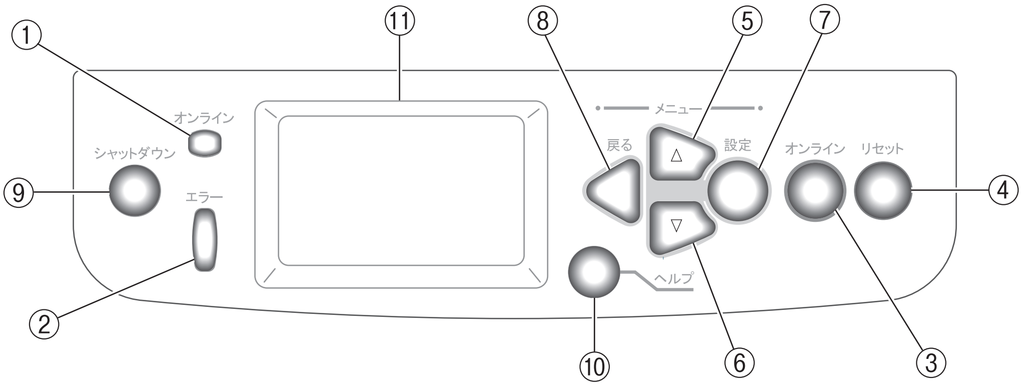


第5章
オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

オペレータパネル

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。



■ LED

①	オンラインランプ	プリンタが印刷できる状態かどうかを知らせます。	
		点灯	印刷できる状態です。
		点滅	データ受信中、印刷中です。
		消灯	印刷できない状態です。
②	エラーランプ	プリンタの異常を知らせます。	
		点灯	警告が発生していることを示します。印刷は行えます。
		点滅	エラーが発生していることを示します。
		消灯	印刷できる状態です。

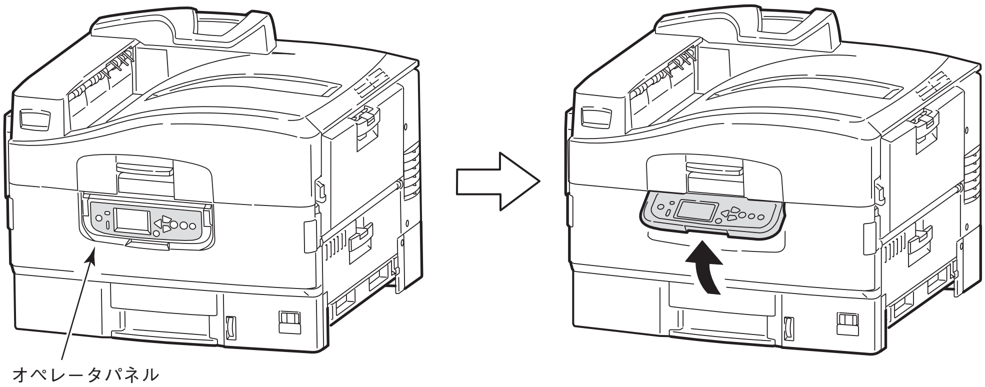
■スイッチ

③	オンラインスイッチ	・「オンライン」「オフライン」が切り替わります。また、メニューモードを解除します。 ・「用紙サイズエラー」「用紙サイズ不一致」エラー時に強制的に印刷を行います。 ・「メモリオーバーフロー」「マルチパーパストレイでの手差し要求」エラーを解除します。 ・「部単位印刷メモリオーバー」「無効データ受信」「用紙の厚すぎの両面印刷不可」警告を消去します。
④	リセットスイッチ	・印刷中に押すと、印刷を停止し、ジョブキャンセルの確認メッセージを表示します。 ・メニューモードを解除します。
⑤	メニュー▲スイッチ	・オフライン状態で押すとプリンタをメニューモードにします。 ・メニューの選択を一つ上に移動します。 ・メニューで数字を入力している場合、値を +1 します。2 秒以上押し続けると、早送りとなります。 ・ヘルプメッセージの表示を上にスクロールさせます。
⑥	メニュー▼スイッチ	・オフライン状態で押すとプリンタをメニューモードにします。 ・メニューの選択を一つ下に移動します。 ・メニューで数字を入力している場合、値を -1 します。2 秒以上押し続けると、早送りとなります。 ・ヘルプメッセージの表示を下にスクロールさせます。
⑦	設定スイッチ	メニューで一つ下のレベルへの移動、値の確定を行います。
⑧	戻るスイッチ	メニューで一つ上のレベルへ移動します。
⑨	シャットダウンスイッチ	4 秒以上押すと、電源を切断できるモードに遷移します。
⑩	ヘルプスイッチ	エラー発生時に押すと、エラーの内容、解除方法を説明するヘルプメッセージを表示します。
⑪	液晶ディスプレイ	・プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などを表示します。(メッセージは最大 5 行まで表示されます。) ・パワーセーブ状態になるとバックライトが消灯します。このとき、いずれかのスイッチを押すとバックライトが点灯し、30 秒後に再度消灯します。

参照 「メニュー」「▲」「▼」「設定」「戻る」の各スイッチについては、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（137 ページ）参照

表示の向きを変える

オペレータパネルは図のように向きを変えることができます。
操作しやすい向きにしてお使いください。



ガイド

パネルを下げるときはやや強めに押してください。

お願い

液晶ディスプレイは押さないでください。

液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、エラーが発生したときの内容などを表示するものです。最大 5 行まで表示されます。警告やエラー発生時にメッセージが長くなるとスクロール表示を行います。
エラーが発生すると「エラー」ランプが点滅し、液晶ディスプレイにエラーメッセージを表示します。

ガイド

- エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「第 7 章　こんなときには」の「オペレータパネルのエラーメッセージ」(202 ページ) を参照してください。
- 警告やエラーが複数発生している場合は、順番に表示が切り替わります。
- エラーが発生すると警告は表示されなくなります。

電源投入時の表示内容

プリンタの電源を入れると、プリンタが動作するために必要な診断が行われます。診断が終わり、プリンタを使用できるようになると、液晶ディスプレイに「オンラインです」と表示されます。

参照　「プリンタの動作とオペレータパネルの表示の確認」(51 ページ) 参照

オンライン（印刷できる状態）時の表示内容

印刷可能状態のときに液晶ディスプレイに表示される内容について説明します。



ガイド

表示内容が長くなる場合は、スクロールし全文を表示します。

項目	表示内容	説明
プリンタ状態	プリンタの状態を表示します。	
	オンラインです	オンライン状態です。
	オフラインです	オフライン状態です。
	データを受信しています	印刷データを受信中です。
	データを処理中です	印刷データを受信中または受信データの解析中です。
	データがあります	未処理データがある状態です。
	ＸＸＸＸ から印刷しています	印刷を行っています。ＸＸＸＸ には印刷中の給紙口を表示します。
	ＸＸＸＸ を印刷しています	メニューモードから指定した印刷を行っています。ＸＸＸＸ には指定した印刷の種類を表示します。
	データを削除しています	印刷のキャンセル処理を行っています。

項目	表示内容	説明
補助・警告情報	プリンタで発生している警告や、状態の補助情報を表示します。	
	［表示なし］	警告などは何も発生していません。
	定着温度調整中です	ウォームアップ中、またはクールダウン中（*1）です。
	パワーセーブ中です	パワーセーブ中です。
	カラー調整中です	色ずれ補正の実行中です。
	濃度補正中です	濃度補正の実行中です。
	用紙厚検知中です	用紙厚の検知中です。プリンタドライバから用紙種類を「自動検知」指定をした場合、各トレイからの最初の印刷時に用紙厚の検知を行い、適切な用紙厚設定をプリンタで実行します。
	ＸＸＸＸ トナー交換時期です	トナーの残りが少なくなった状態です。ＸＸＸＸには該当の色が表示されます。
	ＸＸＸＸ ドラムカートリッジの寿命が近づいています	ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。ＸＸＸＸ には該当の色が表示されます。
	廃トナーボックスの寿命が近づいています	廃トナーボックスの交換時期が近づいています。
	定着器の寿命が近づいています	定着器交換時期が近づいています。
	ベルトユニットの寿命が近づいています	ベルトユニット交換時期が近づいています。
	ＸＸＸＸ ドラムカートリッジを交換してください	ドラムカートリッジの交換時期です。XXXX には該当の色が表示されます。
	XXXX トナーがなくなりました	トナーカートリッジの交換時期です。ドラムカートリッジが寿命になるまではそのまま使用できます。XXXX には該当の色が表示されます。
	廃トナーボックスを交換してください	廃トナーボックスの交換時期です。
	定着器を交換してください	定着器の交換時期です。
	ベルトユニットを交換してください	ベルトユニット交換時期です。
	ＸＸＸＸ のホッピングローラを交換してください	ホッピングローラの交換時期です。ＸＸＸＸには該当の給紙口が表示されます。
	ジョブオフセットエラーです	フェイスダウンスタッカへの排出時にオフセット処理ができませんでした。
	ＸＸＸＸ 用紙セットエラーです	リフトアップエラーが発生しています。ＸＸＸＸには該当の給紙口を表示します。この警告が表示されている給紙口からの印刷は行えません。

項目	表示内容	説明
補助・警告情報	ＸＸＸＸ にカセットがありません	給紙カセットが抜かれています。ＸＸＸＸには該当の給紙口を表示します。この警告が表示されている給紙口からの印刷は行えません。
	部単位印刷メモリオーバーです	部単位印刷指定時にプリンタのメモリが足りなくなりました。一部のみの印刷となります。オンラインスイッチを押すと表示が消えます。
	無効なデータを受信しました	本プリンタでは処理できないデータを受信しました。受信したデータは消去されます。オンラインスイッチを押すと表示が消えます。
	用紙厚センサーに異常が発生しています	用紙厚の検知が正しく行えなかった状態です。普通紙設定での動作となります。
	用紙厚センサーの測定値が規定外です	用紙厚の検知が正しく行えなかった状態です。普通紙設定での動作となります。
	用紙が厚いため両面印刷ができませんでした	両面印刷できない用紙厚を検知しました。オンラインスイッチを押すと表示が消えます。
	装置寿命に達しています	プリンタが寿命に達した状態です。
トナー残量表示	トナーカートリッジの残量を5、000ページ印刷可能なカートリッジでは2段階、15,000ページ印刷可能なカートリッジでは5段階で表示します。(*2) 部単位印刷中、コピー印刷中はトナー残量表示が消え、印刷中の部数と総部数が表示されます。	

*1： 厚紙から薄紙へ切り替えて印刷する場合などに定着器の過熱を防ぐために冷やしています。

*2： 15,000 ページ用カートリッジでは 20% の使用ごとに一段表示が減ります。5,000 ページ用のカートリッジでは残量が 60% になると一段目の目盛りが減ります。残りが一段の表示になった場合は、新しいトナーカートリッジの準備をお勧めします。

エラー発生時のヘルプ表示

印刷中にエラーが発生すると、液晶ディスプレイに「詳しくはヘルプをご覧ください」と表示される場合があります。このとき、「ヘルプ」スイッチを押すと、エラーの内容、処置方法を説明した画面に切り替わります。
エラーの解除方法がわからない場合に参照してください。

ガイド

複数のエラーが発生していてもヘルプ表示は切り替わりません。「ヘルプ」スイッチを押したときに表示されていたエラーについての内容、処置方法が表示されます。

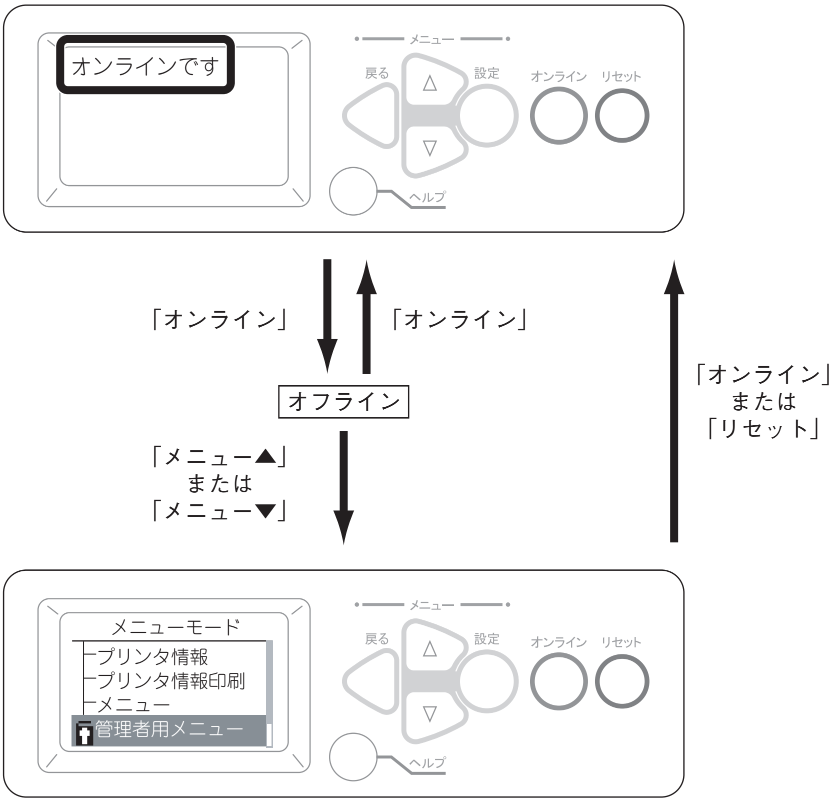
オペレータパネルからの設定 (メニューモード)

プリンタの設定を変えたり、設定内容を確認したりするときの操作方法について説明します。設定の変更や確認は、メニューモードで行います。

参照　メニューモードで設定できる項目（レベルおよび設定値）は、「メニューモードの項目一覧」（140 ページ）参照

基本的な操作

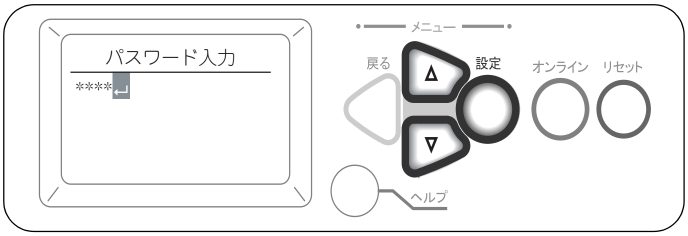
メニューモードに入るときは、「オンライン」スイッチを押し、プリンタをオフラインにした後に「メニュー▲」スイッチまたは「メニュー▼」スイッチを押します。
メニューモードを終了させるには、「オンライン」スイッチ、または「リセット」スイッチを押します。



メニューモードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示し、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

ガイド

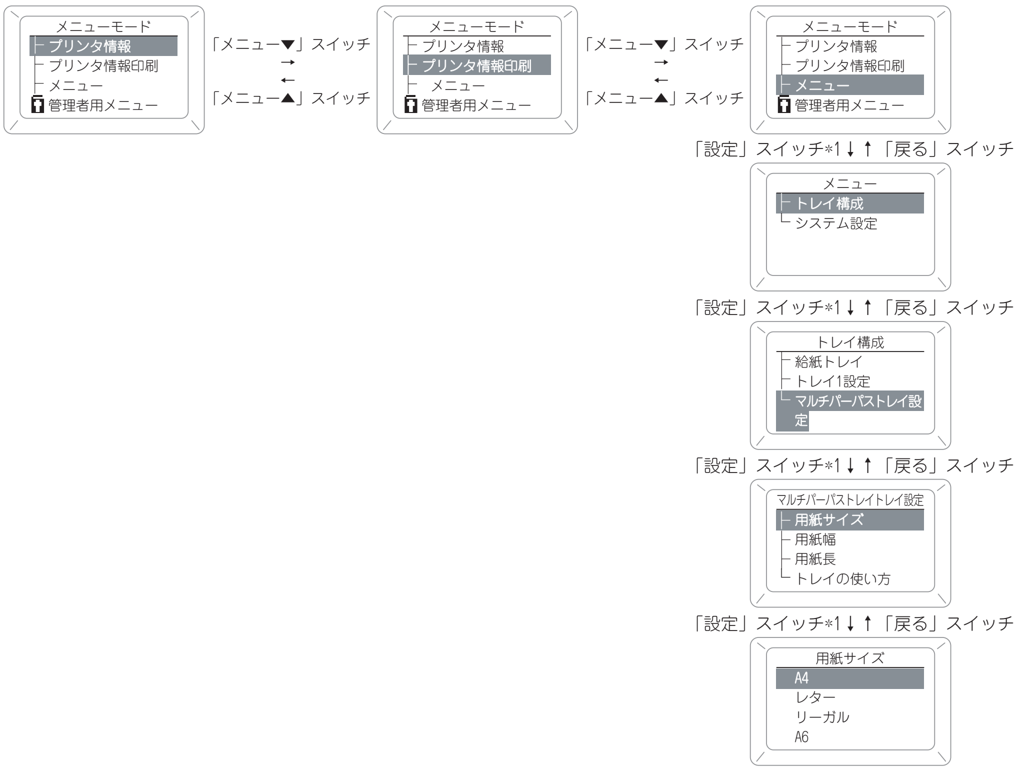
・電源を入れてからしばらく経っている場合、オペレータパネルに「パワーセーブ中です」と表示されることがありますが、メニューモードに入れます。
・オペレータパネルの「管理者用メニュー」を選択すると次の画面が表示され、パスワードの入力が必要となります。



参照「オペレータパネルの操作制限」（156 ページ）参照

メニューモードでは、次のスイッチを使用します。

「▼」または「▲」スイッチ	同じレベルで項目を切り替えます。設定する値を変えたいときにも使用します。
「設定」スイッチ	下のレベルに移動します。表示された値に設定するときや、機能を実行するときにも使用します。
「戻る」スイッチ	上のレベルに移動します。



*1：「メニュー▲」「メニュー▼」スイッチで項目を選択後、「設定」スイッチを押す。

●設定の反映

変更した設定は次のタイミングで反映されます。

－印刷中でないとき

・「管理者用メニュー」の「Network Setup」、「その他の設定」以外は変更した時点で反映されます。

・「管理者用メニュー」の「Network　Setup」を変更するとプリンタがリセットされ、変更が反映されます。

・「管理者用メニュー」の「その他の設定」はプリンタの電源を入れ直すと変更が反映されます。

－印刷中のとき

・「管理者用メニュー」の「Network Setup」、「その他の設定」以外は現在印刷中、データ処理中のジョブの処理が終了した時点で反映されます。

・「管理者用メニュー」の「Network　Setup」はネットワークからの受信終了後にがリセットされ、変更が反映されます。

・「管理者用メニュー」の「その他の設定」は印刷終了後にプリンタの電源を入れ直すと反映されます。

ガイド

・「管理者用メニュー」の「出荷時に戻す」、「設定の呼び出し」を実行した場合の反映タイミングも上記と同じです。ただし、「Network Setup」は変更されません。

・パラレルポート、USB ポートからの印刷中に「Network Setup」を変更すると、印刷が中止され、プリンタがリセットされます。

●プリンタ情報印刷の終了

プリンタ情報印刷や HEX ダンプ印刷は、「リセット」スイッチを押し、ジョブキャンセルの確認メッセージで「はい」を選択すると終了します。

メニューモードの項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧を次の表に示します。設定値に記載された「＊」および数値は、工場出荷時に登録される初期設定を示します。

参照　各項目の設定方法については、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（137 ページ）参照

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値	機能
プリンタ情報	印刷枚数	総印刷枚数			総印刷枚数（*1）を表示します。
		カラーページ			カラーページの印刷枚数を表示します。
		モノクロページ			モノクロページの印刷枚数を表示します。
		トレイ 1			トレイ 1 から給紙した枚数を表示します。
		トレイ 2（*2）			トレイ 2 から給紙した枚数を表示します。
		トレイ 3（*2）			トレイ 3 から給紙した枚数を表示します。
		トレイ 4（*2）			トレイ 4 から給紙した枚数を表示します。
		トレイ 5（*2）			トレイ 5 から給紙した枚数を表示します。
		マルチパーパストレイ			マルチパーパストレイから給紙した枚数を表示します。
	消耗品情報	シアンドラム		使用量 nnn%	シアンドラムの使用量（%）を表示します。
		マゼンタドラム		使用量 nnn%	マゼンタドラムの使用量（%）を表示します。
		イエロードラム		使用量 nnn%	イエロードラムの使用量（%）を表示します。
		ブラックドラム		使用量 nnn%	ブラックドラムの使用量（%）を表示します。
		ベルトユニット		使用量 nnn%	ベルトユニットの使用量（%）を表示します。
		定着器		使用量 nnn%	定着器の使用量（%）を表示します。
		シアントナー（容量種）		残り xx%	シアントナーの残量（%）を表示します。容量種には、ご使用のトナーカートリッジの容量タイプに応じ、5.0K、または 15.0K と表示されます。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値	機能
プリンタ情報	消耗品情報	マゼンタトナー（容量種）		残り xx%	マゼンタトナーの残量（%）を表示します。容量種には、ご使用のトナーカートリッジの容量タイプに応じ、5.0K、または 15.0K と表示されます。
		イエロートナー（容量種）		残り xx%	イエロートナーの残量（%）を表示します。容量種には、ご使用のトナーカートリッジの容量タイプに応じ、5.0K、または 15.0K と表示されます。
		ブラックトナー（容量種）		残り xx%	ブラックトナーの残量（%）を表示します。容量種には、ご使用のトナーカートリッジの容量タイプに応じ、5.0K、または 15.0K と表示されます。
	Network	Printer Name		xxxxxxxxxxxxxxxxx	プリンタ名を表示します。本プリンタ名は DNS で使用します。
		IP Address		xxx.xxx.xxx.xxx	現在の IP アドレスを表示します。
		Subnet Mask		xxx.xxx.xxx.xxx	現在のサブネットマスクを表示します。
		Gateway Address		xxx.xxx.xxx.xxx	現在のゲートウェイアドレスを表示します。
		MAC Address		xxxxxxxxxxxx	MAC アドレスを表示します。
		Network Version		xx.xx	現在のネットワークファームウェアのバージョンを表示します。
		Internet Service		xx.xx	現在のインターネットサービスのバージョンを表示します。
	トレイ用紙サイズ	トレイ 1		A3	トレイ 1 の用紙サイズを表示します。
				A4	
				A5	
				A6	
				B4	
				B5	
				リーガル	
				レター	
				はがき	
				往復はがき	

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能
プリンタ情報	トレイ用紙サイズ	トレイ 2 (*2)			A3	トレイ 2 の用紙サイズを表示します。
					A4	
					A5	
					A6	
					B4	
					B5	
					リーガル	
					レター	
		トレイ 3 (*2)			A3	トレイ 3 の用紙サイズを表示します。
					A4	
					A5	
					A6	
					B4	
					B5	
					リーガル	
					レター	
		トレイ 4 (*2)			A3	トレイ 4 の用紙サイズを表示します。
					A4	
					A5	
					A6	
					B4	
					B5	
					リーガル	
					レター	
		トレイ 5 (*2)			A3	トレイ 5 の用紙サイズを表示します。
					A4	
					A5	
					A6	
					B4	
					B5	
					リーガル	
					レター	

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値	機能
プリンタ 情報	トレイ用紙 サイズ	マルチ パーパス トレイ		A3	「メニュー」－「トレイ構成」－「マルチパーパストレイ設定」－「用紙サイズ」で設定したマルチパーパストレイの用紙サイズを表示します。
				A4	
				A5	
				A6	
				B4	
				B5	
				リーガル	
				レター	
				カスタム	
				はがき	
				往復はがき	
				封筒 長形 3 号	
				封筒 長形 4 号	
				封筒 洋形 4 号	
				封筒 角形 2 号	
				封筒 角形 3 号	
				封筒 角形 8 号	
				封筒 洋形 0 号	
	システム 情報	プリンタ 管理番号		xxxxx xxx	プリンタ管理番号を表示します。
		CU バージョン		xx.xx	CU ファームウェアのバージョンを表示します。
		PU バージョン		xx.xx.xx	PU ファームウェアのバージョンを表示します。
		メモリ容量		xxxMB	装置に搭載されているすべての RAM 容量を表示します。
		USB ステータス		HIGH SPEED	USB の接続速度を表示します。
				FULL SPEED	
				未接続	

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4		設定値	機能
プリンタ情報印刷	設定内容				印刷実行	設定内容一覧を印刷します。
	Network Information				Execute	ネットワーク情報を印刷します。
	テスト印刷				印刷実行	テスト印刷をします。
	フォントリスト				印刷実行	フォントリストを印刷します。
	印刷集計結果				印刷実行	ジョブログの累計値を印刷します。
	エラーログ				印刷実行	エラーログを印刷します。
	黒ベタ印刷				印刷実行	印刷領域をすべて黒で塗りつぶして印刷します。
メニュー	トレイ構成	給紙トレイ		*	トレイ 1	自動給紙指定時の最初のチェックトレイを設定します。
					トレイ 2	
					トレイ 3	
					トレイ 4	
					トレイ 5	
					マルチパーパストレイ	
		トレイ 1 設定	A5/A6 用紙	*	A5/A6	トレイ 1 に A5、A6、はがき、往復はがきをセットする場合の検知サイズを設定します。 使用するサイズに合わせた設定を行わないと、印刷ジョブごとに「サイズ不一致」エラーが表示されます。 A5/A6：A5、往復はがきをセットすると A5、A6、はがきをセットすると A6 と認識します。 はがき：A5、往復はがきをセットすると往復はがき、A6、はがきをセットするとはがきと認識します。
					はがき	

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能
メニュー	トレイ構成	マルチパーパストレイ設定	用紙サイズ		A3	マルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。
				＊	A4	
					A5	
					A6	
					B4	
					B5	
					リーガル	
					レター	
					カスタム	
					はがき	
					往復はがき	
					封筒長形 3 号	
					封筒長形 4 号	
					封筒洋形 4 号	
					封筒角形 2 号	
					封筒角形 3 号	
					封筒角形 8 号	
					封筒洋形 0 号	
			用紙幅（*3）	＊	100mm ～ 328mm ／ 1mm 間隔	マルチパーパストレイのカスタム用紙幅を設定します。
			用紙長（*3）	＊	148mm ～ 1200mm ／ 1mm 間隔	マルチパーパストレイのカスタム用紙長を設定します。
			トレイの使い方	＊	トレイとして	マルチパーパストレイの使い方を設定します。 トレイとして：通常のトレイとして使用します。 用紙違いの時：用紙違いが発生した場合マルチパーパストレイに用紙を要求します。 使用しない：自動給紙 / 自動切換え時にマルチパーパストレイを対象外とします。ただし、「メニュー」－「トレイ構成」－「給紙トレイ」で「マルチパーパストレイ」を指定している場合は「トレイとして」が選択されている場合と同様の処理になります。
					用紙違いの時	
					使用しない	

第5章 オペレータパネルの操作

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能
メニュー	システム設定	パワーセーブ移行時間			5 分	パワーセーブモードに入るまでの時間を設定します。
					15 分	
					30 分	
				＊	60 分	
					240 分	
		タイムアウト印刷			オフ	データを受信しなくなってから強制印刷するまでの時間を設定します。 パラレルインターフェース、USB インターフェースでの印刷時は、最後のデータを受信してから設定した時間が経過するまで他のインターフェース、およびオペレータパネルからの印刷は行えません。
					5 秒	
					10 秒	
					20 秒	
					30 秒	
				＊	40 秒	
					50 秒	
					60 秒	
					90 秒	
					120 秒	
					150 秒	
					180 秒	
					210 秒	
					240 秒	
					270 秒	
					300 秒	
		ジャムリカバリ		＊	オン	紙づまり発生時にリカバリ印刷を行うかを設定します。 オフにすると、紙づまりが発生したジョブを自動的に削除します。
					オフ	
		印刷位置補正	X (横) 補正	＊	-2.0 ～ 2mm ／ 0.25mm 間隔	一面目のスキャン方向の印刷位置を微調整します。 両面印刷時は裏面の調整になります。
			Y (縦) 補正	＊	-2.0 ～ 2mm ／ 0.25mm 間隔	一面目の送り方向の印刷位置を微調整します。 両面印刷時は裏面の調整になります。
			両面印刷 X (横) 補正 (*4)	＊	-2.0 ～ 2mm ／ 0.25mm 間隔	両面印刷の場合、二面目のスキャン方向の印刷位置を微調整します。 両面印刷時は表面の調整になります。
			両面印刷 Y (縦) 補正 (*4)	＊	-2.0 ～ 2mm ／ 0.25mm 間隔	両面印刷の場合、二面目の送り方向印刷位置を微調整します。 両面印刷時は表面の調整になります。
		ＨＥＸダンプ（*5）			実行	印刷データを 16 進データとして印刷します。再起動すると通常モードに復旧します。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能
管理者用メニュー (*6)	Network Setup	IP Address Set		＊	Auto	IP アドレスの設定方法を設定します。 Auto：DHCP サーバから IP アドレスの設定を取得します。 Manual：オペレータパネルから IP アドレスを設定します。
					Manual	
		IP Address				IP アドレスを設定します。
		Subnet Mask				サブネットマスクを設定します。
		Gateway Address				ゲートウェイアドレスを設定します。
		Web		＊	Enable	Internet Serviceの有効／無効を設定します。
					Disable	
		SNMP		＊	Enable	SNMP の有効／無効を設定します。
					Disable	
		Network Scale		＊	Normal	Normal：一般にはこの設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つ HUB に接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが 2,3 台の小さなＬＡＮ に接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 Small：コンピュータが 2,3 台の小さな LAN から大型の LAN まで対応しますが、スパニングツリー機能を持つ HUB に接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
					Small	
		Hub Link Setting		＊	Auto Negotiate	HUB とのリンク方法を設定します。Auto Negotiate に設定すると、すべての HUB に対して接続方法を自動的に選択し、接続を試みます。
					100Base-TX Full	
					100Base-TX Half	
					10Base-T Full	
					10Base-T Half	
	印刷設定	ジョブオフセット		＊	オン	ジョブオフセットをするかどうか設定します。
					オフ	
		OHP 検出		＊	自動	OHP 自動検出を行うかどうか設定します。
					無効	

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4		設定値	機能
管理者用メニュー（*6）	印刷設定	モノクロ印刷速度		＊	モード 1	モノクロページの印刷速度が設定できます。 モード 1：カラー／モノクロが混在したページの処理に応じて最適な印刷速度になります。ただし、カラーページ以降はすべてカラー印刷速度（A4 印刷時は 36ppm）になります。 モード 2：カラー印刷速度になります。 モード 3：モノクロ印刷速度（A4 印刷時は 40ppm）になります。カラー／モノクロが混在するとページごとに速度切替を行うため、全体の性能は低下します。
					モード 2	
					モード 3	
	カラー設定	UCR		＊	少ない	カラー印刷するときの墨版（黒）の量を選択できます。墨版の量を多くすると他の 3 色のトナー量の節約になります。
					普通	
					多い	
		CMY 100% 濃度			有効	CMY100% 階調値に対する 100% 出力を有効とするかどうかを選択します。
				＊	無効	
	印刷集計	カウンタのリセット			実行	印刷集結果のカウンタをクリアします。ただし、トータルカウントと消耗品交換回数はクリアされません。
	その他の設定	パラレル設定	双方向モード	＊	有効	双方向通信の有効／無効を設定します。
					無効	
			ECP	＊	有効	ECP モードの有効／無効を設定します。
					無効	
			ACK 幅	＊	狭い	コンパチビリティ受信時の ACK 幅を設定します。
					普通	
					広い	
			ACK/BUSY タイミング	＊	ACK in BUSY	コンパチビリティ受信時の BUSY 信号と ACK 信号の出力順序を設定します。
					ACK while BUSY	
			I-PRIME		3μ 秒	I-PRIME 信号の有効時間／無効を設定します。
					50μ 秒	
				＊	無効	
		USB 設定	スピード	＊	480Mbps	USB インターフェースの最大転送速度を設定します。
					12Mbps	
			ソフトリセット		有効	ソフトリセットコマンドの有効／無効を設定します。
				＊	無効	
			シリアル番号	＊	有効	USB シリアル番号の有効／無効を設定します。
					無効	

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4		設定値	機能
管理者用メニュー（*6）	その他の設定	電力設定	電力制御	＊	普通	電力ピークの制御をする／しないを設定します。低いにすると、電力ピークを抑えることができますが、印刷性能が低下します。
					低い	
			パワーセーブ機能	＊	有効	パワーセーブモードの有効／無効を設定します。有効時のパワーセーブ移行時間は「メニュー」－「システム設定」－「パワーセーブ移行時間」で設定します。
					無効	
			定着制御	＊	普通	電源投入直後、パワーセーブ解除直後の定着制御を設定します。延長にすると最大 15 枚まで 1 ページ印刷してから次のページを印刷するまでの間隔が長くなります（*7）。
					延長	
	パスワード変更	新しいパスワード				「管理者用メニュー」に入るための新しいパスワードを設定します。
		パスワードの再入力				「新しいパスワード」で設定した「管理者用メニュー」に入るための新しいパスワードを再入力します。
	設定値（*8）	出荷時に戻す			実行	出荷時の設定状態に戻します。
		設定の保存			実行	現在のメニュー設定を保存します。
		設定の呼び出し			実行	保存しているメニュー設定に変更します。
プリンタ調整	濃度補正モード			＊	自動	濃度補正と階調補正を自動で行うか設定します。
					手動	
	濃度補正				実行	実行を選択すると、プリンタは直ちに濃度補正を行います。アイドル状態で実行してください。
	色ずれ補正				実行	このメニューを実行すると、プリンタは自動色ずれ補正動作を実行します。アイドル状態で実行してください。

*1　：総印刷枚数は、レターサイズ横送り、一回の印刷が 3 ページのジョブの印刷を繰り返したときの 1 ページを 1 とカウントします。印刷時の条件が変わると、1 枚の印刷でも 1 とカウントされない場合があります。また、電源投入時の初期化動作などでプリンタが動作した場合にも増加します。そのため、カラーページ、モノクロページ枚数の合計と一致しない場合があります。

*2　：オプションの拡張給紙ユニット装着時に表示

*3　：「メニュー」－「トレイ構成」－「マルチパーパストレイ設定」－「用紙サイズ」－「カスタム」選択時のみ表示

*4　：両面ユニット装着時に表示

*5　：実行時は Printianavi2 を使用した印刷は行えません。
*6　：選択時、パスワードの入力が必要です。

参照　「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（137 ページ）参照

*7　：印刷した用紙に水滴が付き、印刷に汚れが出る場合に「延長」に設定してください。「延長」にすると 1 ページ印刷してから次のページを印刷するまでに約 10 秒の待合せが入ります。「延長」に設定しても以下の場合は待合せは入りません。
・片面印刷時
・15 枚以上連続印刷した後
・湿度 70%RH 以上の高湿環境での使用時
*8　：「出荷時に戻す」、「設定の呼び出し」を実行しても、「Network Setup」の設定は変更されません。「Network Setup」の設定を出荷時に戻す場合は、プリンタのインターフェース部の TEST スイッチを押しながら電源を入れます。

参照　「各部の名称と機能」（31 ページ）参照

オペレータパネルで行える主な設定と操作

ここでは、プリンタのオペレータパネルで行える主な機能の設定や操作方法について説明します。

設定内容の印刷

プリンタおよび LAN ポートの現在の設定内容の一覧を印刷します。
設定の一覧は、メニューモードの「プリンタ情報印刷」－「設定内容」で印刷します。

・ 設定内容の印刷例

```
設定内容                                   XL-C8360

CU version:F0.60 [ I01.13 U02.17 S3.0.8a B00.44 PPC750FX 720MHz 70000203 00020020 F50 ]
PU version:00.F0.96 [ P103.02 L000.10.40 DU00.01.02 T200.01.00 T300.01.00 T400.01.00 T500.01.00 ]
Program version:03.15 [ 04.18 X02.13 P F ]
両面ユニット:installed
Network Version:F0.15  Internet Service:F0.16

プリンタ情報
    印刷枚数
        総印刷枚数 : 156428
        カラーページ : 15541
        モノクロページ : 351
        トレイ1 : 34268
        トレイ2 : 9421
        トレイ3 : 4250
        トレイ4 : 897
        トレイ5 : 1032
        マルチパーパストレイ : 1594
    消耗品情報
        シアンドラム : 使用量 15 %
        マゼンタドラム : 使用量 15 %
        イエロードラム : 使用量 15 %
        ブラックドラム : 使用量 18 %
        ベルトユニット : 使用量 52 %
        定着器 : 使用量 89 %
        シアントナー (15.0K) : 残り 80 %
        マゼンタトナー (15.0K) : 残り 70 %
        イエロートナー (15.0K) : 残り 70 %
        ブラックトナー (15.0K) : 残り 60 %
    Network
        Printer Name : XL-C8360-641E21
        IP Address : 192.168.100.100
        Subnet Mask : 255.255.255.0
        Gateway Address : 192.168.100.254
        MAC Address : 008087641E21
    トレイ用紙サイズ
        トレイ1 : A4
        トレイ2 : A4
        トレイ3 : A4
        トレイ4 : A3
        トレイ5 : レター
        マルチパーパストレイ : A4
    システム情報
        プリンタ管理番号 :
        CU バージョン : F0.60
        PU バージョン : 00.F0.96
        メモリ容量 : 128MB
        USB ステータス : 未接続

メニュー
    トレイ構成
        給紙トレイ : トレイ1
        トレイ1設定
            A5/A6 用紙 : A5/A6
        マルチパーパストレイ設定
            用紙サイズ : A4
            トレイの使い方 : トレイとして
    システム設定
        パワーセーブ移行時間 : 60 分
        タイムアウト印刷 : 40 秒
        ジャムリカバリ : オン
        印刷位置補正
            X(横) 補正 : 0.00 ミリメートル
            Y(縦) 補正 : 0.00 ミリメートル
            両面印刷X(横) 補正 : 0.00 ミリメートル
            両面印刷Y(縦) 補正 : 0.00 ミリメートル

管理者用メニュー
    Network Setup
        IP Address Set : Auto
        IP Address : 192.168.100.100
        Subnet Mask : 255.255.255.0
        Gateway Address : 192.168.100.254

        Web : Enable
        SNMP : Enable
        Network Scale : Normal
        Hub Link Setting : Auto Negotiate
    印刷設定
        ジョブオフセット : オン
        OHP検出 : 自動
        モノクロ印刷速度 : モード1
    カラー設定
        UCR : 少ない
        CMY100%濃度 : 無効
    その他の設定
        パラレル設定
            双方向モード : 有効
            ECP : 有効
            ACK幅 : 狭い
            ACK/BUSY タイミング : ACK in BUSY
            I-PRIME : 無効
        USB 設定
            スピード : 480Mbps
            ソフトリセット : 無効
            シリアル番号 : 有効
        電力設定
            電力制御 : 普通
            パワーセーブ機能 : 有効

プリンタ調整
    濃度補正モード : 自動
```

ガイド

・ 設定内容は A4 サイズに印刷します。
・ 印刷は、メニューモードの「メニュー」－「トレイ構成」－「給紙トレイ」で選択されている給紙口から行われます。
・ 用紙がない場合は「XXXX に用紙を入れてください」(XXXX は給紙口を表示します）と表示されますので、用紙を補給してください。
・ 印刷を中止する場合は、「リセット」スイッチを押してください。

情報の確認

プリンタおよび LAN ポートの現在の設定内容やファームウェアの版数などは、メニューモード内でも確認することができます。
メニューモードの「プリンタ情報」から確認したい情報を選択してください。以下は、用紙トレイ 1 での印刷枚数を確認する方法について説明します。

1 印刷可能状態であることを確認する

次のいずれかの状態であることを確認します。

・オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンラインです」と表示されている
・オペレータパネルに「オフラインです」と表示されている
・オペレータパネルに「パワーセーブ中です」と表示されている

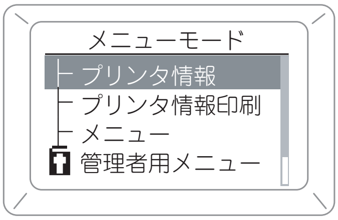
2 オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、「オンライン」スイッチを押す

オペレータパネルに「オフラインです」と表示されていることを確認します。

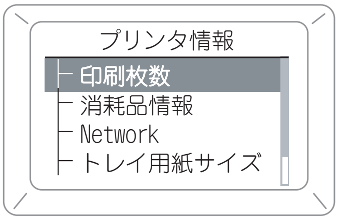
3 「メニュー▲」または「メニュー▼」スイッチを押し、メニューモードにする

4 「プリンタ情報」を選択し、「設定」スイッチを押す

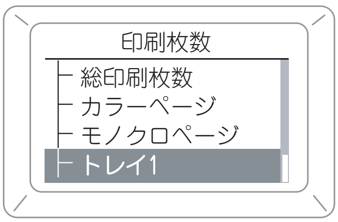
プリンタ情報にレベルが移動します。



5 「印刷枚数」が選択されていることを確認し、「設定」スイッチを押す



6 「トレイ 1」が選択されていることを確認し、「設定」スイッチを押す



7 「設定」スイッチを押す

用紙トレイ 1 での印刷枚数が表示されます。

8 確認が終わったら「オンライン」スイッチを押し、メニューモードを終了する

ＩＰアドレスの設定

本プリンタに IP アドレスを設定するには、プリンタに直接設定する手動設定と、プリンタの電源投入時に DHCP サーバから自動的に取得する自動取得設定の 2 つがあります。ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。

●手動設定の場合

設定は、メニューモードの「管理者用メニュー」－「Network Setup」－「IP Address Set」で、まず「Manual」に変更してから、IP アドレスの設定を行います。

1 印刷可能状態であることを確認する

次のいずれかの状態であることを確認します。

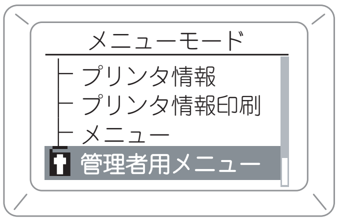
- オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンラインです」と表示されている
- オペレータパネルに「オフラインです」と表示されている
- オペレータパネルに「パワーセーブ中です」と表示されている

2 オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、「オンライン」スイッチを押す

オペレータパネルに「オフラインです」と表示されていることを確認します。

3 「メニュー▲」または「メニュー▼」スイッチを押し、メニューモードにする

4 「管理者用メニュー」を選択し、「設定」スイッチを押す



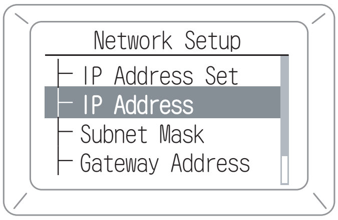
> **ガイド**
>
> 「管理者用メニュー」に入るためにはパスワードの入力が必要です。
>
> 参照 「オペレータパネルの操作制限」（156 ページ）参照

管理者用メニューにレベルが移動します。

5 「Network Setup」が選択されていることを確認し、「設定」スイッチを押す

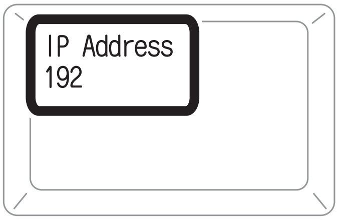


6 「IP Address」が選択されていることを確認し、「設定」スイッチを押す

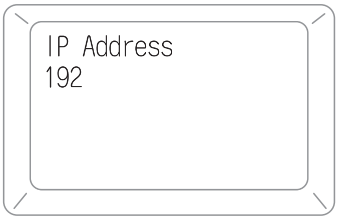


7 「メニュー▲」または「メニュー▼」スイッチを押し、IP アドレスの 1 桁目を設定する

ここでは、192.168.0.2 に設定する場合を例にします。
ボタンを 2 秒以上押すと、早送りします。

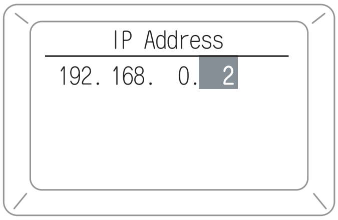


8 「設定」スイッチを押す



9 手順 7 ～ 8 を繰り返し、すべての桁を設定する

4 桁目を設定すると設定した値の左側に＊がつきます。



10 手順 6 ～ 9 と同様に、「Subnet Mask」、「Gateway Address」を設定する

11 「オンライン」スイッチを押す

プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

● DHCP による自動取得の場合

メニューモードの「管理者用メニュー」－「Network Setup」－「IP Address Set」が、「Auto」になっていることを確認します。
DHCP サーバとプリンタをネットワークに接続し、プリンタの電源を投入してください。プリンタの起動時に IP アドレスを DHCP サーバから取得します。

ガイド

- DHCP により TCP/IP 構成情報を自動的に取得する場合は、本プリンタの電源を再投入しても同じ IP アドレスを取得できるように DHCP サーバにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタの MAC アドレスについては、メニューモードの「プリンタ情報」－「Network」－「MAC Address」を参照、または設定内容の印刷を行ってください。
- DHCP による自動取得の場合、IP アドレスの取得までにかかる時間はネットワーク環境によって異なります。
  取得した IP アドレスは、メニューモードの「プリンタ情報」－「Network」－「IP Address」で確認することができます。
- IP アドレスが取得できなかった場合や、表示された IP アドレスが以前手動設定した値の場合は、メニューモードの「管理者用メニュー」－「Network Setup」－「IP Address Set」が「Auto」になっているか確認します。「Manual」の場合は、「Auto」に変更してください。（初期値は「Auto」です。）
  設定変更後、メニューモードを抜けるとプリンタが再起動し、IP アドレスの取得を行います。

セキュリティに関する設定

ここでは、プリンタを使用する場合に設定できるセキュリティ機能について説明します。

サービスの管理

ネットワークサービスの有効 / 無効を設定します。
設定は、メニューモードの「管理者用メニュー」－「Network Setup」－「Web」、「SNMP」から行います。

ガイド

- 各設定を無効にした場合についての詳細は、Color Printia LASER Internet Service のネットワークサービスの説明を参照してください。

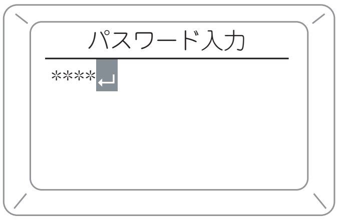
  参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

- 「管理者用メニュー」－「Network Setup」の「Web」を無効に設定した場合など、Color Printia LASER Internet Service からの設定が行えないときは、オペレータパネルで設定を行ってください。

オペレータパネルの操作制限

管理者以外のユーザによるプリンタの設定変更を防止するために、オペレータパネルの「管理者用メニュー」はパスワード（4 桁の数字）で制限されています。「管理者用メニュー」を選択すると、パスワードの入力を要求されます。

「メニュー▲」「メニュー▼」スイッチで数字を選び、「設定」スイッチを押すと次の行に移ります。4 桁のパスワード入力したら最後に「設定」スイッチを押します。
パスワードの初期値は、「0000」です。パスワードの変更は、メニューモードの「管理者用メニュー」－「パスワード変更」から行ってください。



ガイド

パスワードを忘れた場合は、「設定」スイッチと「オンライン」スイッチを同時に押しながらプリンタの電源を入れてください。
一時的にパスワードが「0000」になります。パスワードの変更で新しいパスワードを設定してください。

パスワードの変更

1 **印刷可能状態であることを確認する**

次のいずれかの状態であることを確認します。

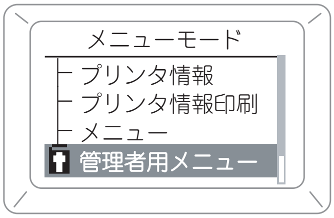
- オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンラインです」と表示されている
- オペレータパネルに「オフラインです」と表示されている
- オペレータパネルに「パワーセーブ中です」と表示されている

2 **オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、「オンライン」スイッチを押す**

オペレータパネルに「オフラインです」と表示されていることを確認します。

3 **「メニュー▲」または「メニュー▼」スイッチを押し、メニューモードにする**

4 **「管理者用メニュー」を選択し、「設定」スイッチを押す**

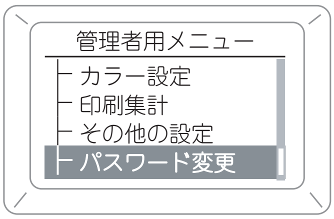


> **ガイド**
>
> 「管理者用メニュー」に入るためにはパスワードの入力が必要です。
>
> 参照『「オペレータパネルの操作制限」(156 ページ) 参照

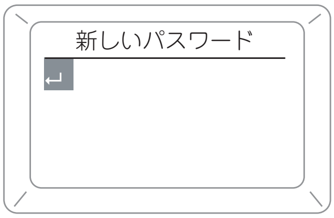
管理者用メニューにレベルが移動します。

5 **「パスワード変更」が選択されていることを確認し、「設定」スイッチを押す**

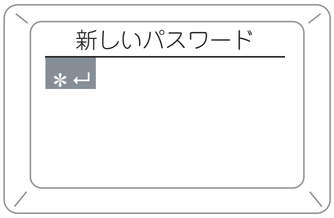
新しいパス - ワードの入力画面になります。



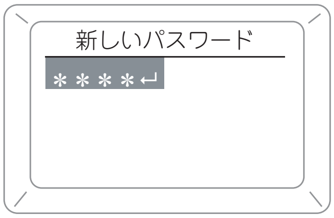
6 **「メニュー▲」「メニュー▼」スイッチでパスワードの一桁目を設定する「設定」スイッチを押す**



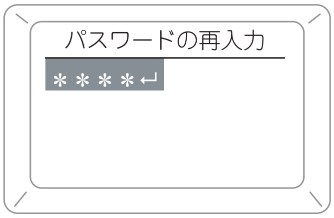
7 「設定」スイッチを押す



8 手順6～7を繰り返し、すべての桁を設定し、「設定」スイッチを押す



9 手順6～8と同様に新しく設定したパスワードをもう一度入力する



10 オンラインスイッチを押す

これでパスワードの変更は完了です。

第6章

用紙について

この章では、本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかたについて説明します。

使用できる用紙

本製品で使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

給排紙方法と用紙のサイズ

給紙方法と用紙のサイズ

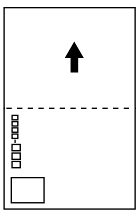
給紙方法と用紙サイズの関係を次の表に示します。

給紙方法	タイプ	サイズ	重量	積載可能枚数
マルチパーパストレイ	普通紙 / 再生紙	A3、A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガルユーザ定義サイズ(幅100 ～ 328mm、長さ148 ～ 1200mm)	64 ～ 74g/m^2	250 枚、ユーザ定義サイズは100 枚
	厚紙		75 ～ 268g/m^2	ガイドの上限線まで
	官製はがき (*1)	はがき	190g/m^2	100 枚
	官製往復はがき (*1)	往復はがき	190g/m^2	
	封筒 (*2)	長形 3 号、長形 4 号、角形 2 号、角形 3 号、角形 8 号、洋形 0 号、洋形 4 号	85g/m^2	10 枚
	OHP フィルム	A4、レター	—	100 枚
	ラベル紙	A4、レター	0.1 ～ 0.2mm	
	光沢紙	A4、レター	—	
用紙トレイ 1	普通紙 / 再生紙	A3、A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガル	64 ～ 74g/m^2	約 550 枚
	厚紙		75 ～ 216g/m^2	ガイドの上限まで
	官製はがき (*1)	はがき	190g/m^2	200 枚
	官製往復はがき (*1)	往復はがき	190g/m^2	
	OHP フィルム	A4、レター	—	
	光沢紙	A4、レター	—	
用紙トレイ2～5(拡張給紙ユニット)	普通紙 / 再生紙	A3、A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガル	64 ～ 74g/m^2	約 550 枚
	厚紙		75 ～ 216g/m^2	ガイドの上限線まで

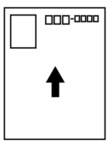
*1：用紙は縦送りとなります。

－マルチパーパストレイ

往復

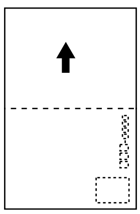


単信

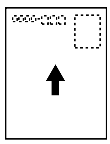


－用紙トレイ 1

往復

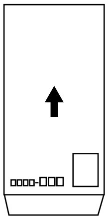


単信

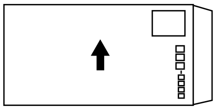


*2：封筒の種類により送り方向が変わります。

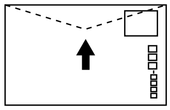
角型 2 号



長形 3,4 号
角型 3,8 号



洋形 0,4 号



> **ガイド**
>
> 封筒に印刷する場合は、モノクロデータの印刷でもカラーページとしてカウントします。

排紙方法と用紙のサイズ

排紙方法と用紙サイズの関係を次の表に示します。

排紙方法	タイプ	サイズ	重量
フェイスダウンスタッカ	普通紙／再生紙	A3、A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガル、ユーザ定義サイズ	64 ～ 74g/m^2
	厚紙		75~216g/m^2
フェイスアップスタッカ	普通紙／再生紙	A3、A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガル ユーザ定義サイズ	64 ～ 74g/m^2
	厚紙		75～268g/m^2
	官製はがき	はがき	190g/m^2
	官製往復はがき	往復はがき	190g/m^2
	封筒	長形 3 号、長形 4 号、角形 2 号、角形3号､角形8号､洋形0号､洋形4号	85g/m^2
	OHP フィルム	A4、レター	－
	ラベル紙	A4、レター	0.1 ～ 0.2mm
	光沢紙	A4、レター	－

> **ガイド**
>
> ・厚紙は用紙の種類によってフェイスダウンスタッカへ正常に排紙できない場合があります。その場合はフェイスアップスタッカを排紙方法として指定してください。
> ・長尺紙へ印刷する場合は、フェイスアップスタッカを排紙方法として指定してください。

お願い

・用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷して、支障がないことを確認することをお勧めします。
・はがきは、官製はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。
・官製はがき、官製往復はがき、OHP フィルム、光沢紙は、用紙トレイ 2 ～ 5 からは印刷できません。マルチパーパストレイまたは用紙トレイ 1 から印刷してください。
・プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。
異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障するおそれがあります。
・不定形用紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、「ユーザ定義サイズ」にしてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、装置が故障するおそれがあります。
・ラベル紙はマルチパーパストレイから印刷してください。
・再生紙をご使用される場合は、以下の点にご注意頂きますようお願いいたします。
  － 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙づまりやシワ、折れ、印字乱れ等が発生する場合があります。このような環境でご使用される場合は、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出してご使用ください。
  － また、夜間／休日等のプリンタ停止時は、給紙カセット、マルチパーパストレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
  －「古紙 100%再生紙」は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境でご使用になる場合は、事前に同様の環境で十分な確認を行っていただいたうえで、銘柄を選定してください。
  － 不定形用紙の印刷において、しわ / 斜行 / 角折れ / 二重送 / 紙づまり等が発生する場合があります。印刷する前に、用紙のカール / 反りをなおしてから用紙をセットしてください。
  また、高温 / 高湿環境や低温 / 低湿環境を避けて、保管 / 運用してください。
  － 銘柄によって用紙のカールが大きくなる場合があります。トレイセット時の面を反対にすると、カールが小さくなる場合があります。

普通紙

本製品では、PPC 用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本製品に適さないものもあります。できるだけサプライ用紙をご使用ください。

参照　サプライ用紙の詳細は、「サプライ品一覧」（233 ページ）参照

プレプリント紙、カラー紙

カラー紙の着色顔料やプレプリント用のインクは、耐熱性で 210 ℃でも変質せず、紙質は普通紙と同等のものをご使用ください。プレプリント用紙に耐熱性の低いインクを使用した場合やインクが乾いていない状態で用紙を使用した場合、インクが本製品の定着器、感光ドラムおよびローラなどに付着し、印字品質の低下、ジャム、装置破損の原因となります。
また、インクや紙粉の影響により、用紙搬送 / 印刷 / 定着に関係する部品が汚損 / 変質 / 磨耗する場合があります。定期的に清掃、または部品の交換を行ってください。

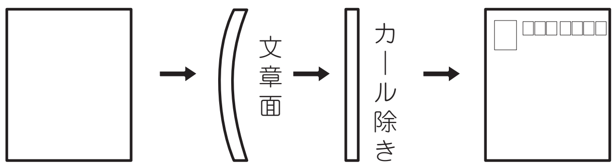
お 願 い

- **金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインクで印刷された用紙は絶対に使用しないでください。**
- **印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。**
  - **位置精度 A4 サイズで± 2mm 程度**
  - **用紙の傾き 100mm 当たり± 1mm 程度**
  - **画像の伸縮 100mm 当たり± 1mm 程度**

官製はがき

はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に片面ずつ印刷してください。（両面印刷機能には、対応していません。）
宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約 2mm 以内の反りになるように修正してから印刷してください。

1→2→3



〔文章面〕 1　　2　　〔宛名面〕 3

官製はがきの使用にあたっては、次の点に留意してください。
- インクジェット用、写真加工しているはがきは使用できません。
- 往復はがきは折り目のないものをご使用ください。
- 縦送りとなるようにプリンタにセットしてください。
- フェイスアップスタッカを排出先に指定してください。
- 印刷後に反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。

ガイド

マルチパーパストレイや用紙トレイ 1 をはがき専用に使う場合は、オペレータパネルの「メニュー」－「トレイ構成」で以下の設定とすることをお勧めします。
- マルチパーパストレイ
  「マルチパーパストレイ」－「用紙サイズ」を「はがき」または「往復はがき」にする。
- 用紙トレイ 1
  「トレイ 1 設定」－「A5/A6 用紙」を「はがき」にする。

OHP フィルム

定着時の熱（約 210 ℃）で溶けたり、変質したりしないものをご使用ください。
OHP の使用にあたっては、次の点に留意してください。
- 印刷後にうねりが発生することがあります。
- フェイスアップスタッカを排出先に指定してください。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
- 表面に滑りやすいコーティングをした OHP フィルムは給紙できないことがあります。

ラベル紙

ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものをご使用ください。また、粘着剤が定着時の熱（約 210 ℃）で溶けたり変質したりしないものをご使用ください。
ラベル紙の使用にあたっては、次の点に留意してください。
- フェイスアップスタッカを排出先に指定してください。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。

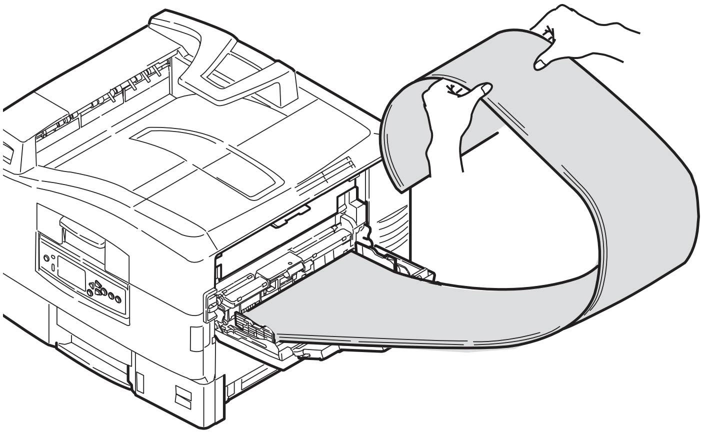
お願い

OHP フィルムやラベル紙をご使用になるときは、レーザプリンタ用のものをお買い求めください。市販のものの中には本製品に適さないものがありますので、ためし印刷などで確認したうえでご使用ください。

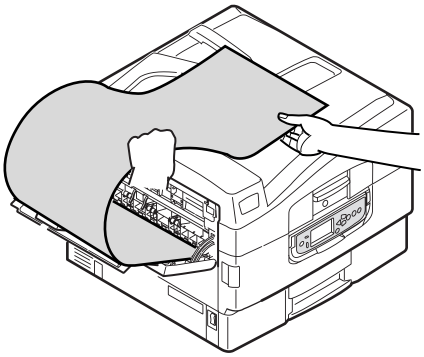
長尺紙

縦や横に長いデータ（最大長さ 1200mm まで）を印刷することができます。
長尺紙の使用にあたっては、次の点に留意してください。

・ フェイスアップスタッカを排出先に指定してください。
・ 用紙は 1 枚ずつセットしてください。
・ 長尺紙の全領域に印刷する場合は、用紙のスキュー、印刷位置のばらつきを考慮して、十分な余白を設定して印刷してください。試し印刷で、位置ずれ等を確認することをお勧めします。
・ 長尺紙をセットするときは、次の図のように手で支えてください。



・ 印刷開始後は、長尺紙に無理な力を加えないでください。紙づまりの原因になります。排紙口から出てくる長尺紙は、次の図のように手で支えてください。



お願い

・ 幅が 297mm 未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。プリンタが故障する恐れがあります。
・ アプリケーションによっては長尺紙に印刷できない場合があります。

封筒

クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または PPC 用紙で作られた封筒をご使用ください。また、重量 85g/m^2 の紙で、長形はフラップ部が折られていないもの、洋形はフラップ部がきちんと折れている封筒をご使用ください。
封筒の使用にあたっては、次の点に留意してください。

- フェイスアップスタッカを排出先に指定してください。
- 印刷後に反やしわが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分の周り 5mm は印刷品位が低下することがあります。
- 一度にセットできる封筒は 10 枚までです。それ以上セットすると、紙づまりの原因となります。
- 裏面に印刷する場合は、排出されるごとにフェイスアップスタッカから封筒を取り除いてください。排出済みの封筒の口に次の封筒があたり、封筒が押し出され落下が発生します。

光沢紙

電子写真プリンタ用、または PPC 用に作られた厚さ 0.13 ～ 0.16mm のものをご使用ください。また、定着時の熱（約 210 ℃）で溶けたり変質したりしないものをご使用ください。
光沢紙の使用にあたっては、次の点に留意してください。

- フェイスアップスタッカを排出先に指定してください。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。

使用できない用紙

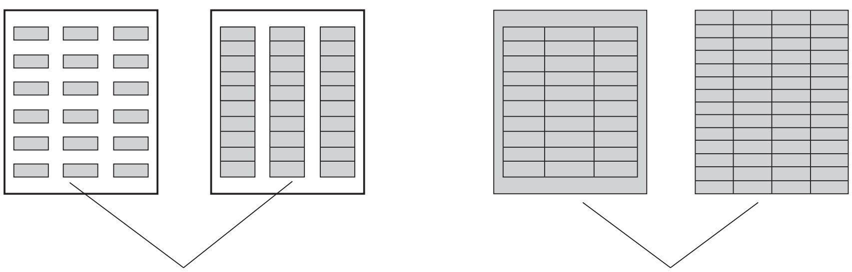
以下の用紙は本製品では使用できません。

本プリンタで使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタ本体の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

- 厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
- 湿っている用紙や、濡れている用紙
- 一度印刷された用紙
- 貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙
- 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- カールしている用紙
- 静電気で密着している用紙
- 長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
- 表面を加工、または特殊なコーティングをおこなった用紙（感熱紙、カーボン紙、メールシール紙など）
- 大量のタルク成分を含んだ用紙（オフセット印刷用の用紙等）や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- 用紙の全面または大部分にあらかじめ印刷されているプレプリント用紙
- インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、210 ℃の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
- 210 ℃の熱で溶けたり、変質する用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙
- インクジェット専用紙、インクジェット用 OHP フィルム、インクジェット用はがき
- 台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル用紙

×使用できません　　○使用できます



つるつるした台紙面　　全面ラベル紙

両面印刷で使用できない用紙

以下の用紙は両面印刷では使用できません。

厚紙（重量 121g/m^2 ～ 268g/m^2)、OHP フィルム、ラベル紙、光沢紙、封筒、ユーザ定義サイズ（幅：100 ～ 147.9mm、長さ：209.9mm 以下、458.1mm 以上)、官製はがき、往復はがき、長尺紙、A6

用紙トレイで使用できない用紙

封筒、ラベル紙は用紙トレイでは使用できません。官製はがき、官製往復はがき、OHP フィルム、光沢紙は、用紙トレイ 1 でのみ使用でき、その他の用紙トレイでは使用できません。

用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。
用紙は次のような場所に保管してください。

・暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
・平らなパレットの上
・温度 20 ℃、湿度 50%RH の環境

次のような場所は避けてください。

・床の上に直接置く
・直射日光の当たる場所
・外壁の内側の近く
・段差や、曲がりのある場所
・静電気が発生するところ
・過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
・複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。

・開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
・長期間プリンタを使用しないときは、用紙トレイ、マルチパーパストレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

ガイド

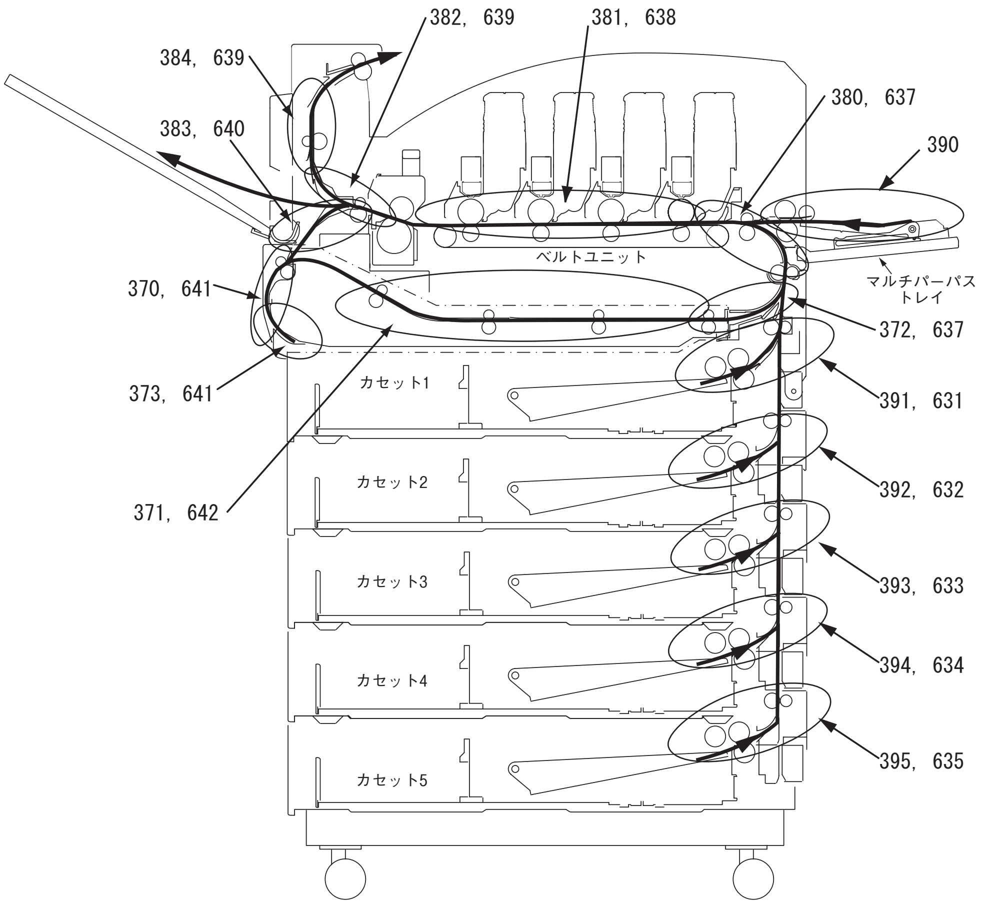
・長時間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。具体的には以下のような現象が発生する場合があります。
  - 印刷した用紙が丸まり、排出不良となる。
  - 印刷した用紙にシワが発生する。
  - 紙詰まりが発生する。
・再生紙をご使用される場合は、以下の点にご注意頂きますようお願いいたします。
  - 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙づまりやシワ、折れ、印字乱れ等が発生する場合があります。このような環境でご使用される場合は、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出してご使用ください。
  - また、夜間／休日等のプリンタ停止時は、用紙トレイ、マルチパーパストレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
  - 「古紙 100%再生紙」は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境でご使用になる場合は、事前に同様の環境で十分な確認を行っていただいたうえで、銘柄を選定してください。

第7章
こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。

紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとエラーランプが点滅し、液晶ディスプレイに『紙づまりです』または『用紙が残っています』と表示されます。
エラーメッセージには、解除のために開くカバーも表示されます。
つまった用紙をすべて取り除きカバーを閉じると、印刷可能状態になり、紙づまりが発生したページから印刷を再開します。
エラーコードと紙づまりの発生した場所の関係は、下図を目安としてください。紙づまりの発生の仕方によっては、場所がずれる場合があります。



お願い

- つまった用紙を取り除いてカバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。
- 用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。

ガイド

メッセージ表示中にオペレータパネルの「ヘルプ」スイッチを押すと、詳細な解除手順が表示されます。

注意

けが	つまった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。 ・ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。ケガの原因になることがあります。 ・プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。ケガの原因になることがあります。
火災	つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因になることがあります。 なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、「ハードウェア修理相談センター」（244 ページ）にご連絡ください。

紙づまりのおもな原因

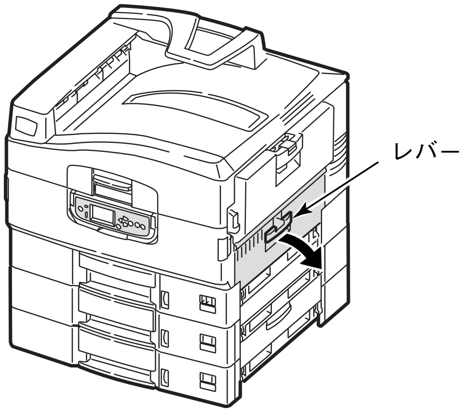
紙づまりには次のような原因が考えられます。紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

- プリンタを水平に設置する
- 適切な用紙を使用する（特に、吸湿した用紙を使用すると紙づまりが発生しやすくなる場合があります。）
- 給紙カセットやマルチパーパストレイに用紙を正しくセットする
- カールしていない用紙を使用する
- 給紙カセットを奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む
- 給紙ローラが汚れている、磨耗している
- ドライバで指定の用紙種類と実際に使用している用紙種類が合っていない

用紙トレイでつまった用紙を取り除く（コード：391 ～ 395、631 ～ 635）

オペレータパネルの液晶ディスプレイには、用紙のつまったトレイ番号が表示されます。
ここでは、用紙トレイ 1 の場合について説明しますが、他の用紙トレイの場合も、同様の手順で該当のサイドカバーを開いて用紙を取り除いてください。

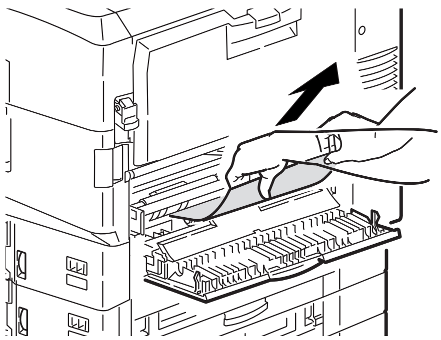
1 トレイ 1 サイドカバーのレバーを握り、外側に開く



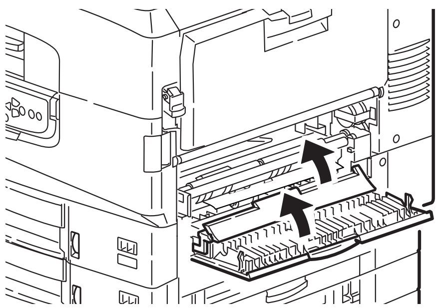
2 つまっている用紙をそっと取り除く

ガイド

ローラの端を持って回すと用紙にたるみができ、取り除きやすくなります。

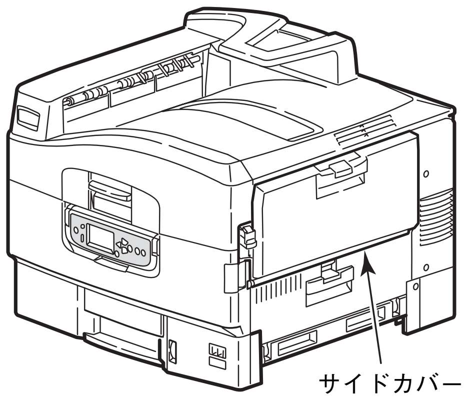


3 用紙ガイドを元の位置に戻し、トレイ 1 サイドカバーを閉じる



マルチパーパストレイ付近でつまった用紙を取り除く（コード：380、390、637）

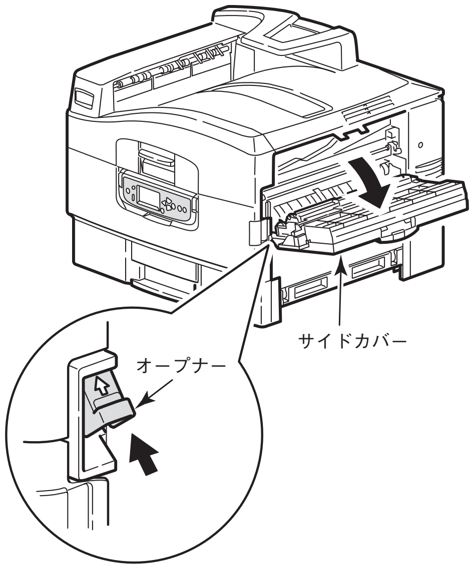
1 マルチパーパストレイが開いている場合は閉じる



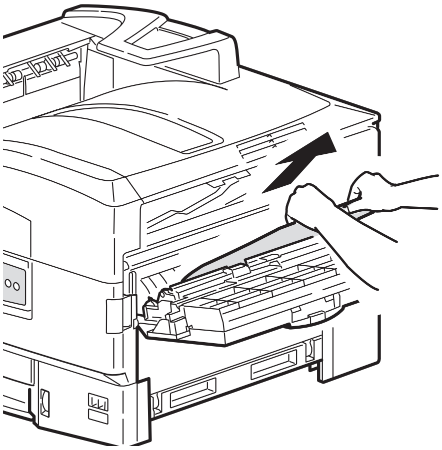
2 オープナーを引き、サイドカバーを外側に開く

ガイド

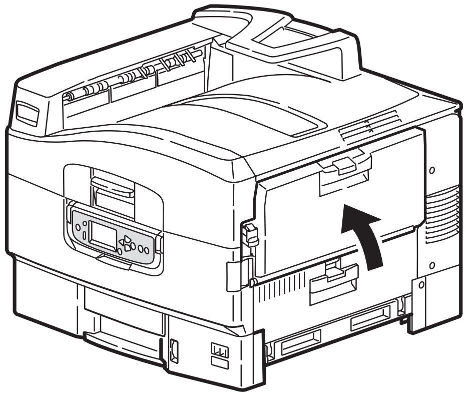
- サイドカバーが開きにくい場合は、オープナーを引き、マルチパーパストレイの取っ手を持って操作してください。
- マルチパーパストレイを開くボタンを押さないように注意してください。



3. つまっている用紙をそっと取り除く

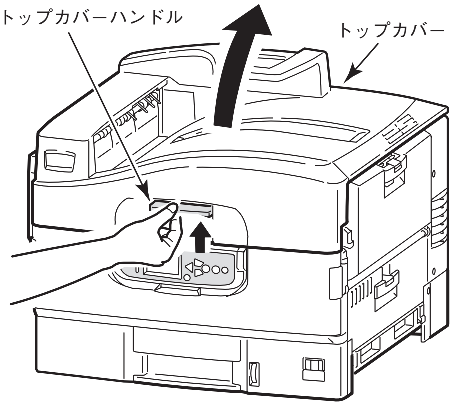


4. サイドカバーを閉じる



プリンタ内部、排出部でつまった用紙を取り除く（コード：381 ～ 384、638、639）

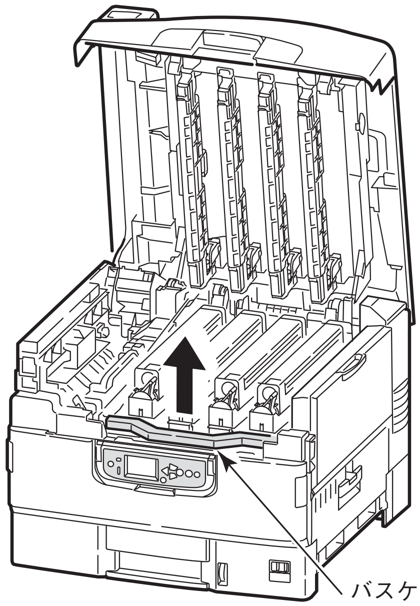
1 トップカバーハンドルを握り、トップカバーを開ける



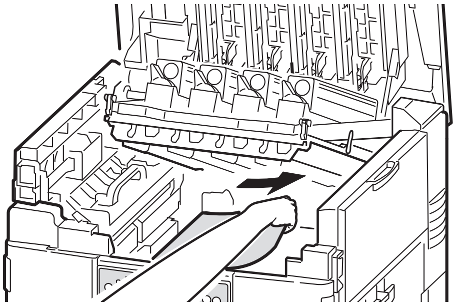
注意　定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 バスケットハンドルを握り、ドラムバスケットを上に持ち上げる

ガイド
ドラムバスケットを持ち上げるときは、バスケットハンドルの手前と奥のレバーを押します。

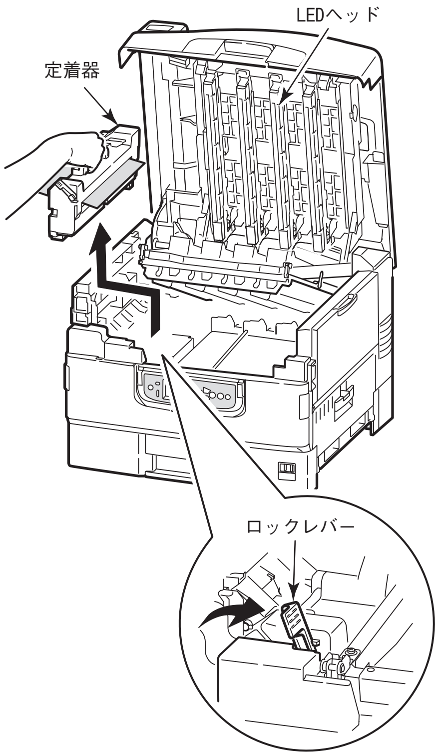


3 ベルト上にある用紙をそっと取り除く



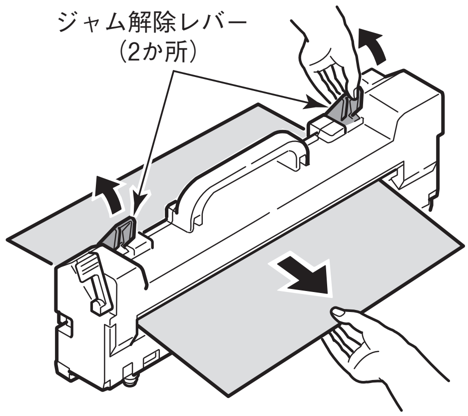
4 定着器に用紙が挟まっている場合は、ロックレバーを矢印の方向に倒し、ロックを解除する。

定着器のハンドルを持ち、取り出し、平らな場所に置く

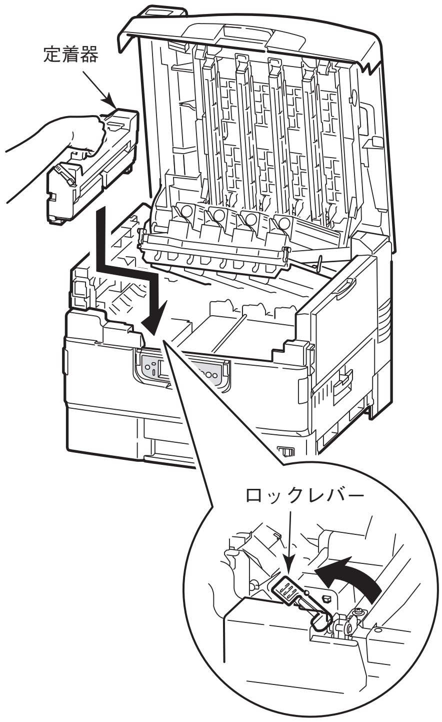


⚠ 注意	定着器ユニットは高温になっています。熱いときは無理をせず、少し冷めるまで待ってから用紙を取ってください。

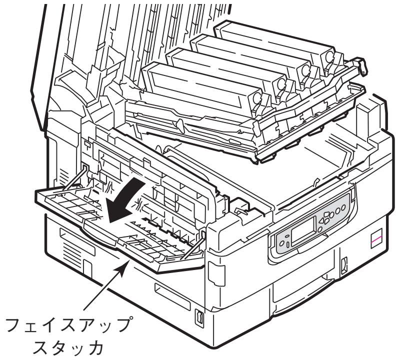
5 ジャム解除レバー（2 か所）を引き上げ、用紙をそっと取り除く



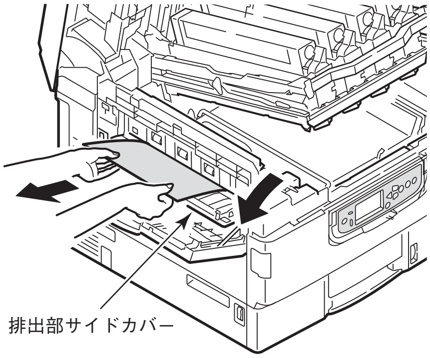
6 定着器をプリンタの中に静かに戻す。ロックレバーを矢印の方向に倒し、固定する



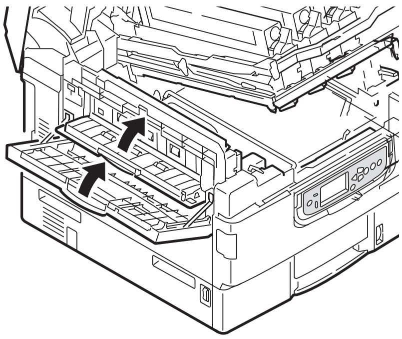
7 排出部付近に用紙がつまっている場合は、フェイスアップスタッカを開く



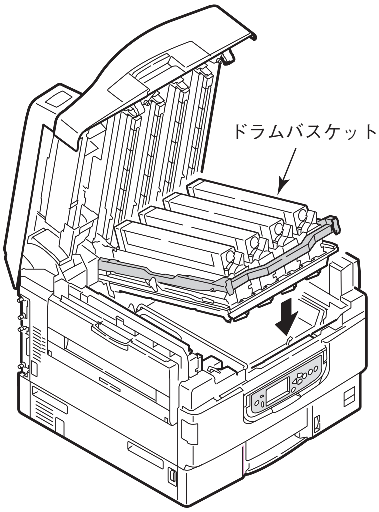
8 排出部サイドカバーを開け、つまっている用紙をそっと取り除く



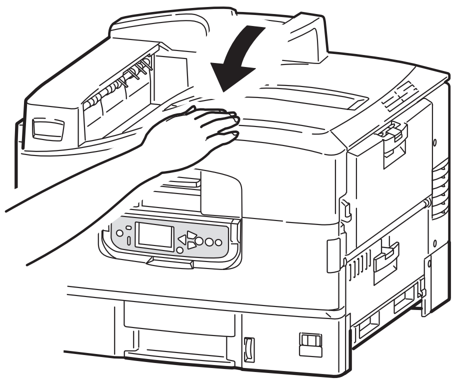
9 排出部サイドカバーを閉じ、フェイスアップスタッカを閉じる



10 ドラムバスケットを元の位置に戻し、固定されたことを確認する

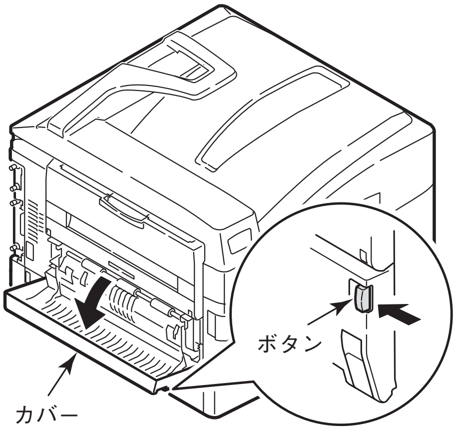


11 トップカバーを閉じる



両面ユニットでつまった用紙を取り除く（コード：370 ～ 373、640 ～ 642）

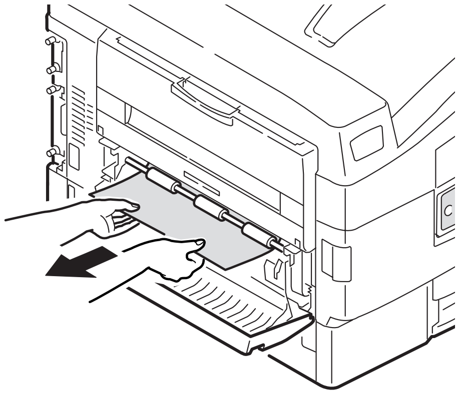
1. 両面印刷ユニットのボタンを押しながらカバーを外側へ開く



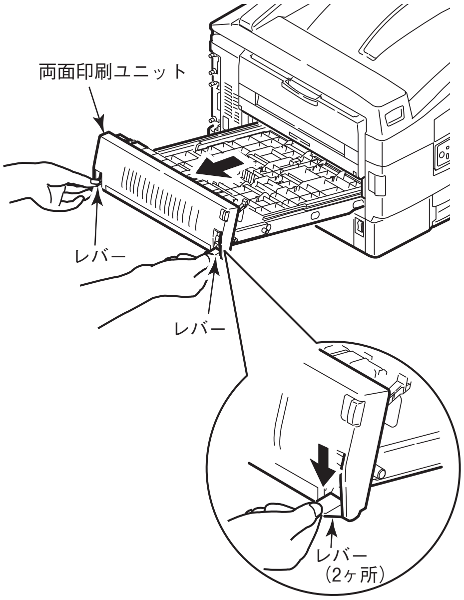
2. 用紙がある場合は、そっと取り除く

ガイド

用紙の先端が少ししか見えずに取りにくい場合は、トップカバーを開け、定着器を取り出し、用紙の反対側から取り除いてください。



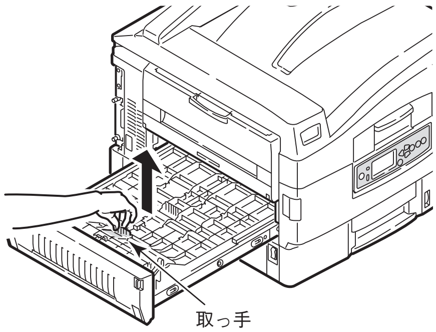
3 カバーを閉じ、左右のレバーを押しながら両面ユニットを引き出す



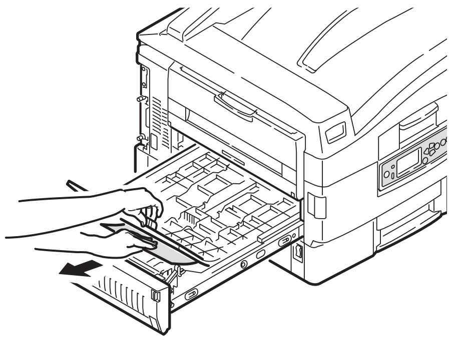
4 手前のカバーの取っ手を持ち、持ち上げる

ガイド

カバーを持ち上げにくい場合は、プリンタ本体側にカバーを少しずらしてください。



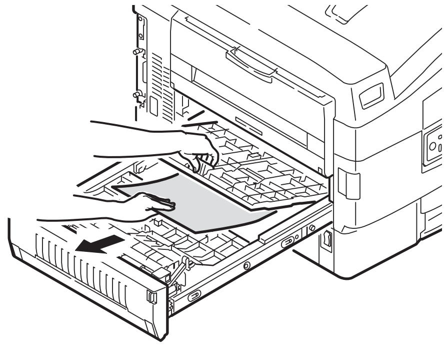
5 つまっている用紙がある場合は、取り除く



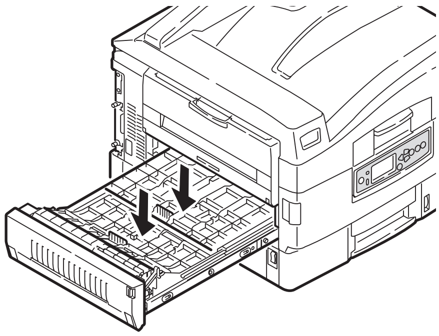
6 同様に奥のカバーの下も確認する

ガイド

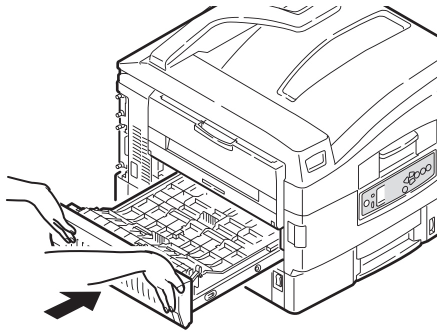
カバーを持ち上げにくい場合は、プリンタ本体側にカバーを少しずらしてください。



7 カバー（2 枚）を元の位置に戻す



8 両面印刷ユニットをプリンタに戻す



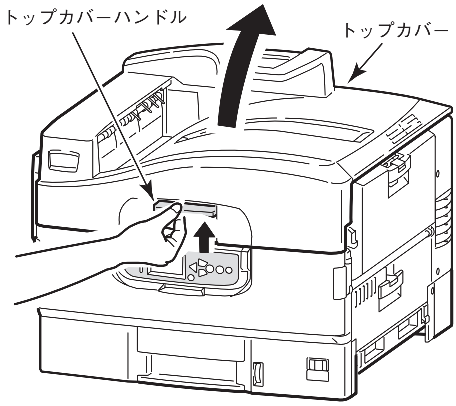
ガイド

トレイ 1 サイドカバー付近に用紙がつまっている場合もあります。トレイ 1 サイドカバーを開いて用紙がないか確認してください。

定着器の取り外しと取り付け

定着器の装着に関するエラーが表示された場合は、以下の手順で定着器を装着し直してください。

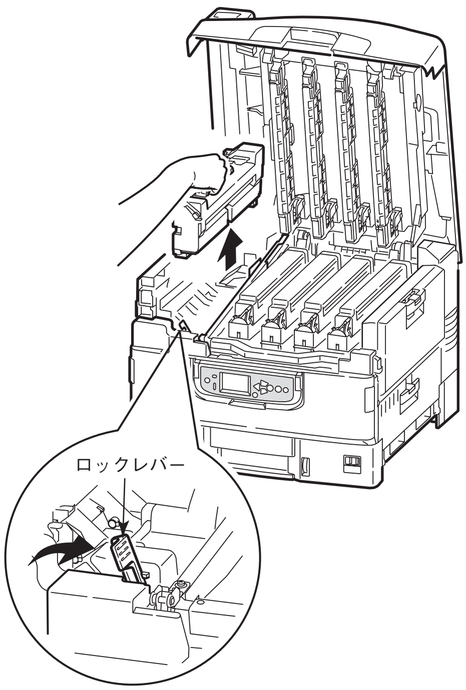
1 トップカバーハンドルを握り、トップカバーを開ける



注意　定着器ユニットは高温になっていますので、ハンドル以外は触らないでください。

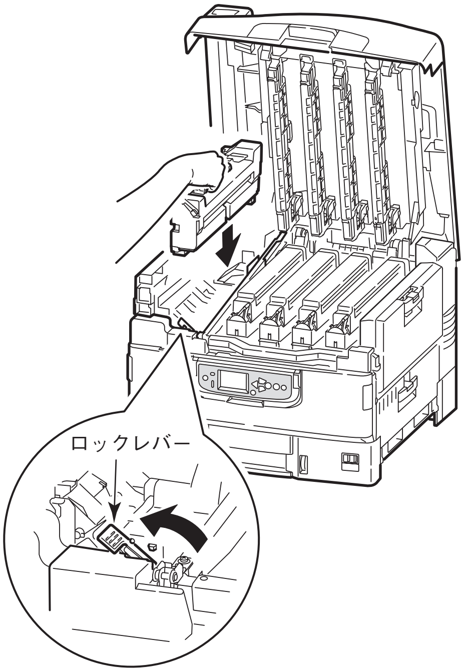
2 定着器のロックレバーを矢印の方向に倒し、ロックを解除する。

定着器のハンドルを持ち、取り出す

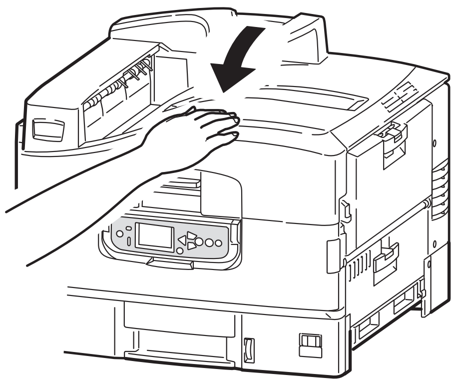


注意　定着器ユニットは高温になっています。熱いときは無理をせず、少し冷めるまで待ってから取り出してください。

3 定着器をプリンタの中に静かに戻す。ロックレバーを矢印の方向に倒し、固定する

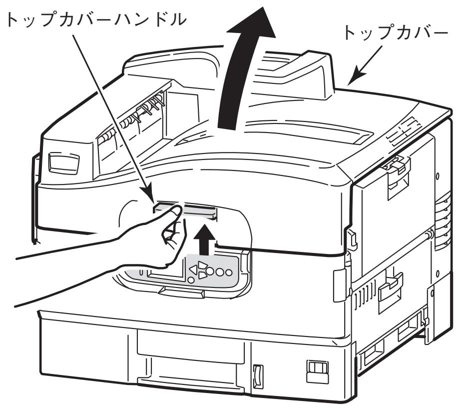


4 トップカバーを閉じる



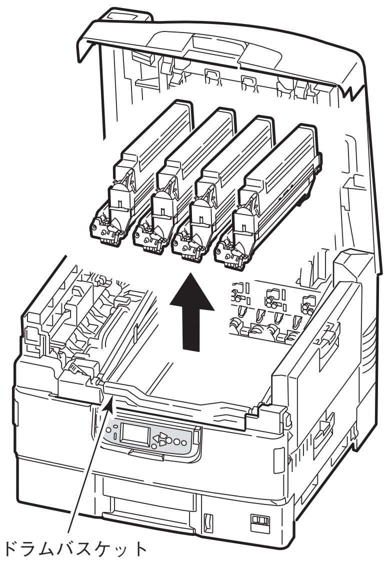
ベルトユニットの取り外しと取り付け

1 トップカバーハンドルを握り、トップカバーを開ける

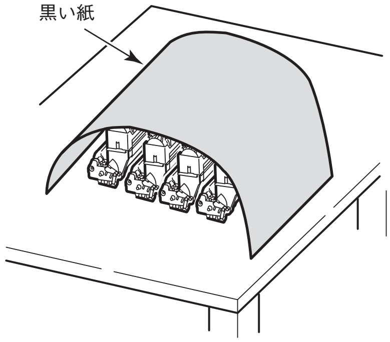


注意　定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

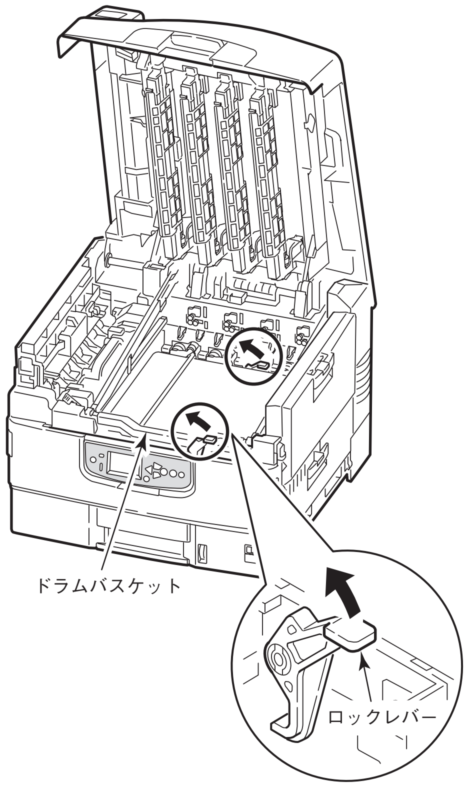
2 ドラムカートリッジを 4 つとも取り出し、平らな場所に置く



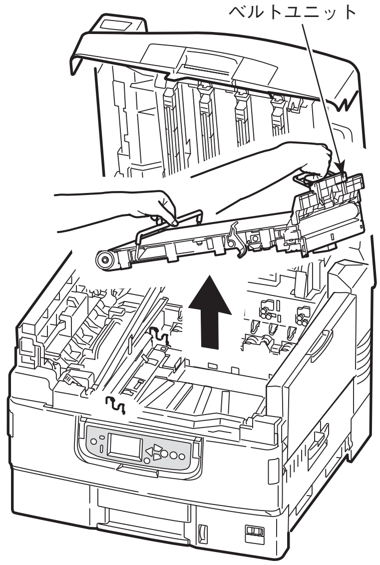
3 ドラムカートリッジに光が当たらないように黒い紙などをかける



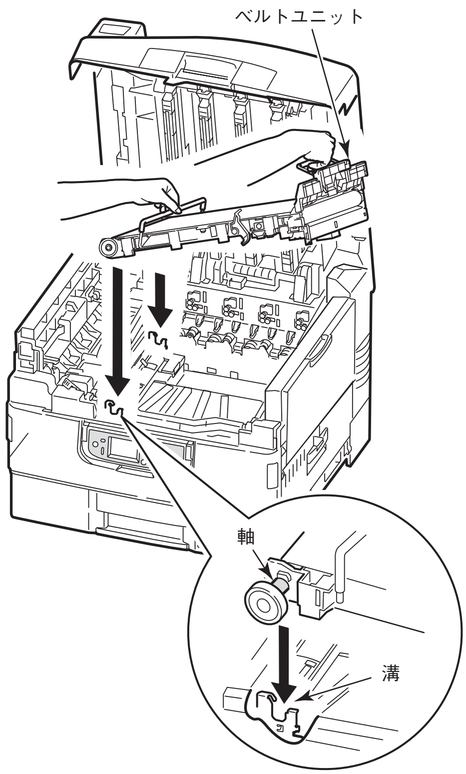
4 ベルトユニットのロックレバー（2 か所）を矢印の方向に起こす



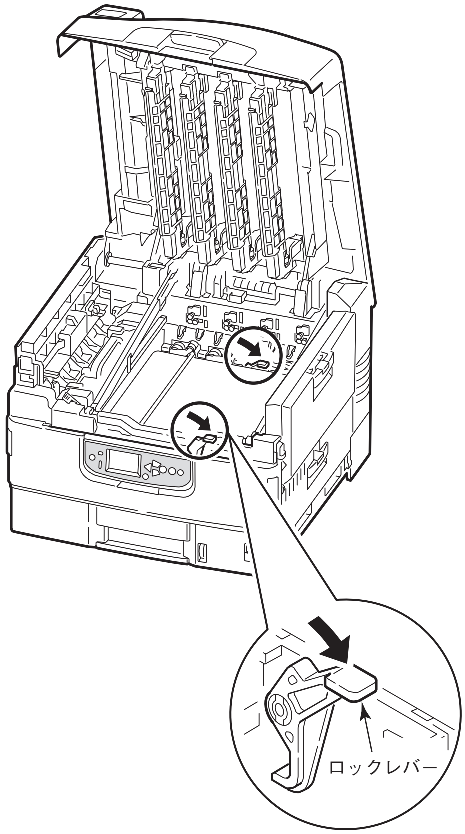
5 ベルトユニットのハンドル（2 か所）を持ち、右側を先に持ち上げ、取り外す



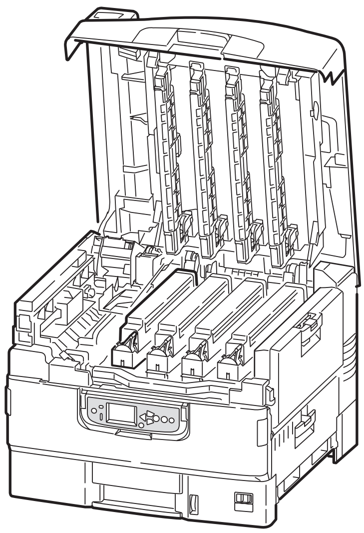
6 ベルトユニットのハンドル（2 か所）を持ち、左側からプリンタ本体の中に静かに入れ、ベルトユニットの軸をプリンタ本体の溝に合わせて置く



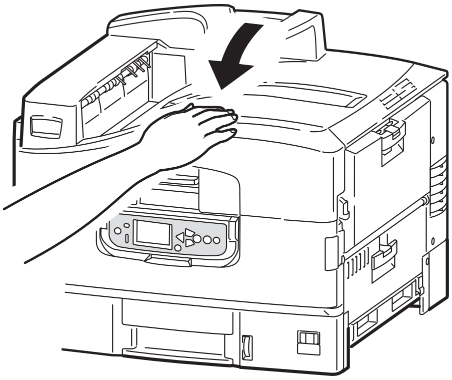
7 ベルトユニットのロックレバー（2 か所）を矢印の方向に倒す



8 ドラムカートリッジを 4 つとも元の位置に戻す



9 トップカバーを閉じる



故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。
そのようなときは、次の各項目を読んで確認してください。

ガイド
パソコンのアプリケーションからの印刷やネットワーク経由で使用時のトラブルについては、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」を参照してください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない 電源を投入してもすぐに切れる	・電源コードの抜け ・停電 ・コンセントに問題あり ・電圧が違う。	・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（｜側）されていることを確認してください。 ・ほかの電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 参照「安全上のご注意」（10 ページ）参照 参照「電源の投入」（49 ページ）参照 参照「電源の切断」（60 ページ）参照
ウォームアップに時間がかかる	湿度が 70%RH 以上の高湿環境で使用している。	用紙の反りを抑えるためにウォームアップ時間が長くなります。しばらく待つと印刷可能な状態になります。
印刷しない	・プリンタの電源未投入 ・パラレルケーブル、USB ケーブルが抜けている。 ・オンライン状態でない。	・パラレルケーブル、USB ケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、『オンラインです』と表示されていることを確認してください。 参照「パラレルインターフェースによる接続」（64 ページ）参照 参照「USB インターフェースによる接続」（66 ページ）参照 参照「電源の投入」（49 ページ）参照 参照「電源の切断」（60 ページ）参照 参照「第 5 章　オペレータパネルの操作」（129 ページ）参照
正しい用紙をセットしているのに、エラーが表示される	用紙サイズと、用紙ガイドがずれている。	・給紙カセットの縦／横ガイドクリップが正しくセットされているか確認してください。 参照「用紙のセット」（53 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	・スイッチを確実に押していない。 ・プリンタの状態で効かないスイッチがある。	・スイッチのまん中をしっかり押してください。 参照「第5章　オペレータパネルの操作」（129 ページ）参照
異常音がする	・プリンタ内部に用紙クズやクリップなどの異物がある。 ・給紙カセットの装着が不完全な状態になっている。	・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。 参照「用紙のセット」（53 ページ）参照 参照「紙づまりになったとき」（172　ページ）参照
用紙が傾く、外れる、破れる、つまる	・用紙が正しくセットされていない。 ・用紙が適切でない。 ・プリンタが水平でない。 ・定期交換部品の交換時期になっている。	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 ・定期交換部品を交換してください。 参照「安全上のご注意」（10 ページ）参照 参照「第 6 章　用紙について」（159 ページ）参照 参照「定期交換部品一覧」（235 ページ）参照
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう。 ・定期交換部品の交換時期になっている。	・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は 1 枚ずつセットして印刷してください。 ・定期交換部品を交換してください。 参照「用紙のセット」（53 ページ）参照 参照「定期交換部品一覧」（235 ページ）参照
紙づまりが発生した	・用紙がくっつきやすい。 ・用紙が正しくセットされていない。 ・用紙が適切でない。 ・プリンタが水平でない。 ・定期交換部品の交換時期になっている。	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置をとってください。 ・用紙のセット方向を確認してください。 - A4、B5、レターサイズの用紙は、横長にセットしてください。 - A3、B4、A5、A6、リーガルサイズの用紙は、縦長にセットしてください。 ・定期交換部品を交換してください。 参照「安全上のご注意」（10 ページ）参照 参照「第 6 章　用紙について」（159 ページ）参照 参照「紙づまりになったとき」（172　ページ）参照 参照「定期交換部品一覧」（235 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切断した。 ・紙づまりが発生している。	・電源を切断（○側）して、数秒経過後に投入（｜側）してください。 ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照「電源の投入」（49 ページ）参照 参照「電源の切断」（60 ページ）参照 参照「紙づまりになったとき」（172 ページ）参照
裏面が汚れる	・プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。 ・定期交換部品の交換時期になっている。	・数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷をしてください。 ・定期交換部品を交換してください。 参照「プリンタの清掃」（117 ページ）参照 参照「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（137 ページ）参照 参照「定期交換部品一覧」（235 ページ）参照
エラーメッセージが表示され、印刷されない	―	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照「オペレータパネルのエラーメッセージ」（202 ページ）参照
トナーカートリッジを装着してもカートリッジに関するエラーが表示される	・他社製のトナーカートリッジを装着している。 ・トナーカートリッジが故障している。	・他社製のトナーカートリッジを使用していないか確認してください。 ・純正のトナーカートリッジを使用していて、「トナーカートリッジが正しくありません」と表示される場合にはトナーカートリッジが故障しています。新しいトナーカートリッジに交換してください。 参照「トナーカートリッジの交換」（98 ページ）参照
印刷開始時や印刷中に定着温度調整中と表示される	・印刷終了後、すぐに異なる用紙設定の印刷を開始した 。 ・幅の狭い用紙などを大量に連続印刷した。 ・オペレータパネルの「管理者メニュー」－「その他の設定」－「電力設定」－「定着制御」を「延長」に設定した。	定着器の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。しばらく待つと印刷が再開されます。

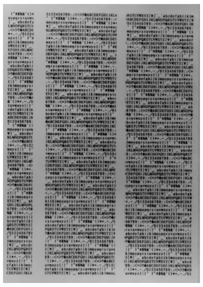
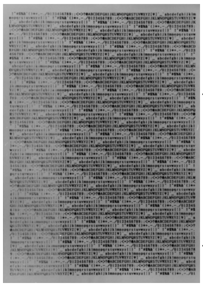
こんなとき	よくある例	ここをお調べください
液晶ディスプレイの表示が判読できない	・静電気による誤作動 ・バックライトが消えている。	・アースが正しく接続されていることを確認してください。 ・パワーセーブになるとバックライトが消灯します。オペレータパネルのスイッチを押すと、パワーセーブ状態のままバックライトを点灯することができます。 参照「安全上のご注意」（10 ページ）参照
新しいトナーカートリッジを装着しても液晶ディスプレイのトナー残量表示が元に戻らない	純正品以外のトナーカートリッジを装着している。	純正品以外のトナーカートリッジを使用された場合は、トナー残量表示を正しく表示できません。
用紙押さえに用紙があたる	排出した用紙が反っている。	・用紙の表裏を間違えていないか確認してください。 ・用紙押さえに用紙があたり、正常に用紙が排出されない場合は用紙押さえを外してご使用ください。
印刷を中止できない	エラーが発生している。	エラー発生中に印刷を中止しても印刷が中止されない場合があります。エラーを解除すると、印刷が中止されます。
指定したトレイと別のトレイから印刷される	給紙オプションで自動トレイ切り替えが有効になっている。	特定トレイからのみ印刷する場合は、給紙方法を自動選択以外に設定し、自動トレイ切り替えを無効にします。
・プリンタの動作が安定しない ・ハングアップする	静電気による誤作動	アースが正しく接続されていることを確認してください。 参照「安全上のご注意」（10 ページ）参照
ページの切り替わりに時間がかかる	モノクロページの次にカラーページがある。	モノクロページの次にカラーページがあると、印刷速度の切り替えのために処理に時間がかかります。オペレータパネルのメニューモードで「モノクロ印刷速度」を「モード 2」にすると、切り替えによる待合せはなくなりますが、モノクロページもカラー印刷速度（A4 印刷時は 36ppm）になります。 参照「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（137 ページ）参照
オフラインにしてもオペレータパネルの液晶ディスプレイに「オフラインです」と表示されない	印刷中にオフライン状態にした。	印刷中にオフラインにすると処理中のデータがプリンタ内に残ったままになることがあります。この場合、液晶ディスプレイには「データを処理中です」または「データがあります」と表示されますが、プリンタはオフライン状態になっています。
排出枚数が少ないのに、フルスタックになる	排出した用紙が反っている。	排出した用紙が反ると、フルスタックセンサーに早くかかることがあります。用紙を取り除いてください。

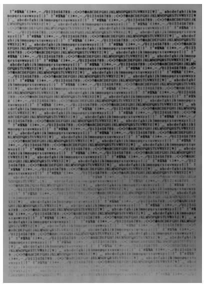
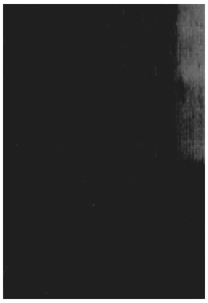
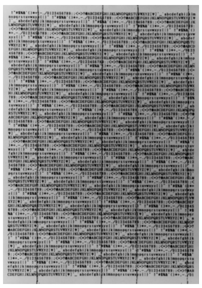
こんなとき	よくある例	ここをお調べください
給紙トレイに用紙をセットしても給紙されない	マルチパーパストレイの用紙なしエラーになっている。	自動トレイ切り替えをオンで印刷している場合は、「オンライン」スイッチを押すと給紙が行われます。それ以外の場合はマルチパーパストレイに用紙をセットしてください。
排出した用紙が落下する	封筒の裏面に印刷している。	排出済みの封筒の口に次の封筒があたり封筒が押し出され落下することがあります。封筒の裏面に印刷する場合は、排出されるごとに封筒を取り除いてください。
オペレータパネルのメニューモードからプリンタ情報印刷を行っても印刷されない	パラレルインターフェースまたは USB インターフェースから印刷した。	最後のデータを受信してからタイムアウト印刷時間が経過するまで印刷を行うことはできません。しばらく待ってから印刷を行ってください。 参照「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（137 ページ）参照

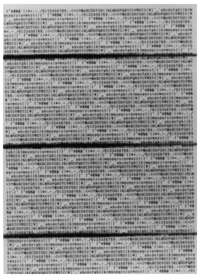
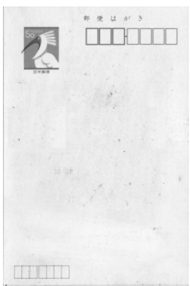
印刷品質が低下したとき

印刷品質が低下したときの処置について説明します。
ここで説明する処置をしても印刷品質が改善されない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、「ハードウェア修理相談センター」（244 ページ）にご連絡ください。

注意	
やけど	プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙の送り方向と平行に白いスジが入る ↑用紙の送り方向 	LED ヘッドが汚れている。	LED　レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。 参照「LED ヘッドの清掃」（118 ページ）参照
	トナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。 参照「トナーカートリッジの交換」（98 ページ）参照
	異物がつまっている。	ドラムカートリッジを交換してください。 参照「ドラムカートリッジの交換」（104 ページ）参照
用紙の送り方向と平行にかすれる ↑用紙の送り方向 	LED ヘッドが汚れている。	LED　レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。 参照「LED ヘッドの清掃」（118 ページ）参照
	トナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。 参照「トナーカートリッジの交換」（98 ページ）参照
	用紙がプリンタに適していない。	推奨紙を使用してください 参照「第 6 章　用紙について」（159 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷が薄い 	トナーカートリッジが正しくセットされていない。	トナーカートリッジを取り付け直してください。
	トナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。 参照「トナーカートリッジの交換」（98 ページ）参照
	用紙が湿気を含んでいる。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	用紙がプリンタに適していない。	推奨紙を使用してください 参照「第 6 章　用紙について」（159 ページ）参照
	用紙の厚さや種類の設定が不適切である。	・プリンタドライバで正しい用紙種類を設定してください。 ・プリンタドライバで用紙種類を「自動検知」に設定している場合は、適切な厚さを選択してください。
	再生紙を使用している。	プリンタドライバで正しい用紙種類を設定してください。
部分的にかすれる。ベタを印刷すると、白い点や線が現れる 	・用紙やトナーが湿気を含んでいるか、乾燥している。 ・電源投入直後、パワーセーブ解除直後に両面印刷をした。 ・1 日の印刷枚数が多い。	・適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。 ・適切な温度、湿度に保管した用紙を使用しても変わらない場合は、プリンタ本体を適切な温湿度の環境に約12時間ほど放置してからご使用ください。 ・オペレータパネルの「管理者メニュー」－「その他の設定」－「電力設定」－「定着制御」を「延長」に設定してください。 ・1 日の印刷枚数の目安は 4,000 ページ（連続印刷時）、1,000 ページ（間欠印刷時）です。それ以上の印刷を行った場合はかすれ等が発生することがあります。
用紙の送り方向と平行にスジが入る ↑用紙の送り方向 	ドラムカートリッジに傷がついている。	ドラムカートリッジを交換してください。 参照「ドラムカートリッジの交換」（104 ページ）参照
	トナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。 参照「トナーカートリッジの交換」（98 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙の送り方向と垂直にスジや点が周期的に入る ↑用紙の送り方向 	約 94mm 周期の場合は、ドラム（緑の筒の部分）に傷または汚れがついている。	傷がついていたら、ドラムカートリッジを交換してください。
	約 49mm 周期の場合は、ドラムカートリッジ内にゴミが混入している。	トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。
	約 88mm 周期の場合は、定着器ユニットに傷がついている。	定着器ユニットを交換してみてください。
	約 94mm 周期の場合は、ドラムカートリッジが光にさらされた。	ドラムカートリッジをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、ドラムカートリッジを交換してください。
白地の部分が薄く汚れる 	用紙が静電気を帯びている。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	厚い用紙を使用している。	より薄手の用紙を使用してください。
	トナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。 参照「トナーカートリッジの交換」（98 ページ）参照
	湿度が低く、トナーが過剰に帯電している。	室内の湿度を高くしてください。湿度 50%RH が最適です。
	高温高湿環境に長期間（約 4 日間以上）放置されたため、用紙やトナーが水分を吸収している。	適切な温湿度環境に約12時間ほど放置してからご使用ください。
文字の周辺がにじむ 	LED ヘッドが汚れている。	LED　レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。 参照「LED ヘッドの清掃」（118 ページ）参照
	LED ヘッドの位置が正しくない。	プリンタのトップカバーを開閉してください。
はがき、封筒または光沢紙に印刷すると全体的に薄く汚れる擦ると文字の周辺が汚れる 	はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがある。	プリンタの故障ではありません。
	光沢紙に印刷すると薄くトナーが付着（かぶり）することがある。	プリンタの故障ではありません。 ・事前にテストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。 ・高温、高湿度環境を避けてください。温度 23 ℃、湿度 50% が最も適した環境です。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙が反る	用紙の表裏を間違っている。	用紙の表裏を間違えていないか確認してください。用紙に表裏の表示がない場合は、印刷面を入れ替えて印刷してみてください。
擦るとトナーがとれる	用紙の厚さや種類の設定が不適切である。	プリンタドライバで正しい用紙種類を設定してください。
	再生紙を使用している。	プリンタドライバで正しい用紙種類を設定してください。
光沢にムラが出る	用紙の厚さや種類の設定が不適切である。	プリンタドライバで正しい用紙種類を設定してください。
トナーが定着しないところがある トナーがはがれる	定着器の温度が適切ではない。	プリンタのトップカバーを開閉してください。
	用紙の厚さや種類の設定が不適切である。	プリンタドライバで正しい用紙種類を設定してください。
思った色合いで印刷されない	トナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。
	［黒の生成］の設定がアプリケーションに合っていない。	プリンタドライバの「黒の生成」で「CMYK トナーで生成」または、「黒（K）トナーのみで生成」を選択してください。 参照 『オンラインマニュアル』参照
	カラー調整を変更している。	プリンタドライバの「カラーモード」で適切な設定を行ってください。 参照 『オンラインマニュアル』参照
	カラーバランスがとれていない。	プリンタのオペレータパネルで濃度補正を実行してください。 参照 「濃度を補正する」（115 ページ）参照
	色ズレが起こっている。	トップカバーを開閉してください。または、プリンタの操作パネルで色ずれ補正調整をしてください。 参照 「色ズレを調整する」（114 ページ）参照
モニタの色と印刷結果が合わない 思った色がでない	プリンタユーティリティのカラーが調整されてない。モニタとプリンタでは色の表現方法が異なるため、完全に一致した結果が得られない場合がある。	添付のユーティリティを使ってカラー調整を行います。 参照 『オンラインマニュアル』参照
特定の色が薄いまたは濃い	カラーバランスがとれていない。	プリンタのオペレータパネルで濃度補正を実行してください。 参照 「濃度を補正する」（115 ページ）参照
印刷結果が汚いまたは粗い	ハーフトーン濃度が適切でない	ハーフトーン調整を細かく設定してください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
88mm 周期の汚れが出る	定着器が汚れている	オペレータパネルから「黒ベタ印刷」を数枚実行してください。 参照 オペレータパネルの詳細は、「第 5 章　オペレータパネルの操作」（129 ページ）参照
汚れがでる（トナーが飛び散る）	トナーやドラムが正しくセットされていない。	オペレータパネルから「黒ベタ印刷」を数枚実行してください。 トップカバーを開き、汚れがあれば取り除きます。
文字化けする	指定したフォントに問題がある。	フォント印刷を行います。 問題なく印刷される場合は、アプリケーションや指定したフォントを変えて印刷を確認し、問題がどこにあるか確認します。 参照「メニューモードの項目一覧」（140 ページ）参照
49mm、94mm 周期の残像が印刷される	印刷環境が適切でない。	高温度、高湿度環境、また低温度、低湿度環境を避けて、推奨環境で使用してください。
用紙に水滴がつく	・結露した水分が用紙に付着した。 ・電源投入直後、パワーセーブ解除直後に両面印刷をした。	・プリンタの電源投入直後に水分を吸収した用紙に印刷すると、結露した水分が用紙につくことがあります。プリンタ全体の温度が一定になるまでしばらくお待ちください。 ・オペレータパネルの「管理者メニュー」－「その他の設定」－「電力設定」－「定着制御」を「延長」に設定してください。 ・通気口が塞がれていないか、プリンタ周囲に十分なスペースが確保されているか確認してください。 参照「安全上のご注意」（10　ページ）参照
カラーと黒の間に隙間ができる	色ズレの調整をしてから時間が経っている。	・トップカバーを開閉してください。または、プリンタの操作パネルで色ずれ補正調整をしてください。 参照「色ズレを調整する」（114　ページ）参照 ・プリンタドライバで「黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する」にチェックを付けて印刷してください。 参照『オンラインマニュアル』参照

メッセージ一覧

オペレータパネルのエラーメッセージ

プリンタでエラーが発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。
次の表に従って処置してください。

ガイド

- 対処方法に「プリンタの電源をオフしてください」と表示された場合、「シャットダウン」スイッチを 4 秒以上押して「シャットダウン完了」と表示されてから電源を切断してください。
  シャットダウンを行わずに電源を切断すると、印刷枚数などの情報がプリンタに正しく保存されない場合があります。
- エラーが複数発生している場合は、順番に表示が切り替わります。

エラーに関するメッセージ

エラーコード nnn	発生個所 xx・・・x	表示メッセージ **・・・*：用紙サイズ	対処方法	参照先
126	－	エラーコード：126 プリンタが結露しています 電源を OFF し、しばらくお待ちください	【状況】 結露エラーが発生しています。 【処置】 しばらく待ってから電源を入れ直してください。	
310	トップカバー	エラーコード：nnn カバーが開いています カバーを閉めてください xx・・・x 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 カバーが開いています。 【処置】 発生個所のカバーを閉めます。	
311	サイドカバー			
312	トレイ 2 サイドカバー			
313	トレイ 3 サイドカバー			
314	トレイ 4 サイドカバー			
315	トレイ 5 サイドカバー			
316	両面ユニットカバー			

エラーコード nnn	発生個所 xx・・・x	表示メッセージ **・・・＊：用紙サイズ	対処方法	参照先
320	—	エラーコード：320 定着器が正しくセットされていません 定着器をセットし直してください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 定着器が正しくセットされていません。 【処置】 プリンタの電源をオフにして以下の作業を行ってください。 ① プリンタのトップカバーを開けます。 ② 定着器のロックレバーを右側に倒します。 ③ 定着器のハンドルを持ち、一旦取り出し、セットし直します。 ④ 定着器のロックレバーを左側に倒します。 ⑤ プリンタのトップカバーを閉めます。 ⑥ プリンタの電源をオンにします。	
325 326	トレイ 1～5, マルチパーパストレイ	エラーコード：nnn 用紙の厚さが異なります xx・・・xの用紙を確認してください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 同じトレイで厚さの異なる用紙を検出しました。 【処置】 ① マルチパーパストレイに用紙がある場合は、用紙を一旦取り出します。 ② エラー表示されていたトレイのカセットを引き出します。 ③ カセット内の用紙をいったん取り出して、種類の違った用紙が混在していないか確認します。 ④ 混在している場合は同じ種類の用紙だけにしてください。 ⑤ 用紙ガイドと用紙ストッパが正しい位置になっているか確認します。 ⑥ 用紙をよくさばいてから戻します。 ⑦ カセットをトレイに戻します。 ⑧ サイドカバーを開閉してください。	

エラーコード nnn	発生個所 xx・・・x	表示メッセージ **・・・*：用紙サイズ	対処方法	参照先
330	―	エラーコード：330 ベルトユニットが正しくセットされていません ベルトユニットをセットし直してください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 ベルトユニットが正しくセットされていません。 【処置】 プリンタの電源をオフにして以下の作業を行ってください。 ① プリンタのトップカバーを開けます。 ② ドラムカートリッジ 4 個を取り出し平らな場所に置きます。 ③ 取り出したドラムカートリッジに紙をかぶせます。 ④ ベルトユニットの前後のロックレバーを左方向に倒し、左右のハンドルを持ち取り出し、セットし直します。 ⑤ 前後のロックレバーを右に倒します。 ⑥ ドラムカートリッジ 4 個をセットします。 ⑦ プリンタのトップカバーを閉めます。 ⑧ プリンタの電源をオンにします。	
331	―	エラーコード：331 廃トナーボックスが正しくセットされていないか、またはフロントカバーが開いています 廃トナーボックスをセットしてフロントカバーを閉めてください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 廃トナーボックスが正しくセットされていないか、またはフロントカバーが開いています。 【処置】 フロントカバーが開いている場合は、フロントカバーを閉めます。 フロントカバーが開いていない場合には、以下の手順を行ってください。 ① 操作パネルを起こします。 ② プリンタのフロントカバーの左右を持ち、手前に開けます。 ③ 廃トナーボックスの右上のロックを押しながら取り出し、セットし直します。 ④ プリンタのフロントカバーを閉めます。	参照 「廃トナーボックスの交換」(110ページ)参照

エラーコード nnn	発生個所 xx・・・x	表示メッセージ **・・・*：用紙サイズ	対処方法	参照先
340	Y	エラーコード：nnn ドラムカートリッジが正しくセットされていません ドラムカートリッジをセットし直してください xx・・・x 詳しくはヘルプをご覧ください (*1)	【状況】 エラー表示されていたドラムカートリッジが正しくセットされていません。 【処置】 エラー表示されていたドラムカートリッジがセットされていない場合には、以下の手順を行ってください。 ① プリンタのトップカバーを開けます。 ② エラー表示されていたドラムカートリッジをセットします。 ③ プリンタのトップカバーを閉めます。 エラー表示されていたドラムカートリッジがセットされている場合には、以下の手順を行ってください。 ① プリンタのトップカバーを開けます。 ② エラー表示されていたドラムカートリッジを一旦取り出し、指定のドラムカートリッジであることを確認し、セットし直します。 ③ 指定のドラムカートリッジでない場合は、指定のドラムカートリッジを使用してください。 ④ プリンタのトップカバーを閉めます。 ⑤ ①～④の操作を数回行ってもエラーが再表示される場合には、指定のドラムカートリッジを新品に交換してください。	参照 「ドラムカートリッジの交換」（104 ページ）参照
341	M			
342	C			
343	K			

エラーコード nnn	発生個所 xx・・・x	表示メッセージ **・・・*：用紙サイズ	対処方法	参照先
348	―	エラーコード：348 定着器が正しくセットされていません 定着器をセットし直してください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 定着器が正しくセットされていません。 【処置】 プリンタの電源をオフにして以下の作業を行ってください。 ① プリンタのトップカバーを開けます。 ② 定着器のロックレバーを右側に倒します。 ③ 定着器のハンドルを持ち、一旦取り出し、セットし直します。 ④ 定着器のロックレバーを左側に倒します。 ⑤ プリンタのトップカバーを閉めます。 ⑥ プリンタの電源をオンにします。	
350	Y	エラーコード：nnn ドラムカートリッジ寿命です ドラムカートリッジを交換してください xx・・・x 詳しくはヘルプをご覧ください (*1)	【状況】 エラー表示されていたドラムカートリッジの寿命です。 【処置】 新しいドラムカートリッジが用意されている場合には、以下の手順で交換してください。 ① トップカバーを開けます。 ② 交換するドラムカートリッジをラベルの色で確認します。 ③ トナーカートリッジごと、ドラムカートリッジを取り出します。 ④ 新しいドラムカートリッジを包装袋から取り出します。 ⑤ オレンジ色のストッパーを 2 個所外します。 ⑥ トナーカバーを固定しているテープをはがし、トナーカバーを取り外します。 ⑦ 今までお使いのトナーカートリッジ又は新品のトナーカートリッジをセットします。 ⑧ ドラムカートリッジをプリンタの同色ラベルの箇所にセットします。 ⑨ トップカバーを閉めます。 新しいドラムカートリッジが用意されていない場合には、カバーを開閉すると一時的にエラーを解除します。	参照 「ドラムカートリッジの交換」（104 ページ）参照
351	M			
352	C			
353	K			

エラーコード nnn	発生個所 xx・・・x	表示メッセージ **・・・*：用紙サイズ	対処方法	参照先
357	―	エラーコード：357 廃トナーボックスがいっぱいです 廃トナーボックスを交換してください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 廃トナーボックスがいっぱいです。 【処置】 新しい廃トナーボックスが用意されている場合には、以下の手順で交換してください。 ① 新しい廃トナーボックスを包装袋から取り出します。 ② 操作パネルを起こします。 ③ プリンタのフロントカバーの左右を持ち、手前に開けます。 ④ 廃トナーボックスの右上にあるレバー（青）と、その右側にあるキャップを確認してください。 ⑤ レバー（青）を押しながら廃トナーボックスを取り出し、キャップをはずして背面の回収口にふたをします。 ⑥ 新しい廃トナーボックスを取り付けます。 ⑦ プリンタのフロントカバーを閉めます。 新しい廃トナーボックスが用意されていない場合には、カバーを開閉すると一時的にエラーを解除できる場合があります。 解除できない場合は、新しい廃トナーボックスと交換してください。	参照 「廃トナーボックスの交換」（110 ページ）参照
359	―	エラーコード：359 廃トナー搬送エラーです ドラムバスケットをセットし直してください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 廃トナー搬送部が動作していません。 【処置】 ① トップカバーを開けます。 ② ドラムバスケットを一旦持ち上げて、セットし直します。 ③ トップカバーを閉めます。	

エラーコード nnn	発生個所 xx・・・x	表示メッセージ **・・・*：用紙サイズ	対処方法	参照先
360	―	エラーコード：360 両面ユニットが外れています 両面ユニットを入れてください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 両面ユニットが正しくセットされていません。 【処置】 両面ユニットが入っている場合は、以下の手順を行ってください。 ① 左右のレバーを引きながら、両面ユニットを引き出します。 ② 両面ユニットをセットします。 両面ユニットが入っていない場合は、以下の手順を行ってください。 ① 両面ユニットをセットします。	参照 「両面ユニットを取り付ける」（85 ページ）参照
370 371 372 373	―	エラーコード：nnn 紙づまりです 両面ユニットを確認してください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 両面ユニット付近で紙づまりが発生しました。 【処置】 ① 両面ユニットのボタンを押しながら、両面ユニットカバーを開けます。 ② 残っている用紙がある場合は、取り除きます。 ③ 両面ユニットの両側のレバーを引きながら、両面ユニットを引き出します。 ④ 一方の上面カバーの取っ手をつまんで開けます。 ⑤ 残っている用紙がある場合は、取り除きます。 ⑥ 上面カバーを閉めます。 ⑦ もう一方の上面カバーも同様に確認します。 ⑧ 両面ユニットカバーを閉めます。 ⑨ 両面ユニットを元の位置に戻します。 ⑩ トレイ 1 サイドカバーを開けます。 ⑪ 残っている用紙がある場合は、取り除きます。 ⑫ トレイ 1 サイドカバーを閉めます。	参照 「両面ユニットでつまった用紙を取り除く（コード：370 ～ 373、640 ～ 642）」（182 ページ）参照

エラーコード nnn	発生個所 xx・・・x	表示メッセージ **・・・*：用紙サイズ	対処方法	参照先
380	サイドカバー	エラーコード：380 紙づまりです カバーを開けてください サイドカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 紙づまりが発生しました。 【処置】 ① マルチパーパストレイに用紙がある場合は、用紙を一旦取り出します。 ② エラー表示されていたカバーを開けます。 ③ つまっている用紙を取り除きます。 ④ カバーを閉めます。	参照 「マルチパーパストレイ付近でつまった用紙を取り除く（コード：380、390、637）」（175 ページ）参照
381 382 383	ー	エラーコード：nnn 紙づまりです カバーを開けてください 排出部サイドカバー，トップカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 紙づまりが発生しました。 【処置】 ① 排出部サイドカバーを開け、残っている用紙がある場合は、用紙の上先端を引き出します。 ② トップカバーを開けます。 ③ ドラムバスケットを上げます。 ④ ベルト上の用紙を取り除きます。 ⑤ 定着器に噛み込んだ用紙がある場合は、用紙を取り除きます。 ⑥ 定着器のロックレバーを右側に倒します。 ⑦ 定着器のハンドルを持ち、取り出して、残っている用紙がある場合は、取り除きます。 ⑧ 定着器を戻します。 ⑨ 定着器のロックレバーを左側へ倒します。 ⑩ ドラムバスケットを戻します。 ⑪ 排出部サイドカバーを開けます。 ⑫ 用紙がある場合は、取り除きます。 ⑬ 排出部サイドカバーを閉めます。 ⑭ トップカバーを閉めます。	参照 「プリンタ内部、排出部でつまった用紙を取り除く（コード：381 ～ 384、638、639）」（177 ページ）参照
384	排出部サイドカバー	エラーコード：384 紙づまりです カバーを開けてください 排出部サイドカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 紙づまりが発生しました。 【処置】 ① マルチパーパストレイに用紙がある場合は、用紙を一旦取り出します。 ② エラー表示されていたカバーを開けます。 ③ つまっている用紙を取り除きます。 ④ カバーを閉めます。	参照 「プリンタ内部、排出部でつまった用紙を取り除く（コード：381 ～ 384、638、639）」（177 ページ）参照

エラーコード nnn	発生個所 xx・・・x	表示メッセージ **・・・*：用紙サイズ	対処方法	参照先
390	サイドカバー	エラーコード：390 紙づまりです カバーを開けてください サイドカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 紙づまりが発生しました。 【処置】 ① マルチパーパストレイに用紙がある場合は、用紙を一旦取り出します。 ② エラー表示されていたカバーを開けます。 ③ つまっている用紙を引いて取り除きます。 ④ カバーを閉めます。	参照 「マルチパーパストレイ付近でつまった用紙を取り除く（コード：380、390、637）」（175 ページ）参照
391	トレイ 1 サイドカバー	エラーコード：nnn 紙づまりです カバーを開けてください xx・・・x 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 紙づまりが発生しました。 【処置】 ① エラー表示されていたカバーを開けます。 ② つまっている用紙を引いて取り除きます。 ③ カバーを閉めます。	参照 「用紙トレイでつまった用紙を取り除く（コード：391 ～ 395、631 ～ 635）」（174 ページ）参照
392	トレイ 2 サイドカバー			
393	トレイ 3 サイドカバー			
394	トレイ 4 サイドカバー			
395	トレイ 5 サイドカバー			
400	トレイ 1 ～ 5、マルチパーパストレイ	エラーコード：400 異なる長さの用紙を印刷しました xx・・・xの用紙を確認してください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 指定したサイズと異なる長さの用紙を使用しています。 【処置】 エラー表示されていたトレイがマルチパーパストレイの場合は、以下の手順を行ってください。 ① 正しいサイズの用紙がセットされているか確認します。 ② トレイ 1 サイドカバーを開閉します。 エラー表示されていたトレイがマルチパーパストレイ以外の場合は、以下の手順を行ってください。 ① 表示されていたトレイのカセットを引き出します。 ② 用紙ガイドと用紙ストッパが正しい位置になっているか確認します。 ③ トレイ内の用紙をいったん取り出して、よくさばいてから戻します。 ④ カセットをトレイに戻します。	参照 「用紙トレイに用紙をセットする」（53 ページ）参照 参照 「マルチパーパストレイに用紙をセットする」（56 ページ）参照

エラーコード nnn	発生個所 xx・・・x	表示メッセージ **・・・*：用紙サイズ	対処方法	参照先
401	トレイ 1～5	エラーコード：401 異なる長さの用紙を印刷しました xx・・・xの用紙を確認してください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 指定したサイズと異なる長さの用紙を使用しています。 【処置】 ① 表示されていたトレイのカセットを引き出します。 ② 用紙ガイドと用紙ストッパが正しい位置になっているか確認します。 ③ トレイ内の用紙をいったん取り出して、よくさばいてから戻します。 ④ カセットをトレイに戻します。	参照 「用紙トレイに用紙をセットする」（53 ページ）参照
410	Y	エラーコード：nnn トナーがなくなりました トナーカートリッジを交換してください xx・・・x 詳しくはヘルプをご覧ください (*1)	【状況】 トナーがなくなりました。 【処置】 ① 新しいトナーカートリッジを用意します。 ② トップカバーを開けます。 ③ 交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。 ④ トナーカートリッジのレバーを左方向に止まるまで回し、持ち上げて取り出します。 ⑤ 新しいトナーカートリッジを取り出し、縦と横に振ります。 ⑥ トナーカートリッジを水平にして、テープをはがします。 ⑦ テープをはがした面を下、レバーを手前に持ちます。 ⑧ ドラムカートリッジ奥側の突起とトナーカートリッジの穴を合わせ、セットします。 ⑨ トナーカートリッジのレバーを右方向に止まるまで回します。 ⑩ トップカバーを閉めます。	参照 「トナーカートリッジの交換」（98 ページ）参照
411	M			
412	C			
413	K			
420	－	エラーコード：420 メモリがいっぱいです 復旧のためにはオンラインスイッチを押してください 詳しくはヘルプをご覧ください (*2)	【状況】 メモリがいっぱいになりました。 【処置】 メモリオーバーフローエラー回避方法として以下があります。 ① プリンタのメモリを増やすことで回避されます。 ② プリンタドライバの設定で"プリンタフォントで置き換える"に設定することで回避される場合があります。	参照 「プリンタ RAM モジュールを取り付ける」（78 ページ）参照 参照 『オンラインマニュアル』参照

<table>
<tr><th>エラーコード
nnn</th><th>発生個所
xx・・・x</th><th>表示メッセージ
**・・・*：用紙サイズ</th><th>対処方法</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td>430</td><td>トレイ 1</td><td rowspan="5">エラーコード：nnn
カセットが入っていません
xx・・・xにカセットを入れてください
**・・・*
詳しくはヘルプをご覧ください</td><td rowspan="5">【状況】
トレイにカセットが入っていません。
【処置】
① エラー表示されていたトレイにカセットを入れます。
② すでにトレイにカセットが入っている場合は、一旦引き出して入れ直します。</td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td>431</td><td>トレイ 2</td></tr>
<tr><td>432</td><td>トレイ 3</td></tr>
<tr><td>433</td><td>トレイ 4</td></tr>
<tr><td>434</td><td>トレイ 5</td></tr>
<tr><td>450</td><td>トレイ 1</td><td rowspan="5">エラーコード：nnn
サポート外の用紙サイズです
xx・・・xの用紙を確認してください

詳しくはヘルプをご覧ください</td><td rowspan="5">【状況】
表示トレイに使用できないサイズの用紙がセットされているか、用紙ガイドが正しい位置にありません。
【処置】
① エラー表示されていたトレイのカセットを引き出します。
② 用紙を取り出します。
③ 用紙ガイドと用紙ストッパを使用する用紙サイズに合わせます。
④ 正しいサイズの用紙をセットします。
⑤ カセットをトレイに戻します。</td><td rowspan="5">参照
「用紙トレイに用紙をセットする」（53 ページ）参照</td></tr>
<tr><td>451</td><td>トレイ 2</td></tr>
<tr><td>452</td><td>トレイ 3</td></tr>
<tr><td>453</td><td>トレイ 4</td></tr>
<tr><td>454</td><td>トレイ 5</td></tr>
<tr><td>460</td><td>－</td><td>エラーコード：460
用紙サイズが違います
マルチパーパストレイの用紙をかえてオンラインスイッチを押してください
**・・・*
詳しくはヘルプをご覧ください</td><td>【状況】
マルチパーパストレイの用紙がプリンタドライバで指定した用紙と異なっています。
【処置】
① マルチパーパストレイにセットされている用紙を取り出します。
② エラー表示されていた用紙をセットします。
③ 用紙ガイドを合わせます。
④ オンラインスイッチを押します。</td><td>参照
「マルチパーパストレイに用紙をセットする」（56 ページ）参照</td></tr>
<tr><td>461</td><td>トレイ 1</td><td rowspan="5">エラーコード：nnn
用紙サイズが違います
xx・・・xの用紙をかえてください
**・・・*
詳しくはヘルプをご覧ください</td><td rowspan="5">【状況】
トレイの用紙がプリンタドライバで指定した用紙と異なっています。
【処置】
① エラー表示されていたトレイのカセットを引き出します。
② 用紙を取り出します。
③ エラー表示されていた用紙をセットします。
④ 用紙ガイドと用紙ストッパを合わせます。
⑤ カセットをトレイに戻します。</td><td rowspan="5">参照
「用紙トレイに用紙をセットする」（53 ページ）参照</td></tr>
<tr><td>462</td><td>トレイ 2</td></tr>
<tr><td>463</td><td>トレイ 3</td></tr>
<tr><td>464</td><td>トレイ 4</td></tr>
<tr><td>465</td><td>トレイ 5</td></tr>
</table>

エラーコード nnn	発生個所 xx･･･x	表示メッセージ **･･･*：用紙サイズ	対処方法	参照先
480	フェイスダウンスタッカ	エラーコード：nnn スタッカフルです 用紙を取り除いてください xx･･･x 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 印刷済みの用紙がいっぱいです。 【処置】 エラー表示されていたスタッカの用紙を取り除きます。	
484	フェイスアップスタッカ			
490	―	エラーコード：490 用紙がありません マルチパーパストレイに用紙を入れてください **･･･* 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 マルチパーパストレイの用紙がありません。 【処置】 ① マルチパーパストレイを開けます。 ② 用紙をセットします。 ③ 用紙ガイドを合わせます。	参照 「マルチパーパストレイに用紙をセットする」（56 ページ）参照
491	トレイ 1	エラーコード：nnn 用紙がありません xx･･･xに用紙を入れてください **･･･* 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 エラー表示されていたトレイの用紙がありません。 【処置】 ① エラー表示されていたトレイからカセットを引き出します。 ② 用紙をセットします。 ③ 用紙ガイドと用紙ストッパを合わせます。 ④ カセットをトレイに戻します。	参照 「用紙トレイに用紙をセットする」（53 ページ）参照
492	トレイ 2			
493	トレイ 3			
494	トレイ 4			
495	トレイ 5			
500	―	エラーコード：500 マルチパーパストレイに用紙を入れてください **･･･* オンラインスイッチを押してください	【状況】 マルチパーパストレイの用紙がありません。 【処置】 ① マルチパーパストレイを開けます。 ② 用紙をセットします。 ③ 用紙ガイドを合わせます。 ④ オンラインスイッチを押します。	参照 「マルチパーパストレイに用紙をセットする」（56 ページ）参照
520	トレイ 1	エラーコード：nnn リフトアップエラーです xx･･･xのカセットをセットし直してください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 表示トレイの用紙を給紙できません。 【処置】 ① エラー表示されていたトレイのカセットを一旦引き出します。 ② カセットをトレイに戻します。	
521	トレイ 2			
522	トレイ 3			
523	トレイ 4			
524	トレイ 5			

エラーコード nnn	発生個所 xx・・・x	表示メッセージ **・・・*：用紙サイズ	対処方法	参照先
525	―	エラーコード : 525 リフトアップエラーです マルチパーパストレイの用紙をセットし直してください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 マルチパーパストレイの用紙を給紙できません。 【処置】 ① マルチパーパストレイの用紙を一旦取り出します。 ② 用紙をセットし直します。	
530	トレイ 1	エラーコード : nnn 用紙が多すぎます xx･･･xの余分な用紙を取り除いてください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 表示トレイの用紙が多すぎます。 【処置】 ① エラー表示されていたトレイのカセットを引き出します。 ② 用紙ガイドのマークを超えないように用紙の量を減らします。 ③ カセットをトレイに戻します。	参照 「用紙トレイに用紙をセットする」（53 ページ）参照
531	トレイ 2			
532	トレイ 3			
533	トレイ 4			
534	トレイ 5			
535	―	エラーコード : 535 用紙が多すぎます マルチパーパストレイの余分な用紙を取り除いてください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 マルチパーパストレイの用紙が多すぎます。 【処置】 ① マルチパーパストレイの用紙を一旦取り出します。 ② 用紙の量を減らします。 ③ 用紙をセットし直します。	参照 「マルチパーパストレイに用紙をセットする」（56 ページ）参照
540	Y	エラーコード : nnn ドラムカートリッジが正しくセットされていません ドラムカートリッジをセットし直してください xx・・・x 詳しくはヘルプをご覧ください (*1)	【状況】 エラー表示されていたドラムカートリッジが正しくセットされていません。 【処置】 ① プリンタのトップカバーを開けます。 ② エラー表示されていたドラムカートリッジを一旦取り出し、指定のドラムカートリッジであることを確認し、セットし直します。 ③ 指定のドラムカートリッジでない場合は、指定ドラムカートリッジを使用願います。 ④ プリンタのトップカバーを閉めます。	参照 「ドラムカートリッジの交換」（104 ページ）参照
541	M			
542	C			
543	K			

エラーコード nnn	発生個所 xx・・・x	表示メッセージ **・・・*：用紙サイズ	対処方法	参照先
544	Y	エラーコード：nnn ロックレバーの位置が正しくありません トナーカートリッジを確認してください xx・・・x 詳しくはヘルプをご覧ください (*1)	【状況】 トナーカートリッジのロックレバーの位置が正しくありません。 【処置】 ① トップカバーを開けます。 ② 指定色のトナーカートリッジがドラムカートリッジにセットされ、レバー先端がロック位置になっているか確認します。 ③ レバー先端がロック位置でない場合は、トナーカートリッジのレバーを右方向に止まるまで回します。 ④トップカバーを閉めます。	参照 「トナーカートリッジの交換」（98 ページ）参照
545	M			
546	C			
547	K			
560	Y	エラーコード：nnn ドラムカートリッジ寿命です ドラムカートリッジを交換してください xx・・・x 詳しくはヘルプをご覧ください (*1)	【状況】 エラー表示されていたドラムカートリッジの寿命です。 【処置】 ① 新しいドラムカートリッジを用意します。 ② トップカバーを開けます。 ③ 交換するドラムカートリッジをラベルの色で確認します。 ④ トナーカートリッジごと、ドラムカートリッジを取り出します。 ⑤ 新しいドラムカートリッジを包装袋から取り出します。 ⑥ オレンジ色のストッパーを 2 か所外します。 ⑦ トナーカバーを固定しているテープをはがし、トナーカバーを取り外します。 ⑧ 今までお使いのトナーカートリッジまたは新品のトナーカートリッジをセットします。 ⑨ ドラムカートリッジをプリンタの同色ラベルの箇所にセットします。 ⑩ トップカバーを閉めます。	参照 「ドラムカートリッジの交換」（104 ページ）参照
561	M			
562	C			
563	K			
580	―	エラーコード：580 フェイスアップスタッカが閉じています スタッカを開けてください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 フェイスアップスタッカが閉じています。 【処置】 ① フェイスアップスタッカを開けます。 ② 用紙ガイドを開けます。 ③ 用紙サポーターを開けます。	参照 「印刷面を上にして用紙を排出する」（96 ページ）参照

エラーコード nnn	発生個所 xx・・・x	表示メッセージ **・・・*：用紙サイズ	対処方法	参照先
588	排出部サイドカバー	エラーコード：nnn カバーが開いています カバーを閉めてください xx・・・x 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 カバーが開いています。 【処置】 エラー表示されていたカバーを閉めます。	
589	トレイ 1 サイドカバー			
610	Y	エラーコード：nnn トナーカートリッジが装着されていません トナーカートリッジを装着してください xx・・・x 詳しくはヘルプをご覧ください (*1)	【状況】 トナーカートリッジが装着されていません。 【処置】 ① エラー表示されていたトナーカートリッジを用意します。 ② トップカバーを開けます。 ③ 装着するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。 ④ 新しいトナーカートリッジの場合は、トナーカートリッジを取り出し、縦と横に振り、水平にして、テープをはがします。 ⑤ レバーを手前に持ちます。 ⑥ ドラムカートリッジ奥側の突起とトナーカートリッジの穴を合わせ、セットします。 ⑦ トナーカートリッジのレバーを右方向に止まるまで回します。 ⑧ トップカバーを閉めます。	参照 「トナーカートリッジの交換」(98 ページ)参照
611	M			
612	C			
613	K			
614	Y	エラーコード：nnn トナーカートリッジが正しくありません トナーカートリッジを交換してください xx・・・x 詳しくはヘルプをご覧ください (*1)	【状況】 使用できないトナーカートリッジが付いています。 【処置】 正しいトナーカートリッジを付けてください。	参照 「トナーカートリッジの交換」(98 ページ)参照
615	M			
616	C			
617	K			
620	Y	エラーコード：nnn トナーカートリッジが正しくありません。 トナーカートリッジを交換してください。 xx・・・x 詳しくはヘルプをご覧ください(*1)	【状況】 使用できないトナーカートリッジが付いています。 【処置】 正しいトナーカートリッジを付けてください。	参照 「トナーカートリッジの交換」(98 ページ)参照
621	M			
622	C			
623	K			

エラーコード nnn	発生個所 xx ･･･ x	表示メッセージ ** ･･･ *：用紙サイズ	対処方法	参照先
631	トレイ1 サイド カバー	エラーコード：nnn 用紙が残っています カバーを開けてください xx ･･･ x 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 トレイ付近に用紙が残っています。 【処置】 ① エラー表示されていたトレイの右側のサイドカバーを開けます。 ② 残っている用紙を取り除きます。 ③ サイドカバーを閉めます。	参照 「用紙トレイでつまった用紙を取り除く（コード:391～395、631 ～ 635)」（174 ページ）参照
632	トレイ2 サイド カバー			
633	トレイ3 サイド カバー			
634	トレイ4 サイド カバー			
635	トレイ5 サイド カバー			
637	―	エラーコード：637 用紙が残っています カバーを開けてください サイドカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 プリンタ内に用紙が残っています。 【処置】 ① マルチパーパストレイに用紙がある場合は、用紙を一旦取り出します。 ② サイドカバーを開けます。 ③ 残っている用紙を取り除きます。 ④ サイドカバーを閉めます。	参照 「マルチパーパストレイ付近でつまった用紙を取り除く（コード:380、390、637)」（175 ページ）参照

エラーコード nnn	発生個所 xx・・・x	表示メッセージ **・・・*：用紙サイズ	対処方法	参照先
638 639	―	エラーコード：nnn 用紙が残っています カバーを開けてください 排出部サイドカバー，トップカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 プリンタ内に用紙が残っています。 【処置】 ① 排出部サイドカバーを開け、残っている用紙がある場合は、用紙の上先端を引き出します。 ② トップカバーを開けます。 ③ ドラムバスケットを上げます。 ④ ベルト上の用紙を取り除きます。 ⑤ 定着器に噛み込んだ用紙がある場合は、用紙を取り除きます。 ⑥ 定着器のロックレバーを右側に倒します。 ⑦ 定着器のハンドルを持ち、取り出して、残っている用紙があれば取り除きます。 ⑧ 定着器を戻します。 ⑨ 定着器のロックレバーを左側へ倒します。 ⑩ ドラムバスケットを戻します。 ⑪ 排出部サイドカバーを開けます。 ⑫ 用紙があったら、取り除きます。 ⑬ 排出部サイドカバーを閉めます。 ⑭ トップカバーを閉めます。	参照 「プリンタ内部、排出部でつまった用紙を取り除く（コード：381 ～ 384、638、639）」（177 ページ）参照

エラーコード nnn	発生個所 xx・・・x	表示メッセージ **・・・*：用紙サイズ	対処方法	参照先
640 641 642	―	エラーコード：nnn 用紙が残っています 両面ユニットを確認してください 詳しくはヘルプをご覧ください	【状況】 両面ユニット付近に用紙が残っています。 【処置】 ① トレイ 1 サイドカバーを開けます。 ② 残っている用紙がある場合は、取り除きます。 ③ 両面ユニットのボタンを押しながら、両面ユニットカバーを開けます。 ④ 残っている用紙がある場合は、取り除きます。 ⑤ 両面ユニットの両側のレバーを引きながら、両面ユニットを引き出します。 ⑥ 一方の上面カバーの取っ手をつまんで開けます。 ⑦ 残っている用紙がある場合は、取り除きます。 ⑧ 上面カバーを閉めます。 ⑨ もう一方の上面カバーも同様に確認します。 ⑩ 両面ユニットカバーを閉めます。 ⑪ 両面ユニットを元の位置に戻します。	参照 「両面ユニットでつまった用紙を取り除く（コード：370 ～ 373、640 ～ 642）」（182 ページ）参照

*1：複数色のエラーが発生している場合、発生個所（x x ･･･ x）に発生しているすべての色が "C,M,Y,K" の順で左詰めで表示されます。
（例：M（マゼンタ）と K（ブラック）が同時の発生の場合、"M,K"）
エラーコード：nnn には、発生個所（x x ･･･ x）に表示されている先頭の色（左端の色）のコードが表示されます。

*2：エラーコード：420　「メモリがいっぱいです」発生時に「オンライン」スイッチを押すと、データの処理状況により、以下のいずれかの復旧処理が行われます。

ケース 1）
　メモリ不足が起こったページデータを破棄し、ジョブの終了まで受信データを受け捨てます。

ケース 2）
　メモリ不足が発生したページを、白紙で出力します。次のページからは正常に印刷を再開します。

サービスコールに関するメッセージ

エラーコード nnn	発生個所 xx・・・x	表示メッセージ **・・・*：用紙サイズ	対処方法	参照先
nnn-nn	―	エラーコード : nnn 電源をOFF/ONしてください	【状況】 プリンタに異常が発生しています。 【処置】 電源を入れ直してください。	
nnn-nn	―	エラーコード : nnn-nn 電源をOFF/ONしてください 復旧しない場合はハードウェア修理相談センターへ連絡してください	【状況】 プリンタに異常が発生しています。 【処置】 電源を入れ直してください。復旧しない場合は、「ハードウェア修理相談センター」へご連絡ください。	参照 「ハードウェア修理相談センター」（244ページ）参照
002～062 F0C F0D FFE FFF	―	Fatal Error : nnn Service Call PC:nnnnnnnn LR:nnnnnnnn FR:nnnnnnnn	【状況】 プログラムの例外エラー、またはプリンタに異常が発生しています。 【処置】 電源を入れ直してください。復旧しない場合は、「ハードウェア修理相談センター」へご連絡ください。 このとき、PC、LR、FR に表示される内容をお伝えください。*1	参照 「ハードウェア修理相談センター」（244ページ）参照

*1： エラーコードによっては、PC、LR、FR が表示されない場合があります。

オペレータパネルの警告メッセージ

メンテナンス情報や給紙口のセット状態に関する警告を 2 行目に表示します。
警告メッセージが表示されても、印刷は続けることができます。
・警告表示の例



ガイド

警告が複数発生している場合は、順番に表示が切り替わります。エラーが発生している場合は、警告は表示されません。

表示内容	説明
ＸＸＸＸ トナー交換時期です	トナーの残量が少なくなると表示されます。トナー残量がなくなると印刷ができなくなりますので、事前に新しいトナーカートリッジを準備してください。 ＸＸＸＸ には該当の色が表示されます。
ＸＸＸＸ ドラムカートリッジの寿命が近づいています	ドラムカートリッジの交換時期が近づくと表示されます。ドラムカートリッジの寿命になると印刷ができなくなりますので、事前に新しいドラムカートリッジを準備してください。 ＸＸＸＸ には該当の色が表示されます。 **お願い** **この警告表示中に新しいドラムカートリッジに交換すると、「トナーがなくなりました」エラーになる場合があります。この場合は、トナーカートリッジにトナーは残っていませんので、トナーカートリッジを交換してください。**
廃トナーボックスの寿命が近づいています	廃トナーボックスの交換時期が近づくと表示されます。廃トナーボックスの寿命になると印刷ができなくなりますので、事前に新しい廃トナーボックスを準備してください。
定着器の寿命が近づいています	定着器の交換時期が近づくと表示されます。*1 参照 「プリンタの基本仕様」（226 ページ）参照

表示内容	説明
ベルトユニットの寿命が近づいています	ベルトユニットの交換時期が近づくと表示されます。*1 参照 「プリンタの基本仕様」(226 ページ)参照
XXXX ドラムカートリッジを交換してください	ドラムカートリッジが一度寿命になり、カバーの開閉で延命を行っている場合に表示されます。すぐにドラムカートリッジの寿命になりますので新しいドラムカートリッジを準備してください。 この警告表示後は、ドラムカートリッジへのトナー供給を停止します。印刷結果にかすれが発生する場合は、ドラムカートリッジを交換してください。 XXXX には該当の色が表示されます。
XXXX トナーがなくなりました	「ドラムカートリッジを交換してください」表示時に、トナーがなくなると表示されます。トナーカートリッジの交換時期ですが、ドラムカートリッジが寿命になるまではそのまま使用できます。新しいトナーカートリッジを準備してください XXXX には該当の色が表示されます。
廃トナーボックスを交換してください	廃トナーボックスが一度寿命になり、カバーの開閉で延命を行っている場合に表示されます。すぐに廃トナーボックスの寿命になりますので新しい廃トナーボックスを準備してください。
定着器を交換してください	定着器の交換時期になると表示されます。*1 参照 「プリンタの基本仕様」(226 ページ)参照
ベルトユニットを交換してください	ベルトユニットの交換時期になると表示されます。*1 参照 「プリンタの基本仕様」(226 ページ)参照
XXXX のホッピングローラを交換してください	ホッピングローラの交換時期になると表示されます。*1 XXXX には該当の給紙口が表示されます。 参照 「プリンタの基本仕様」(226 ページ)参照
ジョブオフセットエラーです	フェイスダウンスタッカのオフセットセンサに異常が発生しています。印刷はできますが、オフセット排出ができなくなります。プリンタの電源を入れ直しても発生する場合は、「ハードウェア修理相談センター」(244 ページ)へご連絡ください。
XXXX 用紙セットエラーです	用紙トレイのカセット、マルチパーパストレイでリフトアップエラーが発生しています。給紙カセット、マルチパーパストレイの用紙をセットし直してください。警告メッセージが消えない場合は、「ハードウェア修理相談センター」(244 ページ)へご連絡ください。この警告が表示されている給紙口を指定するとエラーとなり印刷できません。給紙方法を自動選択や、給紙オプションを自動トレイ切り替えに設定している場合は、該当の給紙口を処理の対象外とします。 XXXX には該当の給紙口を表示します。

表示内容	説明
ＸＸＸＸ にカセットがありません	給紙カセットが抜かれています。給紙カセットをセット、またはセットし直してください。警告メッセージが消えない場合は、「ハードウェア修理相談センター」（244 ページ）へご連絡ください。この警告が表示されている給紙口を指定すると、エラーとなり印刷できません。給紙方法を自動選択や、給紙オプションを自動トレイ切り替えに設定している場合は、該当の給紙口を処理の対象外とします。 ＸＸＸＸ には該当の給紙口を表示します。
部単位印刷メモリオーバーです	部単位印刷指定時にプリンタのメモリが足りなくなりました。一部のみの印刷となります。オンラインスイッチを押すと表示が消えます。
無効なデータを受信しました	本プリンタでは処理できないデータを受信しました。受信したデータは消去されます。オンラインスイッチを押すと表示が消えます。
用紙厚センサーに異常が発生しています	用紙厚の検知が正しく行えなかった状態です。普通紙設定での動作となります。*2
用紙厚センサーの測定値が規定外です	用紙厚の検知が正しく行えなかった状態です。普通紙設定での動作となります。*2
用紙が厚いため両面印刷ができませんでした	両面印刷できない用紙厚を検知しました。受信したデータは片面での印刷になります。オンラインスイッチを押すと表示が消えます。
装置寿命に達しています	本装置の寿命として規定している印刷ページ数を超過した場合に表示されます。この警告が表示されても、ただちに印刷ができなくなるわけではありませんが、故障頻度が上昇することが予想されます。 また、この警告が表示されなくても、装置導入後５年を経過した場合は装置寿命となります。 参照 「プリンタの基本仕様」（226 ページ）参照

*1：定着器、ベルトユニット、ホッピングローラ の交換については、「ハードウェア修理相談センター」（244 ページ）へご連絡ください。

*2：次回以降の印刷で用紙厚検知が正しく行われると表示が消えます。繰り返し印刷を行っても警告メッセージが消えない場合は、「ハードウェア修理相談センター」（244 ページ）へご連絡ください。

付録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの基本仕様

以下に、XL-C8360 の各仕様を示します。

<table>
<tr><td>印刷方式</td><td>LED を露光光源とする電子写真方式</td></tr>
<tr><td>印刷速度 *1
(コピー動作による連続印刷時)
単位：ページ / 分</td><td>定形サイズ
<table>
<tr><th></th><th></th><th></th><th>片面印刷</th><th>両面印刷</th></tr>
<tr><td rowspan="22">カラー</td><td rowspan="3">普通紙／薄い紙</td><td>A3</td><td>19</td><td>18</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>36</td><td>35</td></tr>
<tr><td>B4</td><td>22</td><td>21</td></tr>
<tr><td rowspan="2">やや厚い紙</td><td>A3</td><td>19</td><td>18</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>36</td><td>35</td></tr>
<tr><td rowspan="2">厚い紙</td><td>A3</td><td>16</td><td>16</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>31</td><td>30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">より厚い紙</td><td>A3</td><td>14</td><td>–</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>26</td><td>–</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ごく厚い紙 1</td><td>A3</td><td>12</td><td>–</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>23</td><td>–</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ごく厚い紙 2</td><td>A3</td><td>10</td><td>–</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>20</td><td>–</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ごく厚い紙 3</td><td>A3</td><td>8</td><td>–</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>15</td><td>–</td></tr>
<tr><td>OHP フィルム</td><td>A4</td><td>10</td><td>–</td></tr>
<tr><td>ラベル紙 1</td><td>A4</td><td>16</td><td>–</td></tr>
<tr><td>ラベル紙 2</td><td>A4</td><td>10</td><td>–</td></tr>
<tr><td>光沢紙</td><td>A4</td><td>20</td><td>–</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th></th><th></th><th></th><th>片面印刷</th><th>両面印刷</th></tr>
<tr><td rowspan="22">モノクロ</td><td rowspan="3">普通紙／薄い紙</td><td>A3</td><td>21</td><td>20</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>40</td><td>39</td></tr>
<tr><td>B4</td><td>24</td><td>23</td></tr>
<tr><td rowspan="2">やや厚い紙</td><td>A3</td><td>21</td><td>20</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>40</td><td>39</td></tr>
<tr><td rowspan="2">厚い紙</td><td>A3</td><td>20</td><td>19</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>37</td><td>36</td></tr>
<tr><td rowspan="2">より厚い紙</td><td>A3</td><td>16</td><td>–</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>31</td><td>–</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ごく厚い紙 1</td><td>A3</td><td>12</td><td>–</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>23</td><td>–</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ごく厚い紙 2</td><td>A3</td><td>10</td><td>–</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>20</td><td>–</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ごく厚い紙 3</td><td>A3</td><td>8</td><td>–</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>15</td><td>–</td></tr>
<tr><td>OHP フィルム</td><td>A4</td><td>16</td><td>–</td></tr>
<tr><td>ラベル紙 1</td><td>A4</td><td>16</td><td>–</td></tr>
<tr><td>ラベル紙 2</td><td>A4</td><td>10</td><td>–</td></tr>
<tr><td>光沢紙</td><td>A4</td><td>20</td><td>–</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>ウォームアップ時間</td><td>電源投入後 85 秒以内 *2</td></tr>
<tr><td>解像度</td><td>600 × 600dpi、600 × 1200dpi</td></tr>
</table>

用紙種類	・マルチパーパストレイ 普通紙／再生紙 (64g/m^2 ～ 74g/m^2)、厚紙(75g/m^2 ～ 268g/m^2)、 官製はがき (190g/m^2)、官製往復はがき (190g/m^2)、 封筒 (85g/m^2)、OHP フィルム、ラベル紙 (0.1 ～ 0.2mm)、光沢紙 ・用紙トレイ 1 普通紙／再生紙 (64g/m^2 ～ 74g/m^2)、厚紙(75g/m^2 ～ 216g/m^2)、 官製はがき (190g/m^2)、官製往復はがき (190g/m^2)、 OHP フィルム、光沢紙 ・用紙トレイ 2 ～ 5(拡張給紙ユニット) 普通紙／再生紙 (64g/m^2 ～ 74g/m^2)、厚紙(75g/m^2 ～ 216g/m^2)
用紙サイズ	・マルチパーパストレイ A3、A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガル ユーザ定義サイズ（幅 100 ～ 328mm、長さ 148 ～ 1200mm） はがき、往復はがき、 封筒(長形3号、長形4号、角形2号、角形3号、角形8号、洋形0号、洋形4号) ・用紙トレイ 1 A3、A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガル、はがき、往復はがき ・用紙トレイ 2 ～ 5（拡張給紙ユニット） A3、A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガル
給紙容量	・マルチパーパストレイ 約 250 枚（64g/m^2 用紙の場合） ・用紙トレイ 1 約 550 枚（64g/m^2 用紙の場合） ・拡張給紙ユニット -A（オプション） 約 550 枚（64g/m^2 用紙の場合） ・拡張給紙ユニット -B（オプション） 約 1650 枚（64g/m^2 用紙の場合、550 枚＋ 550 枚＋ 550 枚） ・最大給紙容量：3000 枚 （拡張給紙ユニット -A ＋拡張給紙ユニット -B 使用時）
排紙容量	・フェイスダウントレイ：約 500 枚（64g/m^2 用紙の場合） ・フェイスアップトレイ：約 250 枚 *（64g/m^2 用紙の場合） * フェイスアップトレイはオフセット機能なし
両面印刷 (オプション)	用紙種類：　普通紙(64 ～ 120g/m^2) 用紙サイズ：　A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル、ユーザ定義サイズ (幅:148 ～ 328mm、長さ:210 ～ 458mm)
メモリ	128MB（オプション 256MB を 2 枚まで増設可能、最大 640MB）
使用環境条件 *3	・温度 10 ℃～ 32 ℃、湿度：20 ～ 80%RH （ただし、温度 32 ℃以上のときは湿度 60%RH 以下、湿度 80%RH 以上のときは温度 27 ℃以下、結露しないこと。推奨環境は、温度 17 ～ 27 ℃、湿度 50 ～ 70%RH です。この場合、本プリンタの性能が十分に発揮されます。） ・連続印刷時：4,000 ページ／日 ・間欠印刷時：1,000 ページ／日
電源	AC100V ± 10%、50/60Hz
消費電力	動作時：　最大 1500W、平均 750W 待機時：　最大 600W、平均 200W 節電時：　最大 22W
突入電流	最大突入電流　80A 以下

付録

騒　音	稼動時：55dB(A) 以下（本体）／ 56dB(A) 以下（フルオプション） 待機時：42dB(A) 以下（本体）
外形寸法	プリンタ本体：　幅 654mm、奥行き 623mm、高さ 471mm フルオプション：　幅 654mm、奥行き 623mm、高さ 981mm
質　量	プリンタ本体：　約 76kg（消耗品含む） フルオプション：　約 149kg（消耗品含む）
インターフェース	IEEE 1284 準拠　双方向パラレルインターフェース USB2.0 準拠 USB インターフェース 100Base-TX/10Base-T LAN インターフェース
対応ネットワーク	TCP/IP (IPP, HTTP, BPP, LPR, DHCP, SNMP, SMTP, DNS, RAW (Port9100))
プリンタシーケンス	XL プリンタドライバ（XL-C8360 専用）
文字・書体	日本語 4 書体（明朝体、ゴシック体）、欧文 90 書体
耐用期間 *4	5 年（8 時間／日）または 100 万ページ印刷のいずれか早い方

*1：・薄い紙〜ごく厚い紙の印刷速度は、用紙トレイ 1 から印刷したときの値です。他の給紙口からの印刷時は印刷速度は遅くなります。
・ユーザ定義サイズの印刷速度は、用紙の長さによって変動します。
・プリンタドライバで指定する幅よりも短い幅の用紙へ印刷すると、定着器保護のため、印刷途中に定着器を冷ます動作が入り、印刷が一時停止することがあります。
・湿度が 70%RH を超える環境に設置した場合、カラー、モノクロともに最大 31ppm の性能になります。
・オペレータパネルで「定着制御」を「延長」にすると、1 ページ印刷してから次のページを印刷するまでに約 10 秒の待合せが入る場合があります。

参照　「メニューモードの項目一覧」(140 ページ）参照

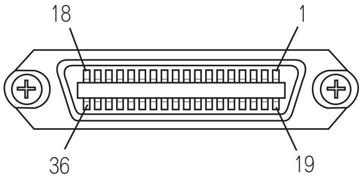
*2：高湿環境（湿度が 70%RH 以上）では、ウォームアップ時間が約 150 秒となります。
*3：本条件を超えて使用した場合には、印字品質が低下することがありますので、運用条件内での使用をお勧めします。
*4：耐用期間のページ数は、用紙サイズや用紙種類、印刷条件、オプション構成、およびプリンタ本体の電源 ON・OFF による初期化動作の頻度などにより異なります。また、本製品には、有寿命部品、消耗品や定期交換部品が含まれています。詳しくは、「有寿命部品／消耗品／定期交換部品について」(232 ページ）を参照してください。

インターフェース仕様

パソコンとのインターフェースは、パラレルインターフェースおよび USB インターフェースを採用しています。

●パラレルインターフェース仕様とコネクタピン配列

・基本仕様
IEEE 1284 に準拠した双方向パラレルインターフェース
・インターフェースコネクタ
プリンタ側：36 極コネクタ（メス） アンフェノール 57-40360 相当品
ケーブル側：36 極コネクタ（オス） アンフェノール 57-30360 相当品
・ケーブル
1.5m 以下のケーブルを使用してください。
（雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。）
・信号レベル
LOW：0.0V ～＋ 0.8V HIGH：＋ 2.4V ～＋ 5.0V
・データ転送方式
８ビットパラレル
・コネクタピン配列



インターフェースコネクタ（36ピン）

ピン番号	信号名称	発信元
1	＊ Strobe	パソコン
2	Data 1	パソコン
3	Data 2	パソコン
4	Data 3	パソコン
5	Data 4	パソコン
6	Data 5	パソコン
7	Data 6	パソコン
8	Data 7	パソコン
9	Data 8	パソコン
10	＊ Ack	プリンタ
11	Busy	プリンタ
12	Perror	プリンタ
13	Select	プリンタ
14	＊ AutoFd	パソコン
15	—	−
16	SG	−
17	FG	−
18	+5Vsignal	プリンタ
19	-RET	−

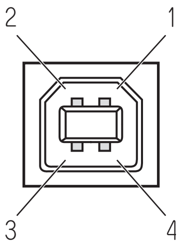
付録

ピン番号	信号名称	発信元
20	-RET	ー
21	-RET	ー
22	-RET	ー
23	-RET	ー
24	-RET	ー
25	-RET	ー
26	-RET	ー
27	-RET	ー
28	-RET	ー
29	-RET	ー
30	-RET	ー
31	＊ Init	パソコン
32	＊ Fault	プリンタ
33	-RET	ー
34	—	ー
35	HILEVEL	プリンタ
36	＊ SelectIn	パソコン

注)"＊" は、負論理信号であることを示します。
-RET 信号は、すべて SG に接続されています。

● USB インターフェース仕様とコネクタピン配列

・基本仕様
USB 仕様の Revision2.0 準拠
・インターフェースコネクタ
プリンタ側：B レセプタクル（メス）
・ケーブル
XL-CBLU2 または、5m 以下の USB 仕様 Revision2.0 に適合したケーブル
・伝送モード
High Speed(最大 480Mbps)、Full Speed(最大 12Mbps)
・電力制御
セルフパワーデバイス
・USB ピン配列



ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源（+5v）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド

オプション品一覧

●拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット -A	XL-EF55CB	2 段目、3 段目として使用できる給紙ユニットです。 550 枚（64g/m^2 用紙の場合）積載可能な給紙カセット 1 段の構成です。
拡張給紙ユニット -B	XL-EF165CB	2 ～ 4 段目、または 3 ～ 5 段目として使用できる給紙ユニットです。 550 枚（64g/m^2 用紙の場合）積載可能な給紙カセット 3 段から構成されています。

●両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPCB	両面印刷用のユニットです。

●プリンタ拡張 RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタ拡張 RAM モジュール -256MB	XL-EM256CB	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

●プリンタケーブル

・パラレルインターフェースケーブル

品名	型名	備考
プリンタケーブル	FMV-CBL712	FMV シリーズ、各社 AT 互換機に接続できます。
プリンタケーブル	FMS-CBL711	PRIMERGY/GRANPOWER 5000 シリーズに接続できます。

・USB ケーブル

品名	型名	備考
プリンタ USB ケーブル	XL-CBLU2	Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています。

有寿命部品／消耗品／定期交換部品について

●有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、適切な使用環境（22 ℃／ 55％RH）において 1 日約 8 時間のご使用で約 5 年、または 100 万ページ印刷（ レターサイズ横送り、一回の印刷が 3 ページのジョブの印刷を繰り返したときの 1 ページを 1 とカウント ）のいずれか早い方です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- 摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。
  なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。交換の際は「ハードウェア修理相談センター」（244 ページ）にご連絡ください。
- 補修用性能部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後 5 年間です。
- 本製品をより長く安定してご利用いただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞

制御基板、電源基板、高圧電源基板など

●消耗品について

トナーカートリッジやドラムカートリッジ等の消耗品（サプライ品）は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

参照 「サプライ品一覧」（233 ページ）参照

●定期交換部品について

- 本製品には、その性能／機能を維持するためにサービスエンジニアによる交換作業が必要な定期交換部品が含まれています。より長く安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要となります。定期交換部品の種類および交換周期は、「定期交換部品一覧」（235 ページ）をご参照してください。

参照 「定期交換部品一覧」（235 ページ）参照

- 定期交換部品料金および交換作業費は契約保守サービスの料金に含まれています（ご契約によっては有償となりますので、詳細は弊社担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください）。なお、保守サービス未契約のお客様は保証期間の内外を問わず有償となります。保守サービスに関する詳細は富士通公開ホームページ「製品サポート」のコーナーをご覧ください。
  （http://segroup.fujitsu.com/fs/products/printer/）
- 補修用性能部品（保守部品）、定期交換部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後 5 年間です。

● 24 時間以上の連続使用について

- 本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

サプライ品一覧

サプライ品の商品番号を次の表に示します。これらの品物については、本製品をお買い求めの販売店へご相談ください。
PPC 用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

注意

故 障　トナーカートリッジ／ドラムカートリッジは、本プリンタ専用品を取り付けてください。専用品以外のカートリッジを取り付けると、カートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となる恐れがあります。

商品名		商品番号	備考
普通紙推奨用紙 オフィス用紙 W	A3	0411650	500 枚× 3 冊で 1 ケース
	B4	0411620	500 枚× 5 冊で 1 ケース
	A4（Y）	0411612	
	B5（Y）	0411645	
	A5	0411630	
再生オフィス用紙 EC100 （100% 再生紙）	A3	0414355	500 枚× 3 冊で 1 ケース
	B4	0414325	500 枚× 5 冊で 1 ケース
	A4	0414315	
	B5	0414345	
一般推奨用紙 PPC 用紙	A3	0416350	500 枚× 3 冊で 1 ケース
	B4	0416320	500 枚× 5 冊で 1 ケース
	A4	0416310	
	B5	0416340	
トナーカートリッジ CL112A（ブラック）		0845110	約5,000ページの印刷が可能な5Kトナーカートリッジです。*1
トナーカートリッジ CL112A（イエロー）		0845120	
トナーカートリッジ CL112A（マゼンタ）		0845130	
トナーカートリッジ CL112B（シアン）		0845140	
トナーカートリッジ CL112B（ブラック）		0845150	約 15,000 ページの印刷が可能な 15K トナーカートリッジです。*1
トナーカートリッジ CL112B（イエロー）		0845160	
トナーカートリッジ CL112B（マゼンタ）		0845170	
トナーカートリッジ CL112B（シアン）		0845180	
ドラムカートリッジ CL112（ブラック）		0845410	約 30,000 ページの印刷が可能なドラムカートリッジです。*1
ドラムカートリッジ CL112（イエロー）		0845420	
ドラムカートリッジ CL112（マゼンタ）		0845430	
ドラムカートリッジ CL112（シアン）		0845440	
廃トナーボックス CL112		0845710	各色を均等に使用した場合で約 30,000 ページの印刷が可能な廃トナーボックスです。*1

*1：A4 サイズ、印字率 5% 原稿を一回の印刷が 3 ページの印刷ジョブを繰り返した場合の目安です。ただし、実際の印刷可能ページ数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙種類、使用環境などや、本体の電源オン・オフに伴う初期動作などにより異なることがあります。

印刷ジョブの条件が変わった場合の交換目安は以下のとおりです。

	交換目安							
	片面				両面			
	1 ページ間欠	3 ページ間欠	5 ページ間欠	連続	2 ページ間欠	4 ページ間欠	6 ページ間欠	連続
トナーカートリッジ（5K）	約 4,600 ページ	約 5,000 ページ	約 5,100 ページ	約 5,500 ページ	約 3,900 ページ	約 4,100 ページ	約 4,300 ページ	約 5,500 ページ
トナーカートリッジ（15K）	約 14,000 ページ	約 15,000 ページ	約 15,500 ページ	約 16,500 ページ	約 11,700 ページ	約 12,500 ページ	約 13,000 ページ	約 16,500 ページ
ドラムカートリッジ	約 19,000 ページ	約 30,000 ページ	約 31,000 ページ	約 42,000 ページ	約 12,000 ページ	約 17,000 ページ	約 22,000 ページ	約 39,000 ページ
廃トナーボックス	約 27,000 ページ	約 30,000 ページ	約 30,000 ページ	約 32,000 ページ	約 23,000 ページ	約 24,000 ページ	約 25,000 ページ	約 32,000 ページ

ガイド

- トナーカートリッジやドラムカートリッジは富士通純正品をお使用ください。純正品以外のカートリッジを使用されますと、印刷品質の低下やプリンタの故障の原因となることがあります。富士通純正品以外のカートリッジを使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。
- 100% 再生紙に印刷した場合、シワやカールが発生する場合があります。

定期交換部品一覧

本製品には、下表の定期交換部品が設定されています。安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要です。交換の際は、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」(244 ページ)にご連絡ください。なお定期交換部品料金および交換作業費は契約保守サービスの料金に含まれています(ご契約によっては有償となりますので、詳細は弊社担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください)。なお、保守サービス未契約のお客様は保証期間の内外を問わず有償となります。保守サービスに関する詳細は富士通公開ホームページ「製品サポート」のコーナーをご覧ください。(http://segroup.fujitsu.com/fs/products/printer/)
補修用性能部品(保守部品)、定期交換部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後５年間です。

品名	交換目安	表示(*3)	交換時期の症状(*4)
定着器	100,000(*1)	表示 1 定着器の寿命が近づいています 表示 2 定着器を交換してください	・黒線が印刷される ・等間隔に汚れる ・指でこするとトナーがかすれる ・用紙にシワがつく(印刷された後のシワ) ・太い文字や図形に影がでる(約 87mm 周期の残像)
ベルトユニット	100,000(*2)	表示 1 ベルトユニットの寿命が近づいています 表示 2 ベルトユニットを交換してください	−
ホッピングローラ(*5)	120,000	表示 2 ＸＸＸＸ のホッピングローラを交換してください	・用紙が傾く(印刷が斜めになっている) ・用紙が二重送りされる ・用紙トレイ、マルチパーパストレイで用紙がつまる

*1：A4 サイズ横送りで連続印刷したときの目安です。用紙の種類や使用条件によっては、減少します。
*2：A4 サイズ、印字率 5% 原稿を一回の印刷が 3 ページの印刷ジョブを繰り返した場合の目安です。ただし、実際の印刷可能ページ数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙種類、使用環境などや、本体の電源オン・オフに伴う初期動作などにより、異なることがあります。
印刷ジョブの条件が変わった場合の交換目安は以下のとおりです。

	交換目安							
	片面				両面			
	1 ページ間欠	3 ページ間欠	5 ページ間欠	連続	2 ページ間欠	4 ページ間欠	6 ページ間欠	連続
ベルトユニット	約 63,000 ページ	約 100,000 ページ	約 103,000 ページ	約 140,000 ページ	約 40,000 ページ	約 58,000 ページ	約 73,000 ページ	約 130,000 ページ

付録

*3：オペレータパネルの液晶ディスプレイの 2 行目に表示されます。
表示１：　交換時期が近づいてきたときに表示されます。ただし、用紙の種類や使用条件などによっては、このメッセージが表示された時点で交換が必要な場合があります。
表示２：　交換時期になると表示されます。
*4：表中に記載されている症状が頻繁に発生するようになったときには、定期交換部品の早期交換をお勧めします。
*5：・ホッピングローラは、表示 1 の表示はありません。交換時期になると表示 2 のメッセージが表示されます。
ＸＸＸＸ には該当の給紙口が表示されます。
・ホッピングローラには「トレイ 1 ～ 5」用と「マルチパーパストレイ」用の二種類があります。

用紙関係

本プリンタは、用紙トレイやマルチパーパストレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。
以下に、それぞれの給紙方法と用紙サイズとの対応、印刷可能領域を示します。

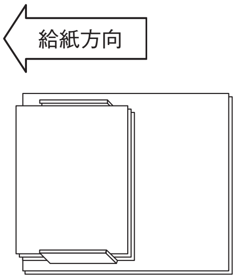
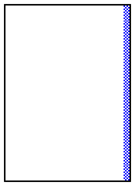
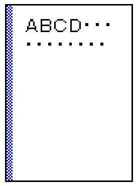
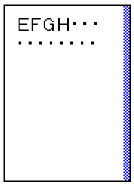
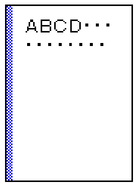
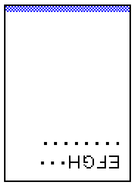
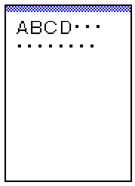
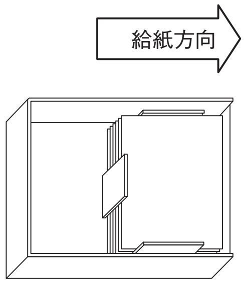
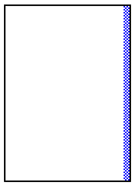
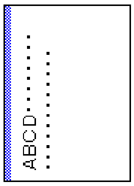
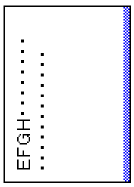
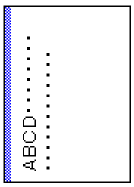
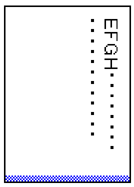
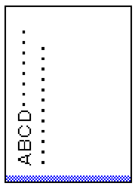
印刷方向

印刷の向き、印刷面、とじ方などの設定と、印刷されるイメージの方向との関係は次のとおりです。

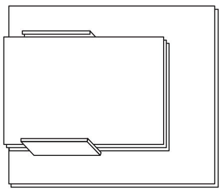
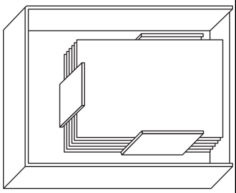
参照　印刷の向き、印刷面、とじ方などの設定については、プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

●印刷方向（排出先：フェイスダウントレイ）

・A4、B5、レターサイズの用紙の場合

用紙セット方向	印刷の向き（Nup）	印刷面	とじしろ位置（太線（▒）部分） 長辺とじ 排紙した状態（排紙方向→）	長辺とじ 右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態	短辺とじ 排紙した状態（排紙方向→）	短辺とじ 右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態
			裏	表	裏	表
・マルチパーパストレイ  セット時の上面が、片面印刷の表側、両面印刷の裏側になります。	縦（1up/4up/9up/16up） 横（2up/6up/8up）	片面（*1）				
		両面				
・用紙トレイ  セット時の上面が、片面印刷の裏側、両面印刷の表側になります。	縦（2up/6up/8up） 横（1up/4up/9up/16up）	片面（*1）				
		両面				

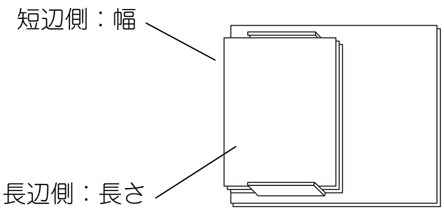
・A3、B4、A5、A6、リーガル、はがき、往復はがき、ユーザ定義サイズ (*4) の用紙の場合

用紙セット方向	印刷の向き（Nup）	印刷面	とじしろ位置（太線部分）長辺とじ 排紙した状態（排紙方向）裏	長辺とじ 右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態 表	短辺とじ 排紙した状態（排紙方向）裏	短辺とじ 右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態 表
・マルチパーパストレイ 給紙方向  セット時の上面が、片面印刷の表側、両面印刷の裏側になります。	縦 (1up/4up/9up/16up) 横 (2up/6up/8up)	片面 (*1)		ABCD・・・		
		両面 (*2)	EFGH・・・	ABCD・・・	EFGH・・・	ABCD・・・
・用紙トレイ (*3) 給紙方向  セット時の上面が、片面印刷の裏側、両面印刷の表側になります。	縦 (2up/6up/8up) 横 (1up/4up/9up/16up)	片面 (*1)		ABCD・・・		
		両面 (*2)	EFGH・・・	ABCD・・・	EFGH・・・	ABCD・・・

*1：片面印刷時は、とじ位置を指定できません。
*2：A6、はがき、往復はがきは、両面印刷できません。
*3：はがき、往復はがきは用紙トレイ 2 ～ 5 にはセットできません。また、ユーザ定義サイズは用紙トレイにセットできません。

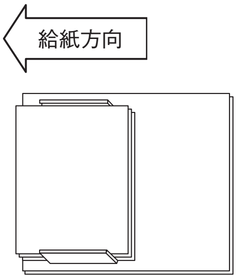
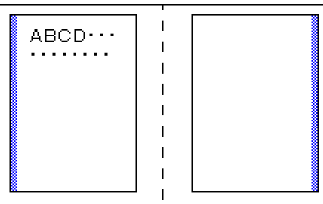
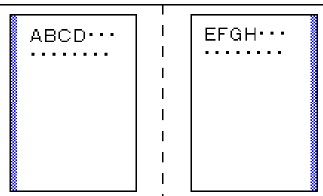
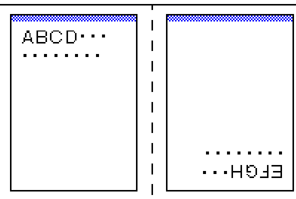
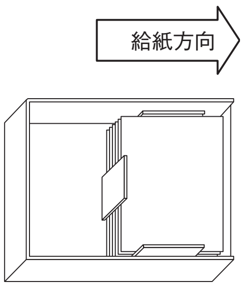
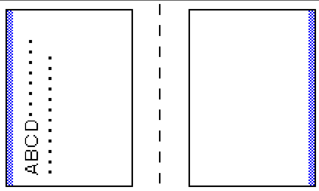
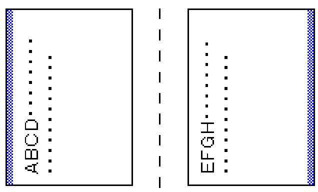
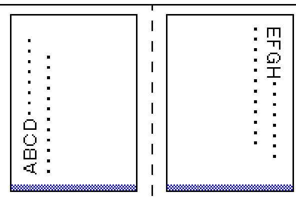
付録

*4：ユーザ定義サイズでは、幅を長さよりも大きく指定した場合は、横長でセットしてください。

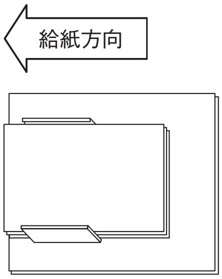
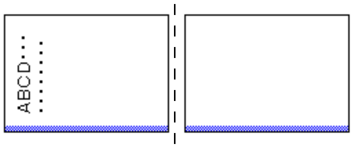
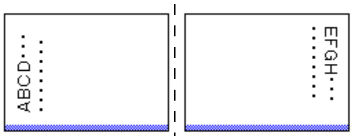
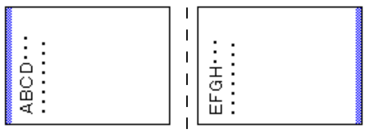
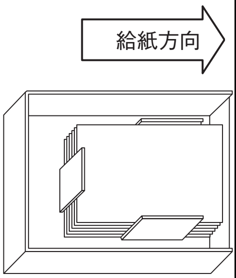
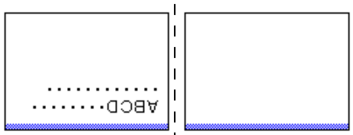
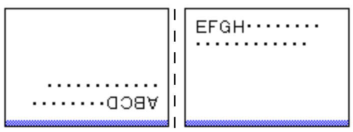
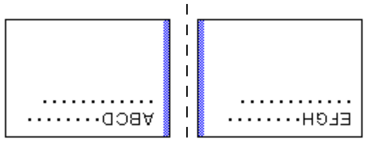


●印刷方向（排出先：フェイスアップトレイ）

・A4、B5、レターサイズの用紙の場合

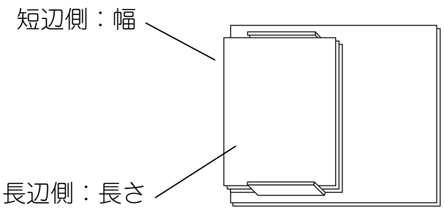
用紙セット方向	印刷の向き（Nup）	印刷面	とじしろ位置（太線（▒）部分）			
			長辺とじ		短辺とじ	
			排紙した状態 	右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態	排紙した状態 	右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態
			表 	裏	表 	裏
・マルチパーパストレイ  セット時の上面が、片面印刷の表側、両面印刷の裏側になります。	縦（1up/4up/9up/16up） 横（2up/6up/8up）	片面（*1）				
		両面				
・用紙トレイ  セット時の上面が、片面印刷の裏側、両面印刷の表側になります。	縦（2up/6up/8up） 横（1up/4up/9up/16up）	片面（*1）				
		両面				

・ A3、B4、A5、A6、リーガル、はがき、往復はがき、ユーザ定義サイズ (*5) の用紙の場合

用紙セット方向	印刷の向き（Ｎｕｐ）	印刷面	とじしろ位置（太線（▒）部分） 長辺とじ 排紙した状態（排紙方向） 表	長辺とじ 右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態 裏	短辺とじ 排紙した状態（排紙方向） 表	短辺とじ 右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態 裏
・マルチパーパストレイ  セット時の上面が、片面印刷の表側、両面印刷の裏側になります。	縦（1up/4up/9up/16up） 横（2up/6up/8up）	片面（*1）				
		両面（*2）				
・用紙トレイ (*3)  セット時の上面が、片面印刷の裏側、両面印刷の表側になります。	縦（2up/6up/8up） 横（1up/4up/9up/16up）	片面（*1）				
		両面（*2）				

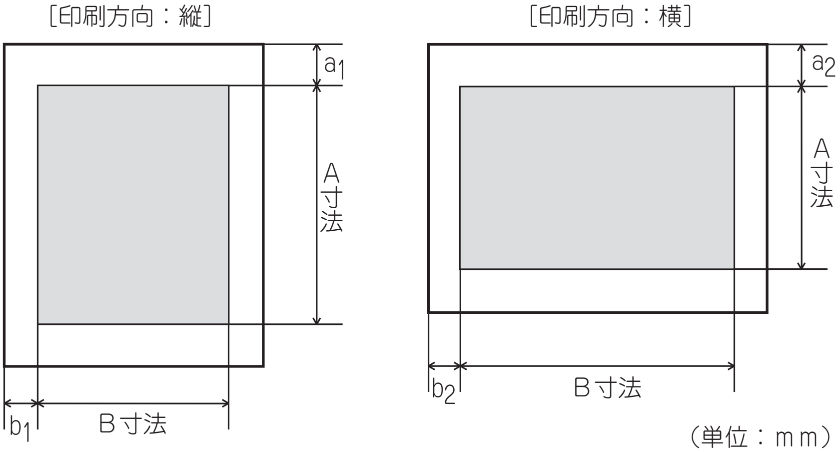
*1：片面印刷時は、とじ位置を指定できません。
*2：A6、はがき、往復はがきは、両面印刷できません。
*3：はがき、往復はがきは用紙トレイ 2 ～ 5 にはセットできません。また、ユーザ定義サイズは用紙トレイにセットできません。

*4：ユーザ定義サイズでは、幅を長さよりも大きく指定した場合は、横長でセットしてください。



印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。



・a1=a2=5mm、b1=b2=5mm

用紙方向	用紙サイズ	A3	B4	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
	B 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	B 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138

印刷保証領域は、各辺から 6.35mm 内側の領域になります。できるだけこの範囲に印刷することをお勧めします。

アフターサービスについて

・お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
・保証書は日本国内のみで有効です。
・無償保証期間は、お買い上げ日より６ケ月です。詳細は保証書をご覧ください。
・本製品の定期交換部品、補修用性能部品の最低保有期間は製造終了後５年です。ご了承ください。
・分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。純正のサプライ用品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
・故障の際は下記にご連絡ください。
「ハードウェア修理相談センター」
　フリーダイヤル：0120-422-297
　　受付時間：平日 9:00 〜 17:00
　　（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）
・プリンタのご使用に関する技術的なご相談は、下記にご連絡ください。
『富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口』
　フリーダイヤル：0120-950-222
　　受付時間：平日 9:00 〜 17:00
　　（土曜・日曜・祝日およびメンテナンス日を除く）

●使用済みカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みカートリッジを無償で回収しております。下記の『エコ受付センター』にご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』
　フリーダイヤル：0120-300-693
　　月曜〜金曜 8:40 〜 12:00、13:00 〜 17:30
　　（祝日・年末年始を除く）

●修理装置の返却準備　～お客様へ～

「ハードウェア修理相談センター」に連絡した結果、修理装置の返却が必要と判断された場合は、輸送時のトラブル防止のため、以下の手順で準備いただきますようお願い申し上げます。

1 設定内容の印刷を行う

オペレータパネルで次の操作を行い、設定を復元するために必要な情報を印刷します。

① 印刷可能状態であることを確認する
　次のいずれかの状態であることを確認します。
　・オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンラインです」と表示されている
　・オペレータパネルに「オフラインです」と表示されている
　・オペレータパネルに「パワーセーブ中です」と表示されている

②オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、「オンライン」スイッチを押す
　オペレータパネルに「オフラインです」と表示されていることを確認します。

③「メニュー▲」または「メニュー▼」スイッチを押し、メニューモードにする

④「プリンタ情報印刷」を選択し、「設定」スイッチを押す

⑤「設定内容」が選択されていることを確認し、「設定」スイッチを押す

⑥「設定」スイッチを押す
　設定の一覧の印刷が開始されます。

2 拡張給紙ユニットを取り外す

参照　「拡張給紙ユニットを取り外す」（84 ページ）参照

注意		
	けが	・必ず３人で行ってください。 ・プリンタの電源スイッチを切り、ケーブル類（電源コード、パラレルケーブル、USB ケーブル、LAN ケーブル）を外してから行ってください。

付録

本製品の廃棄について

製品(付属品を含む)を廃棄する場合は､｢廃棄物の処理及び清掃に関する法律｣の規制を受けます。

●法人、企業のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。
弊社は､「富士通リサイクル受付センター」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。
詳しくは、ホームページ(http://eco.fujitsu.com/jp/)の「富士通リサイクルシステム」をご覧ください。

索 引

し

す

せ

た

ち

て

と

の

は

ふ

へ

め

も

ゆ

よ

ら

り

ページプリンタ　XL-C8360

取扱説明書

B5WY-0921-01-00

発行日　2005 年 10 月

発行責任　富士通株式会社

Printed in China